



エルサルバドル政府

教育省

算数 3



練習帳
第二版

ESMATE





エルサルバドル政府

教育省

算数

3



練習帳
第二版

ESMATE



Carla Evelyn Hananía de Varela
教育・科学技術大臣

Ricardo Cardona Alvarenga
教育副大臣

Wilfredo Alexander Granados Paz
中等（第三サイクルおよび中等）教育局長
名誉代理

Janet Lorena Serrano de López
基礎教育局長
名誉代理

Santiago Alfredo Flores Amaya
予防・社会プログラム局長名誉代理
名誉代理

Gorka Iren Garate Bayo
科学・技術・イノベーション教育局長
名誉代理

Roberto Alejandro Rivera Campos
科学・技術・イノベーション教育課長

Félix Abraham Guevara Menjívar
科学・技術・イノベーション教育部長（数学）

Gustavo Antonio Cerros Urrutia
中等教育カリキュラム専門家部長

教育省執筆専門チーム

第一版

Doris Cecibel Ochoa Peña
María Dalila Ramírez Rivera
Wendy Stefanía Rodríguez Argueta
Inés Eugenia Palacios Vicente
Alejandra Natalia Regalado Bonilla
Vilma Calderón Soriano de Alvarado
Norma Yolibeth López de Bermúdez
Ruth Abigail Melara Viera
Marta Rubidia Gamero de Morales
Liseth Steff any Martinez de Castillo

第二版

Wendy Stefanía Rodríguez Argueta
Diana Marcela Herrera Polanco
Salvador Enrique Rodríguez Hernández
Ana Ester Argueta Aranda
Ruth Abigail Melara Viera
Vitelio Alexander Sola Gutiérrez
Francisco Antonio Mejía Ramos

レイアウトチーム

Laura Guadalupe Pérez
Judith Samanta Romero de Ciudad Real
Francisco René Burgos Álvarez

文体修正

Karen Lissett Guzmán Medrano

国際協力機構（JICA）を通じた日本の技術協力

第一版©2018

第二版©2019

著作権所有MINEDUCYTの許可なく商用目的の販売、複製を行うことは、いかなる方法であっても禁止します。

表紙の絵は教育目的のため、複数の立方体とその他立体が描かれています。この絵は、この本で立方体の概念が導入されることを暗示しています。

372.704 5

E49m 算数3：練習帳／Wendy Stefanía Rodríguez Argueta、Diana Marcela Herrera Polanco、Salvador Enrique Rodríguez Hernández、Ana Ester Argueta Aranda、Ruth Abigail Melara Viera、Vitelio Alexander Sola Gutiérrez、Francisco Antonio Mejía Ramos
-- 第2版 -- サンサルバドル、エルサルバドル：MINED, 2019.
240ページ：図解入り；28 cm. -- (Esmate)

ISBN 978-99961-341-7-3 (印刷)

1. 算数-教科書。2. 算数-練習、問題、など。3. 初等教育-教科書。I. Rodríguez

372.704 5

E49m 算数3：練習帳... 2019年 (票2)
Argueta, Wendy Stefanía, 共著。II. 表題

生徒の皆さんへ：

新しい学年に皆さんをお迎えし、皆さんがこれから算数のさらなる知識を得る機会を得ることを喜ばしく思います。

教育・科学技術省（MINEDUCYT）では、初等教育及び中等教育における算数教育向上計画（ESMATE）を通じ、皆さんのために様々な教育教材を開発してきました。その中のひとつが、いま皆さんが手にされている「練習帳」です。

この練習帳には、皆さんが考える力を強化し、算数の能力を伸ばせるような問題やアクティビティがたくさん含まれています。そうした能力は、日常生活の問題を解決するために役に立つものです。

ですから、この練習帳にある問題を一つ一つに、挑戦だと思って取り組んでみてください。皆さんが、私たちの国の発展に貢献してくれる模範的な市民となるために、この練習帳にすべての力を注いで取り組むことを期待しています。

Carla Evelyn Hananía de Varela
教育・科学技術大臣

Ricardo Cardona Alvarenga
教育副大臣

練習帳の使い方を学ぼう

各セクション

全体としてこの練習帳では、授業ごとにページが割り当てられています。



レッスン番号
↓
授業番号

1.2 授業のタイトル

復習しよう

復習のために直前二授業分の練習問題が書かれています。

理解しよう

授業で扱われた最重要点が書かれています。

解きましょう

授業で学んだ内容を練習できるような課題が書かれています。

保護者の署名： _____

3

宿題が終わったら保護者の方にサインしてもらいましょう。

ユニット

授業が属するユニット（この位置はユニット番号によって異なります）

大体の授業において、この練習帳の「理解しよう」のセクションは、教科書の「理解しよう」の部分と合致しています。いずれにせよ、設問が解けるように必要な情報がここには示されています。



特別授業

2.4 学習内容の自己評価

四角の中に解いてもらいたい練習や問題が書かれています。そのあと、学習した内容に沿って自分が当てはまると思う四角に「×」マークを入れましょう。

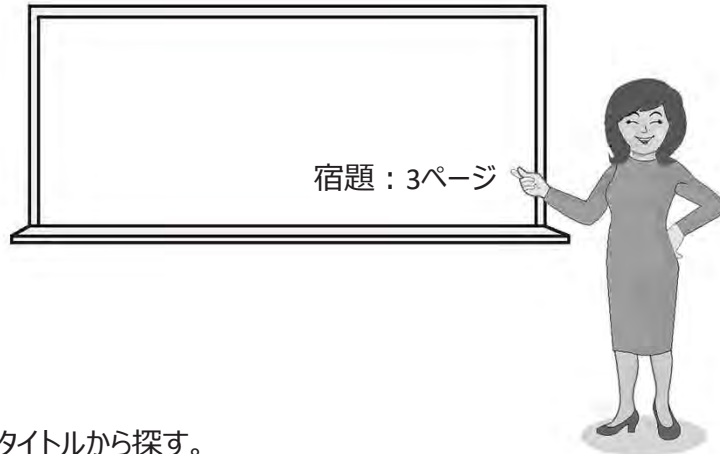
応用問題

算数を色々な状況に応用できるような練習が書かれています。この練習を行うことで、新しい知識を習得することもできます。

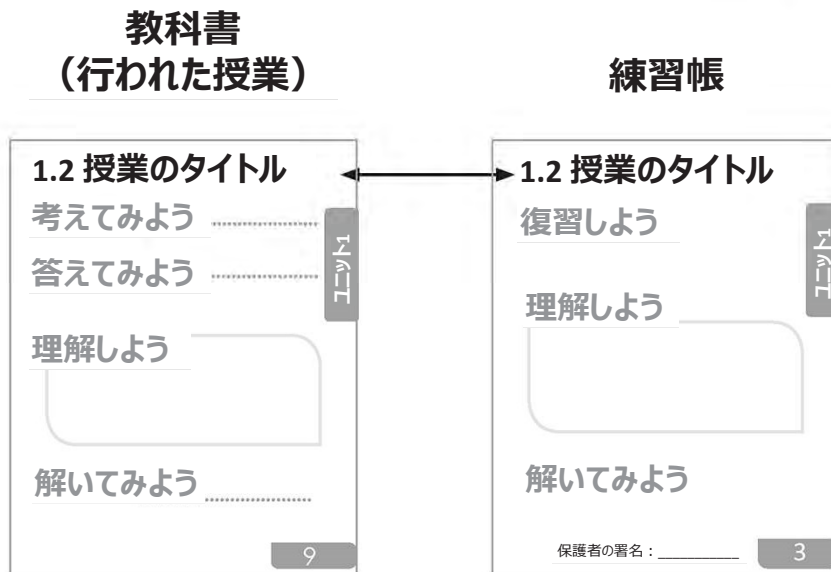
練習帳の使い方

練習帳を使うためのステップ：

1. 授業で習った教科書のページに相当する練習帳のページを探します。ページを見つけるには二つの方法があります。
 - a. 先生が宿題として黒板に書いたページ数から探す。



- b. 教科書にある授業のタイトルから探す。



2. 該当するページを見つけたら、まず「復習しよう」部分の問題を解きます。その後、「理解しよう」の内容を参考にしながら「解いてみよう」の問題を解きます。該当する空欄に計算過程を描きます。
3. 宿題が終わったら、保護者の方に全部できているか確認してもらい、ページの最後の署名欄にサインしてもらいます。

保護者の署名： _____

4. 次の算数の授業で宿題を提出します。

目次

ユニット1		
10,000までの数	7	
レッスン1：10,000までの数	8	
レッスン2：4桁の数の分解	12	
レッスン3：4桁の数の比較	16	
レッスン4：4桁の数の概数	21	
ユニット2		
4桁までの数のたし算とひき算	27	
レッスン1：繰り上がりのない4桁までの数のたし算	28	
レッスン2：3回まで繰り上がりのある4桁までの数のたし算	30	
レッスン3：4桁までの3つの数のたし算	33	
レッスン4：繰り下がりなし・繰り下がり1回の4桁までの数のひき算	36	
レッスン5：繰り下がり2回または3回の4桁までの数のひき算	40	
ユニット3		
角、線、円と球	47	
レッスン1：直線の垂直と平行	48	
レッスン2：円と球	55	
ユニット4		
かけ算	61	
レッスン1：九九の復習	62	
レッスン2：何十、何百、何千×1桁のかけ算	64	
レッスン3：2桁×1桁の数のかけ算	68	
レッスン4：3桁×1桁の数のかけ算	75	
ユニット5		
平面図形と立体図形	83	
レッスン1：三角形	84	
レッスン2：長方形と正方形	88	
レッスン3：三角形、正方形、長方形の周りの長さの計算	91	
レッスン4：直方体と立方体	93	
ユニット6		
わり算と比較	97	
レッスン1：余りのないわり算	98	
レッスン2：余りのあるわり算	107	
レッスン3：かけ算とわり算でのテープ図の利用	121	
ユニット7		
算数の活用	129	
レッスン1：長さの単位	130	
レッスン2：かさの単位	137	
レッスン3：重さの単位	140	
レッスン4：時間の単位	142	
ユニット8		
分数	149	
レッスン1：1メートル、1リットルよりも小さい量の表し方	150	
レッスン2：分数	152	
レッスン3：数直線上での分数の表し方	156	
ユニット9		
硬貨と棒グラフ	161	
レッスン1：お金の計算	162	
レッスン2：棒グラフの読み方と書き方	165	
ユニット10		
混合算	173	
レッスン1：計算の順序	174	
レッスン2：未知の数が入った計算	183	
各学期の自己評価	189	
解答集	193	

ユニット

10,000までの数



このユニットでは次のことを学びます。

- 1,000 の同値を求めます
- 10,000 の数を作ります
- 4桁の数の読み書きをします
- 4桁の数を形成、分解します
- 一目盛りがそれぞれ 1、10、100、1,000 の数直線上で数を表します
- 4桁の数を比較します
- 4桁の数を概算します

1.1 復習問題

千の位は100が10個集まっていることを思い出しましょう

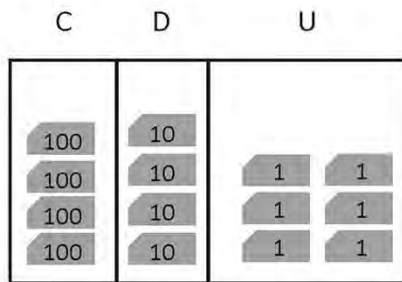


1. 百単位で1,000まで5回数えましょう。

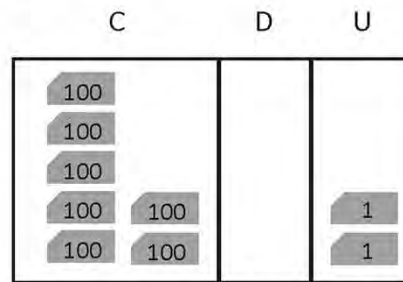


2. 数字を書いて読みましょう。

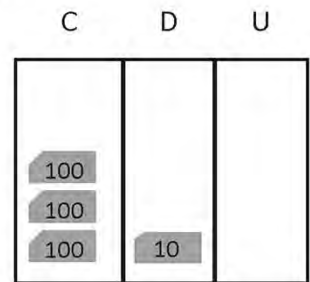
a.



b.



c.



d. 100 が 7個

e. 100 が 4個、10 が 6個、
1 が 2個

f. 100 が 8個と 10 が 9個

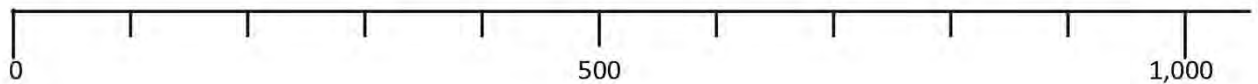
g. 100 が 4個分

h. 100 が 9個分

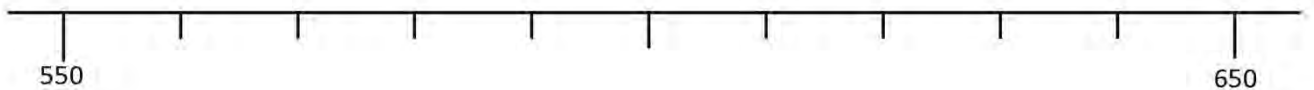
i. 100 が 10個分

3. 次の数直線に足りない数字を書いて読みましょう。

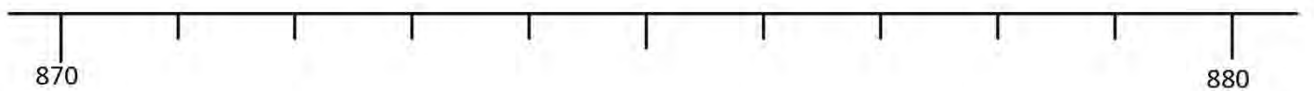
a.



b.



c.



1.2 千の単位の読み書き

復習しよう

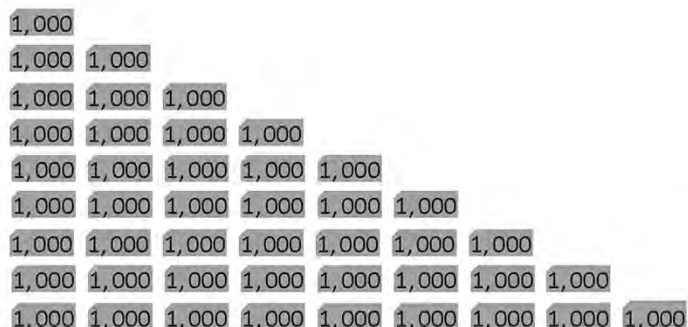
1. 指を使わずにたし算しましょう。

- | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| a. $7 + 6$ | b. $2 + 8$ | c. $3 + 4$ | d. $3 + 8$ | e. $3 + 9$ |
| f. $4 + 9$ | g. $4 + 5$ | h. $4 + 7$ | i. $4 + 9$ | j. $5 + 9$ |
| k. $6 + 8$ | l. $3 + 5$ | m. $8 + 9$ | n. $8 + 7$ | ñ. $9 + 6$ |
| o. $8 + 4$ | p. $6 + 6$ | q. $7 + 8$ | r. $7 + 4$ | s. $9 + 9$ |

2. 指を使わずに筆算で次のたし算をしてみましょう。

- | | | | | |
|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| a. $\begin{array}{r} 642 \\ + 256 \\ \hline \end{array}$ | b. $\begin{array}{r} 245 \\ + 37 \\ \hline \end{array}$ | c. $\begin{array}{r} 456 \\ + 257 \\ \hline \end{array}$ | d. $\begin{array}{r} 403 \\ + 399 \\ \hline \end{array}$ | e. $\begin{array}{r} 240 \\ + 760 \\ \hline \end{array}$ |
|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|

理解しよう



千	百	十	一	書き方	読み方
1	0	0	0	1,000	千
2	0	0	0	2,000	二千
3	0	0	0	3,000	三千
4	0	0	0	4,000	四千
5	0	0	0	5,000	五千
6	0	0	0	6,000	六千
7	0	0	0	7,000	七千
8	0	0	0	8,000	八千
9	0	0	0	9,000	九千

千のまとまりが10個集まると10,000になります。千が十まとまったもので、「万」と読みます。

万	千	百	十	一
1	0	0	0	0

解いてみよう

数字を書いて読みましょう。

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| a. $\overbrace{1,000\ 1,000\ 1,000\ 1,000}^4$
書き方 _____
読み方 _____ | b. $\overbrace{1,000\ 1,000\ 1,000\ 1,000\ 1,000\ 1,000\ 1,000\ 1,000}^8$
書き方 _____
読み方 _____ |
| c. $\overbrace{1,000}^2$ が2個
書き方 _____
読み方 _____ | d. $\overbrace{1,000}^5$ が5個
書き方 _____
読み方 _____ |
| e. $\overbrace{1,000}^7$ が7個
書き方 _____
読み方 _____ | f. $\overbrace{1,000}^9$ が9個
書き方 _____
読み方 _____ |

家族のサイン : _____

1.3 9,999 までの数の読み書き

復習しよう

数字を書いて読みましょう。

a. 1,000 1,000 1,000 1,000 1,000

書き方 _____

読み方 _____

b. 1,000 1,000 1,000 1,000 1,000 1,000

書き方 _____

読み方 _____

c. 1,000 が3個

書き方 _____

読み方 _____

d. 1,000 が4個

書き方 _____

読み方 _____

e. 1,000 が7個

書き方 _____

読み方 _____

f. 1,000 が10個

書き方 _____

読み方 _____

理解しよう

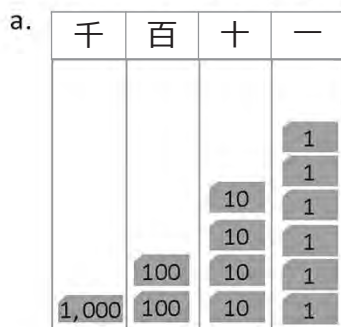
4桁の数を書くときは、位を見分け、千の位のあとにカンマを置きます。例を見てみましょう。

4桁の数を読むときは、千の位の読み方を知り、999までの数の読み方と組み合わせましょう。



解いてみよう

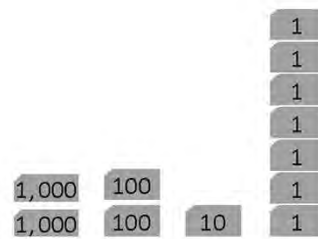
1. 数字を書いて読みましょう。



書き方 _____

読み方 _____

b.



書き方 _____

読み方 _____

c. 1,000 が2個、100 が6個、10 が7個、1 が1個

d. 1,000 が7個、100 が1個、10 が3個、1 が8個

2. 数字を書きましょう：

a. 四千百三十二

b. 八千二百五十三

3. 数字を読みましょう。

a. 2,765

b. 6,518

c. 3,624

1.4 0を含む4桁の数の読み書き

復習しよう

数字を書いて読みましょう。

a. $1,000$ $1,000$ $1,000$ $1,000$ $1,000$
 $1,000$ $1,000$ $1,000$ $1,000$ $1,000$

書き方 _____
 読み方 _____

b. $1,000$ が9個

書き方 _____
 読み方 _____

c. $1,000$ が1個、 100 が5個、 10 が6個、
 1 が3個

書き方 _____
 読み方 _____

d. $1,000$ が8個、 100 が3個、 10 が1個、
 1 が7個

書き方 _____
 読み方 _____

理解しよう

一の位や十の位、百の位がない数字を書くには、その位に 0 を入れます。数字の中に百の位も十の位もない時は、その位には0を入れます。

例えば六千八という数は次のように書きます。

千	百	十	一
6	0	0	8

解いてみよう

1. 数字を書いて読みましょう。

a.

100
 100
 $1,000$ 100 10
 $1,000$ 100 10

書き方 _____
 読み方 _____

b.

$1,000$ 100
 $1,000$ 100 1
 $1,000$ 100 1
 $1,000$ 100 100 1

書き方 _____
 読み方 _____

c.

$1,000$ $1,000$ 1 1
 $1,000$ $1,000$ 1 1
 $1,000$ $1,000$ 1 1

書き方 _____
 読み方 _____

2. 数字を書いて読みましょう。

a. 二千五百八十

b. 六千八十二

c. 五千七

3. 次の数を読みましょう。

a. 4,631

b. 3,082

c. 6,090

d. 7,004

2.1 位ごとの数値の和による4桁の数の表し方

復習しよう

数字を書いて読みましょう。

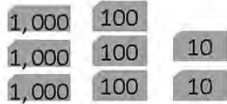
- a. 1,000 が3個、100 が5個、10 が6個、1 が4個

書き方 _____
読み方 _____

- b. 1,000 が8個、100 が2個、10 が2個、1 が7個

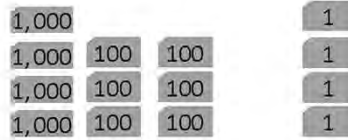
書き方 _____
読み方 _____

c.



書き方 _____
読み方 _____

d.



書き方 _____
読み方 _____

理解しよう

5,658 という数字は次のような形で表すことができます。



よって $5,658 = 5,000 + 600 + 50 + 8$

このようにして表された数を、展開形と呼びます。

展開形で数を表すには、それぞれの桁の値が示す数値に従って千、百、十、一の位の値に分解し、たし算のように書き出します。

5,658という数字は位取り表では次のように書くという事を思い出しましょう。

千	百	十	一
5	6	5	8



解いてみよう

1. 次の数を、位ごとの数値の和で表しましょう。

a. $7,654 = \underline{\quad} + \underline{\quad} + \underline{\quad} + \underline{\quad}$

b. 2,034

c. 3,408

2. 位ごとの数値の和で表されている次の数を、数字で書きましょう。

a. $8,000 + 300 + 70 + 2 =$

b. $4,000 + 60 + 1$

c. $3,000 + 400 + 5$

3. 次の数を書きましょう。

a. 千が2個、百が9個、十が6個、一が3個。

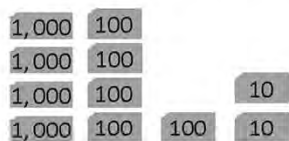
b. 千が8個、十が5個、一が7個。

2.2 100のまとまりを基にした千の単位の表し方

復習しよう

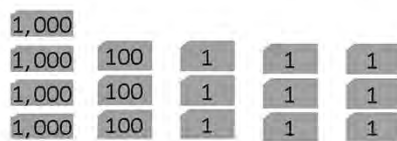
1. 数字を書いて読みましょう。

a.



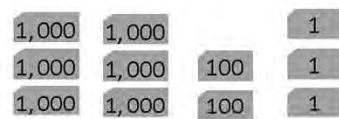
書き方 _____
読み方 _____

b.



書き方 _____
読み方 _____

c.



書き方 _____
読み方 _____

2. 次の数を、位ごとの数値の和で表しましょう。

a. $8,765 = \underline{\quad} + \underline{\quad} + \underline{\quad} + \underline{\quad}$

b. 3,045

c. 4,509

3. 次の数を書きましょう。

a. 千が3個、百が7個、十が7個、一が4個。

b. 千が9個、十が4個、一が5個。

理解しよう

▲, 000 という数は 100 が ▲0 個集まってできています。

例：△, 000 という数は 100 が △0 個

100 が ▽0 個集まると ▽, 000

解いてみよう

1. 次の数は、100がいくつ集まってできているか書きましょう。

a. 4,000

b. 5,000

c. 6,000

d. 8,000

2. どんな数になるか書きましょう。

a. 100が20個

b. 100が30個

c. 100が90個

2.3 100のまとまりを基にした4桁の数の表し方

復習しよう

1. 次の数を、位ごとの数値の和で表しましょう。

a. 8,763

b. 1,052

c. 4,509

d. 1,809

2. 次の数を書きましょう。

a. 千が4個、百が8個、十が9個、一が9個。

b. 千が1個、百が5個、十が6個。

3. 次の数は、100がいくつ集まってできているか書きましょう。

a. 5,000

b. 6,000

c. 7,000

d. 9,000

4. どんな数になるか書きましょう。

a. 100が40個

b. 100が80個

c. 100が20個

理解しよう

\triangle , \square 00 という数は、100が $\triangle\square$ 個集まってできています

例： \triangle , \square 00 という数は、100が $\triangle\square$ 個集まってできています

100が $\triangle\square$ 個集まると、 $\triangle\square$ になります

- いくつ集まっているか知りたいときは、00を取ります。
- 数字を知りたいときは、00を加えます。

解いてみよう

1. 次の数字には、100がいくつありますか。

a. 2,800

b. 4,600

c. 6,900

2,800 \rightarrow $\triangle\square$

2. どんな数字になりますか。

a. 100が15個

b. 100が25個

c. 100が64個

100が15個 \rightarrow \triangle , \square 00

2.4 学習内容の自己評価

問題を解き、学んだことを踏まえて、適切と思うところにX印を入れましょう。注意して答えましょう。

設問	はい	改善できます	いいえ	コメント
1. 次の数字を以下のように書いて読みます。 a. 5,631 b. 6,271 c. 3,304 d. 4,065 e. 7,080 f. 8,006				
2. 次の数を、位ごとの数値の和で書きます。 a. 3,748 b. 6,209				
3. 位ごとの数値の和から数字を次のように書きます。 a. $8,000 + 800 + 20 + 5$ b. $9,000 + 400 + 7$				
4. 2,600 のようなかたちの数にするために 100 と掛ける数を求めます。				
5. 100 を 43個集めて掛け算をして求める数字を探し出します。				

3.1 4桁の数の比較

復習しよう

1. 次の数は、100がいくつ集まってできているか書きましょう。

a. 1,000

b. 2,000

c. 3,000

d. 4,000

2. どんな数になるか書きましょう。

a. 100が50個

b. 100が60個

c. 100が90個

3. 次の数字には、100がいくつありますか。

a. 3,900

b. 5,700

c. 4,800

4. どんな数字になりますか。

a. 100が35個

b. 100が52個

c. 100が71個

理解しよう

2つの4桁の数を比べるには、

- ① 2つの数の千の位を比べます。
- ② 千の位が同じ場合は、百の位を比べます。
- ③ 百の位が同じ場合は、十の位を比べます。
- ③ 十の位が同じ場合は、一の位を比べます。

桁数の異なる2つの数を比べるときは、桁数が多いほうが大きい数です。



解いてみよう

1. 次の数を比べて、>または<を入れましょう。位取り表を使いましょう。

a. 3,989 7,958

b. 6,599 6,465

c. 9,463 9,425

d. 8,567 9,584

e. 5,967 5,098

f. 4,256 4,208

g. 7,069 7,096

h. 8,280 6,990

i. 3,760 3,769

2. >や<が正しくなるように、それぞれ数字を書きましょう。

a. 9,432 <

b. < 8,472

c. 7,325 >

3.2 一目盛り1,000と一目盛り100の数直線上での数の表し方

復習しよう

1. 次の数字には、100がいくつありますか。

a. 1,300

b. 8,100

c. 9,900

2. どんな数字になりますか。

a. 100が92個

b. 100が83個

c. 100が37個

3. 次の数を比べて、>または<を入れましょう。位取り表を使いましょう。

a. 2,767 5,736

b. 4,366 4,243

c. 7,241 7,203

d. 6,345 7,362

e. 3,745 3,076

f. 2,034 2,006

g. 5,047 5,074

h. 6,060 4,770

i. 1,540 1,547

4. >や<が正しくなるように、それぞれ数字を書きましょう。

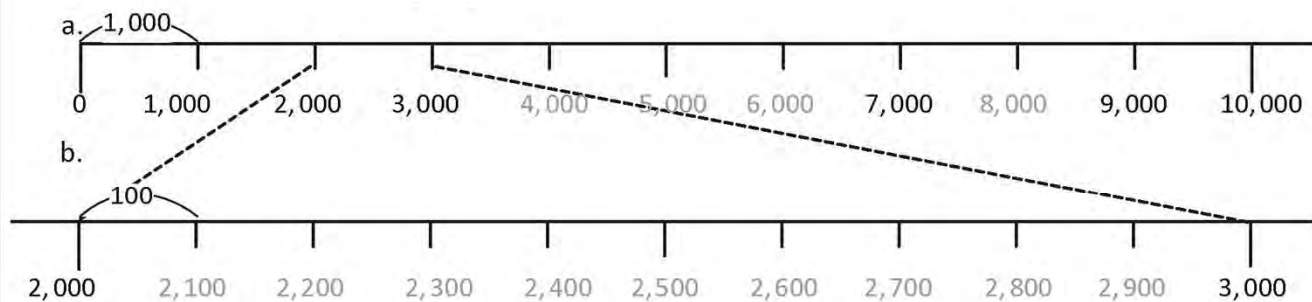
a. 7,210 <

b. < 6,25

c. 5,103 >

理解しよう

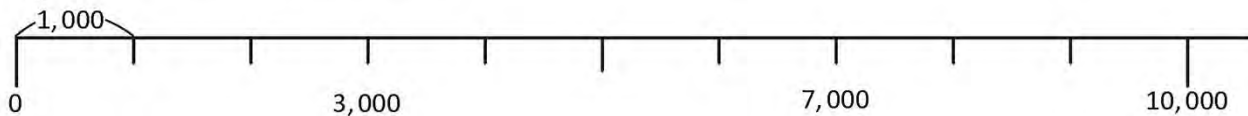
一目盛りがいくつかを確かめてから、数直線上で4桁の数を表す事ができます。例：
数直線上にあるはずのグレーの数字を入れると、次のようになります。



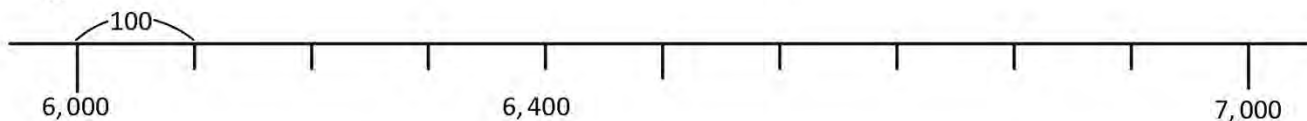
解いてみよう

書き足りない数を書きましょう。

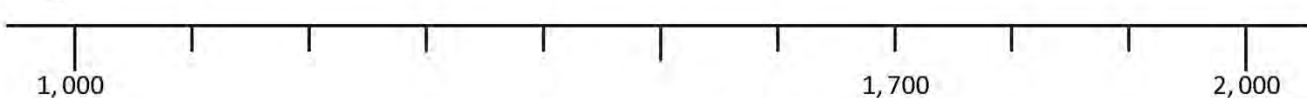
a.



b.



c.



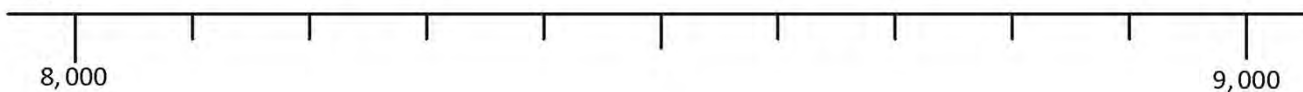
家族のサイン： _____

3.4 数直線上での4桁の数の比較

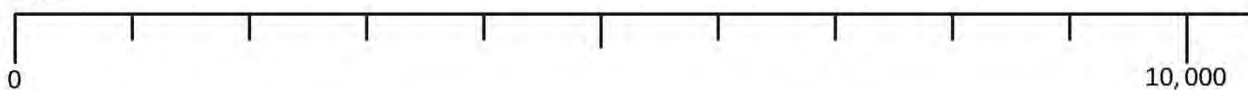
復習しよう

1. 書き足りない数を書きましょう。

a.

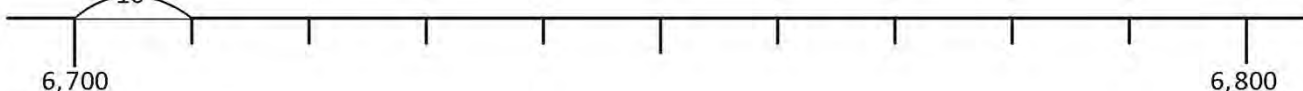


b.

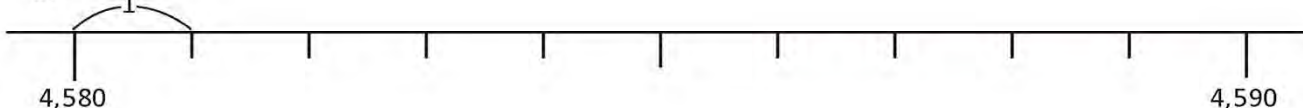


2. 数直線上に足りない数字を書きましょう。

a.



b.



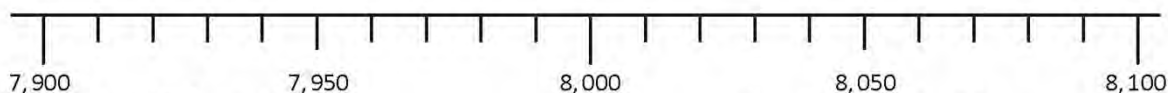
理解しよう

数直線上で4桁の数を比べると、

- ① より左に置かれる数のほうが小さいです。
- ② より右に置かれる数のほうが大きいです。

解いてみよう

1. 数直線上で数を比べ、>または<を使って表しましょう。

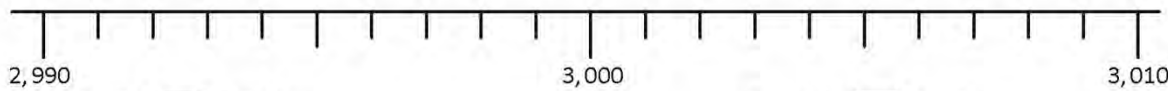


a. $7,940 \square 8,040$

b. $8,080 \square 7,980$

c. $7,950 \square 7,993$

d. $8,090 \square 8,030$



e. $2,992 \square 3,002$

f. $3,005 \square 2,996$

g. $2,991 \square 2,994$

h. $3,005 \square 3,007$

2. >や<が正しくなるように、数字を書き入れましょう。

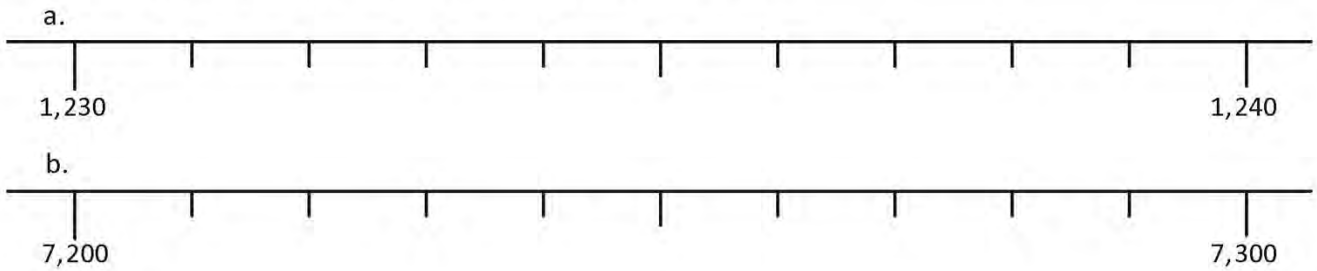
a. $5,890 > \square$

b. $6,620 < \square$

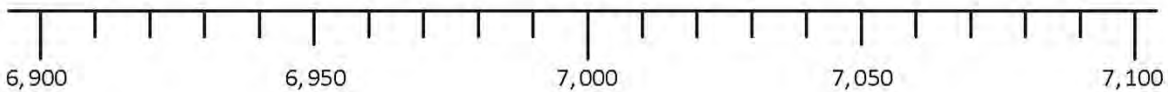
3.5 計算の答えと特定の数量との比較

復習しよう

1. 数直線上に足りない数字を書きましょう。



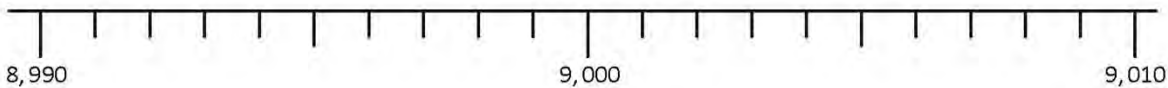
2. 数直線上で数を比べ、 $>$ または $<$ を使って表しましょう。



a. $6,920 \square 7,040$

b. $7,080 \square 6,970$

c. $7,950 \square 7,997$



d. $8,993 \square 9,004$

e. $8,009 \square 8,997$

f. $9,994 \square 9,009$

理解しよう

計算の答えと特定の数量を比べるには、

- ① 計算します。
- ② 計算の答えと数量を比べます。 $>$ や $<$ 、 $=$ など当てはまる記号を入れます。

$>$ や $<$ の記号を使って、数量と計算を比べることができます。



解いてみよう

計算の答えと数量を比べて、当てはまる $>$ や $<$ 、 $=$ を空欄に入れましょう。

a. $72 - 32 \square 50$

b. $24 \square 6 \times 4$

c. $3,000 + 4,000 \square 5,000$

d. $7,000 - 4,000 \square 6,000$

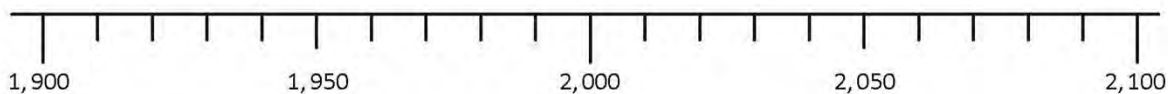
e. $4,909 \square 4,000 + 900 + 9$

f. $5,080 \square 5,000 + 800 + 80$

4.1 千の位への概算 (1)

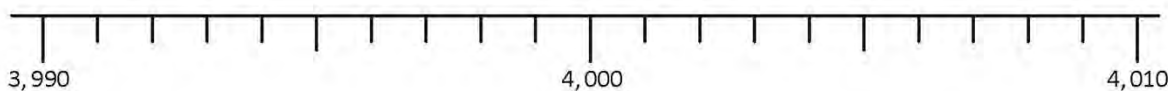
復習しよう

1. 数直線上で数を比べ、 $>$ または $<$ を使って表しましょう。



a. $1,930 \square 2,090$

b. $1,954 \square 2,055$



c. $3,995 \square 4,007$

d. $4,011 \square 3,989$

2. 計算の答えと数量を比べて、当てはまる $>$ や $<$ 、 $=$ を空欄に入れましょう。

a. $3 \times 9 \square 28$

b. $9,000 - 2,000 \square 6,000$

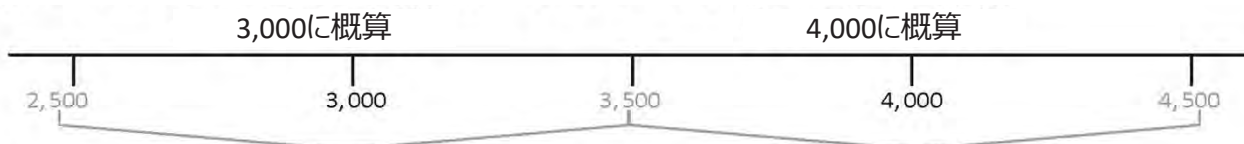
c. $2,130 \square 2,000 + 200 + 30$

d. $5,123 \square 5,000 + 100 + 20 + 3$

理解しよう

千の位への**概算**とは、一番近い千の位に置き換えることを言います。4桁の数を千の位で概算するには、

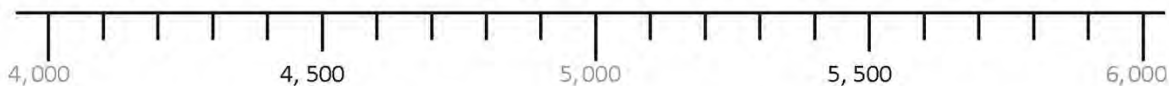
- ① 百の位の数を確認します。
- ② 百の位が0、1、2、3、4の場合は、千の位をそのままにします。
- ③ 百の位が5、6、7、8、9の場合は、千の位を1大きくします。



3,500 は 3,000 と 4,000 の中間にあるので、ここを基準に区別されます。

解いてみよう

数直線を見て、次の数を千の位で概算しましょう。



a. 4,850

b. 5,260

c. 5,925

d. 4,320

e. 5,532

f. 4,192

千の位で概算するには、百の位に注目しなければなりません。



4.2 千の位への概算 (2)

復習しよう

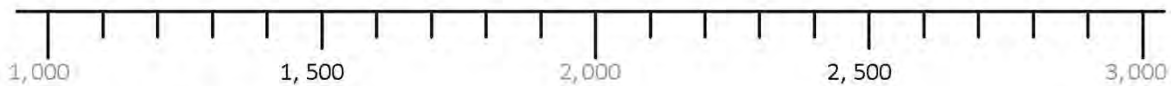
1. 計算の答えと数量を比べて、当てはまる > や <、= を空欄に入れましょう。

a. $5,000 + 3,000$ $9,000$

b. $10,000 - 4,000$ $5,000$

c. $7,025$ $7,000 + 20 + 5$

2. 数直線を見て、次の数を千の位で概算しましょう。



a. 1,750

b. 2,125

c. 2,690

d. 1,265

e. 2,527

f. 1,033

千の位で概算するには、百の位に注目しなければなりません。



理解しよう

4桁の数を千の位で概算するには、

- ① 百の位の数を確認します。
- ② 百の位が0、1、2、3、4の場合は、千の位をそのままにし、残りの位に0と記します。
- ③ 百の位が5、6、7、8、9の場合は、千の位を1大きくし、残りの位に0と記します。

0、1、2、3、4は「5未満」といいます。
5、6、7、8、9は「5以上」といいます。



解いてみよう

1. 次の数を千の位で概算しましょう。

a. 6,100

b. 7,900

c. 2,360

d. 1,820

e. 8,063

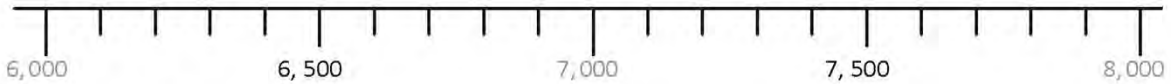
f. 8,740

2. 自然保護区には、2,124羽の鳥が登録されています。千の位で概算した数を書きましょう。

4.3 百の位への概算

復習しよう

1. 数直線を見て、次の数を千の位で概算しましょう。



- a. 6,475 b. 6,915 c. 7,710 d. 7,113

2. 次の数を千の位で概算しましょう。

- | | |
|----------|----------|
| a. 8,657 | b. 3,333 |
| c. 1,678 | d. 4,289 |
| e. 5,712 | f. 5,312 |

理解しよう

百の位までの概算とは、一番近い百の位の数に置き換えることを言います。

4桁の数を百の位で概算するには、

- ① 十の位の数を確認します。
- ② 十の位が5未満(0、1、2、3、4)の場合は、百の位をそのままにし、十の位と一の位に0と記します。
- ③ 十の位が5以上(5、6、7、8、9)の場合は、百の位を1大きくし、十の位と一の位に0と記します。

「特定の位で概算しよう」と言われたら、その位のひとつ下の位(右にある位)に注目しなければなりません。



解いてみよう

次の数を百の位で概算しましょう。

- | | |
|----------|----------|
| a. 7,672 | b. 4,521 |
| c. 9,213 | d. 1,380 |
| e. 2,510 | f. 2,635 |

4.4 千の位と百の位への概算

復習しよう

1. 次の数を千の位で概算しましょう。

a. 2,317

b. 1,625

c. 4,915

d. 4,111

2. 次の数を百の位で概算しましょう。

a. 2,361

b. 1,840

c. 3,062

d. 8,287

e. 4,608

f. 9,752

理解しよう

特定の位で概算するときは、その位のひとつ下の位に注目しなければなりません。概算したとき、数が9から10に増える場合は、ひとつ上の位に1を加えなければなりません。

例：

千の位で概算するには、百の位の数に注目します。

千	百	十	一
7	9	8	2
8	0	0	0

千の位を繰り上げます。

8,000

答え：約 8,000

百の位で概算するには、十の位の数に注目します。

千	百	十	一
7	9	8	2
7	0	0	0
8	0	0	0

百の位を繰り上げます。

8,000

答え：約 8,000

解いてみよう

千の位と百の位で概算しましょう。

a. 2,374

b. 1,908

c. 5,527

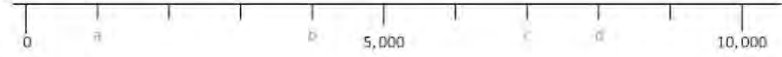


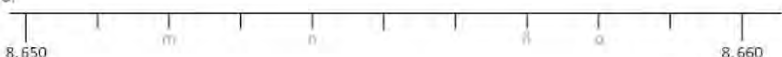
d. 9,086

e. 7,691

f. 5,762

4.5 学習内容の自己評価

問題を解き、学んだことを踏まえて、適切と思うところにX印を入れましょう。
注意して答えましょう。

設問	はい	改善 できます	いい え	コメント
<p>1. 次の数を比べて、>または<を入れましょう。</p> <p>a. 3,782 <input type="text"/> 8,256 b. 7,658 <input type="text"/> 7,245</p> <p>c. 2,547 <input type="text"/> 563 d. 907 <input type="text"/> 1,563</p> <p>e. 6,970 <input type="text"/> 6,940 f. 7,030 <input type="text"/> 6,950</p> <p>g. 7,080 <input type="text"/> 7,060 h. 6,980 <input type="text"/> 7,010</p>				
<p>2. 計算の答えと次のような設問の中の数字を比べます。 マリオさんは5ドル持っていて、1ドルのこまを買います。余ったお金で、3ドルのミニカーは買えますか。</p>				
<p>3. 次のような数直線上で、目盛りと目盛りの間のスペースはどの位ずつなのかと、それぞれのアルファベットの箇所の数字を書きます。</p> <p>a.</p>  <p>b.</p>  <p>c.</p>  <p>d.</p> 				
<p>4. 千の位と百の位で概算します。</p> <p>a. 4,285 b. 4,965 c. 5,702</p>				

応用問題

次の表は、2007年の国勢調査の結果に基づく東部地域の4県の市町村の人口を示しています。

ウスルタン	344,235	サン・ミゲル	434,003	モラサン	174,406	ラ・ウニオン	238,217
1. ウスルタン	73,064	1. サン・ミゲル	218,410	1. サン・フランシスコ・ゴテラ	21,049	1. ラ・ウニオン	34,045
2. アレグリア	11,712	2. カロリーナ	8,240	2. アランバラ	1,821	2. アナモロス	14,551
3. ベルリン	17,787	3. シウダ・バリオス	24,817	3. カカオペーラ	10,943	3. ボリーバル	4,215
4. カリフォルニア	2,628	4. コマカラン	3,199	4. コリント	15,410	4. コンセプション・デ・オリエンテ	8,179
5. コンセプション・パトレス	12,197	5. チャベルティーケ	10,728	5. チランガ	9,700	5. コンチャグア	37,362
6. エル・トリウンフォ	6,924	6. チナメーカ	22,311	6. デリシアス・デ・コンセプション	5,076	6. エル・カルメン	12,324
7. エレグアイキン	6,119	7. チリラグア	19,984	7. エル・ディビサデロ	7,617	7. エル・サウセ	6,546
8. エスタンスエラス	9,015	8. エル・トランシト	18,363	8. エル・ロサリオ	1,339	8. インティブカ	7,567
9. ヒキリスコ	47,784	9. ロロティーケ	14,916	9. グアロコクティ	3,650	9. リスリーケ	13,385
10. フクアバ	18,442	10. モンカグア	22,659	10. グアタヒアグア	11,721	10. メアングラ・デル・ゴルフオ	2,398
11. フクアラン	13,424	11. ヌエバ・グアダルーベ	8,905	11. ホアテカ	4,210	11. ヌエバ・エスパルタ	9,637
12. メルセデス・ウマニャ	13,092	12. ヌエボ・エデン・デ・サン・ファン	4,034	12. ホコアイティケ	2,877	12. パサキナ	16,375
13. ヌエバ・グランダ	7,451	13. ケレーバ	4,049	13. ホコーロ	10,060	13. ポロロス	9,701
14. オサトラン	12,443	14. サン・アントニオ	5,304	14. ロロティキジョ	4,915	14. サン・アレホ	17,598
15. プエルト・エル・トリウンフォ	16,548	15. サン・ヘラルド	5,986	15. メアングラ	7,818	15. サン・ホセ	2,971
16. サン・アグソン	6,518	16. サン・ホルヘ	9,115	16. オンカラ	8,909	16. サンタ・ロサ・デ・リマ	27,693
17. サン・ブエナビントラ	4,726	17. サン・ルイス・デ・ラ・レイナ	5,637	17. ペルキン	3,158	17. ヤヤンティケ	6,871
18. サン・インドロ	4,945	18. サン・ラファエル	13,290	18. サン・カルロス	4,172	18. ユクアイキン	6,799
19. サン・フランシスコ・ハビエル	5,409	19. セソーリ	10,705	19. サン・フェルナンド	1,708		
20. サンタ・エレナ	17,342	20. ウルアサーバ	3,351	20. サン・インドロ	2,804		
21. サンタ・マリア	10,731			21. サン・シモン	10,102		
22. サンティアゴ・デ・マリア	18,201			22. センセンブラ	2,940		
23. テカバン	7,697			23. ソシエダ	11,046		
				24. トロラ	3,042		
				25. ヤマバル	4,346		
				26. ヨロアイキン	3,613		

上記のデータから次の質問に答えなさい。

- a. 人口が5,000人、6,000人、7,000人、8,000人、9,000人、10,000人に一番近いのはそれぞれの市町村でしょうか。

5,000: _____ 6,000: _____ 7,000: _____
8,000: _____ 9,000: _____ 10,000: _____

- b. 人口がより少ない3つの市町村はどれでしょうか。

- c. ラ・ウニオン県のヌエバ・エスパルタ市と一番近い人口の市町村はどれでしょうか。

★挑戦しよう

- a. 東部地域で一番人口が多い市町村の名前を言えますか。
まだ習っていませんが、その人口の数を読めますか。

- b. 百の位を概算すると人口が10,000人になる市町村はどれでしょうか。

ユニット

2



四桁までの数のたし算とひき算

このユニットでは次のことを学びます。

- 繰り上がりのない四桁までの数の足し算
- 一回、二回または三回繰り上がりのある四桁までの数の足し算
- 三つの数までの足し算
- 繰り下がりのない四桁までの数の引き算
- 一回、二回または三回繰り下がりのある 四桁までの数の引き算

1.1 繰り上がりのない四桁の数のたし算

理解しよう

四桁の数のたし算は、一の位から始めます。次に、十の位、百の位、千の位を計算します。例えば、 $2,531 + 1,345$ の計算の仕方は：

①

	2	,	5	3	1
+	1	,	3	4	5
					6

一の位をたすよ：
 $1 + 5 = 6$

②

	2	,	5	3	1
+	1	,	3	4	5
				7	6

十の位をたすよ：
 $3 + 4 = 7$

③

	2	,	5	3	1
+	1	,	3	4	5
			8	7	6

百の位をたすよ：
 $5 + 3 = 8$

④

	2	,	5	3	1	
+	1	,	3	4	5	
		3	,	8	7	6

千の位をたすよ：
 $2 + 1 = 3$

解いてみよう

1. 計算しましょう：

a. $4,321 + 1,132$

		,			
+		,			

b. $5,251 + 2,035$

		,			
+		,			

c. $4,710 + 4,259$

		,			
+		,			

d. $3,026 + 2,843$

		,			
+		,			

e. $1,758 + 3,221$

		,			
+		,			

f. $6,235 + 1,014$

		,			
+		,			

g. $2,670 + 2,129$

		,			
+		,			

h. $7,043 + 1,533$

		,			
+		,			

i. $1,475 + 1,412$

		,			
+		,			

2. ある図書館には、一階に5,251冊、二階に2,035冊の本があります。一階と二階で合計何冊の本がありますか。

1.2 繰り上がりのない四桁までの数のたし算

復習しよう

計算しましょう：

a. $4,285 + 2,613$

		,		
+		,		
<hr/>				

b. $7,893 + 2,003$

		,		
+		,		
<hr/>				

c. $5,251 + 3,247$

		,		
+		,		
<hr/>				

理解しよう

四桁の数に三桁までの数をたすためには、まず、たされる数とたす数を位をそろえて縦に並べます。

- ① 一の位の数同士をたします。
- ② 十の位の数同士をたします。
- ③ 百の位の数同士をたします。
- ④ 千の位の数同士をたします（または数を下します）。例えば $4 + 5,312$ の足し算を行う方法は：

				4	
+	5	,	3	1	2
<hr/>					
	5	,	3	1	6

解いてみよう

1. 計算しましょう：

a. $7,403 + 592$

b. $311 + 7,682$

c. $5,047 + 21$

d. $54 + 2,923$

e. $8,764 + 5$

f. $5 + 9,234$

2. マリオの学校では、レクリエーション活動のために、1,107枚のチョコビスケットと892枚のバニラビスケットを買いました。全部で何枚ビスケットを買いましたか。

2.1 一回繰り上がりのある四桁までの数のたし算

復習しよう

計算しましょう：

a. $3,421 + 4,147$

		,		
		,		
+		,		
<hr/>				

b. $2,454 + 6,533$

		,		
		,		
+		,		
<hr/>				

c. $3,050 + 3,209$

		,		
		,		
+		,		
<hr/>				

d. $3,072 + 917$

e. $863 + 5,124$

f. $4,063 + 23$

g. $39 + 2,640$

h. $6,986 + 3$

i. $7 + 1,872$

理解しよう

四桁の数のたし算では、十の位であろうと、百の位であろうと、千の位であろうと、繰り上げた1をたすのを忘れてはいけません。例：

a. $4,168 + 370$

	4	,	1	6	8
+			3	7	0
<hr/>					
	4	,	5	3	8

b. $3,468 + 17$

	3	,	4	6	8
+				1	7
<hr/>					
	3	,	4	8	5

解いてみよう

計算しましょう：

a. $7,038 + 2,734$

b. $8,483 + 345$

c. $4,154 + 38$

d. $3,207 + 7$

2.2 二回繰り上がりのある四桁までのたし算

復習しよう

計算しましょう：

a. $39 + 9,840$

b. $1,764 + 5$

c. $8 + 5,761$

d. $4,235 + 1,618$

e. $2,293 + 542$

f. $7,646 + 47$

理解しよう

四桁の数のたし算では、2回繰り上げを行うこともあります。例：

a. $7,629 + 834$

	7	6	2	9
+		8	3	4
<hr/>				
	8	4	6	3

b. $2,367 + 84$

	2	3	6	7
+			8	4
<hr/>				
	2	4	5	1

解いてみよう

計算しましょう：

a. $4,249 + 3,183$

b. $1,758 + 338$

c. $9,356 + 89$

d. $5,796 + 7$

2.3 三回繰り上がりのある四桁までの数のたし算

復習しよう

計算しましょう：

a. $3,347 + 1,629$

b. $8,382 + 384$

c. $1,446 + 16$

d. $7,809 + 6$

e. $2,117 + 5,194$

f. $7,645 + 935$

g. $1,764 + 87$

h. $3,694 + 8$

理解しよう

何度も繰り上げて、やり方は同じです。前の授業との違いはありません。

例：

a. $3,735 + 496$

	3	7	3	5
+		4	9	6
	4	2	3	1

b. $4,986 + 37$

	4	9	8	6
+			3	7
	5	0	2	3

解いてみよう

計算しましょう：

a. $1,541 + 4,689$

b. $4,956 + 184$

c. $2,958 + 57$

d. $5,997 + 3$

3.1 繰り上がりのない三つの数のたし算

復習しよう

計算しましょう：

a. $6,469 + 1,285$

b. $2,357 + 726$

c. $8,159 + 72$

d. $1,895 + 5$

e. $5,745 + 2,869$

f. $7,637 + 487$

g. $4,989 + 72$

h. $1,996 + 6$

理解しよう

三つの数のたし算の計算は、二つの数のたし算と似ています。

① たし算する数を位をそろえて縦に並べます。

② 一の位から計算を始めます。次に、十の位、百の位、千の位を計算します。

解いてみよう

1. 計算しましょう：

a. $1,725 + 61 + 210$

b. $4,724 + 3,153 + 1,112$

c. $2,242 + 4,323 + 1,331$

d. $12 + 9,581 + 4$

2. ある町にはA、B、Cの3地区があります。A地区には2,242人が住んでいて、B地区には4,412人、C地区には3,324人が住んでいます。

三地区に住んでいる人は何人ですか。

3.2 繰り上がりのある三つの数のたし算

復習しよう

1. 計算しましょう：

a. $2,854 + 3,278$

b. $8,534 + 676$

c. $3,943 + 69$

d. $5,995 + 5$

2. 次の三つの数のたし算をしましょう：

a. $8,327 + 11 + 431$

b. $12 + 2,963 + 4$

c. $1,332 + 4,212 + 1,351$

理解しよう

四桁までの三つの数のたし算では、

- ① たし算する数を位をそろえて縦に並べます。
- ② 繰り上がる数に注意しながら計算を行います。三つの数をたすときは、次の位に2繰り上がることがあります。

解いてみよう

1. 計算しましょう：

a. $4,282 + 1,314 + 2,133$

b. $2,525 + 2,236 + 3,183$

c. $818 + 1,493 + 7$

d. $9 + 5,319 + 67$

2. あるお祭りに、一日目は5,281人が参加しました。二日目は3,123人、三日目は1,352人が参加しました。三日間で何人の人がお祭りに参加しましたか。

3.3 学習内容の自己評価

問題を解き、学んだことを踏まえて、適切と思うところに×印を入れましょう。注意して答えましょう。

設問	はい	改善 できます。	いい え	コメント
<p>1. 次の足し算ができます。</p> <p>a. $2,147 + 312$ b. $2,837 + 1,569$ c. $726 + 8,594$</p> <p>d. $3,997 + 4$ e. $2,957 + 68$ f. $5 + 762 + 2,134$</p>				
<p>2. 次のような問題が解けます。</p> <p>a. ある日、サンタ・アナ火山に1,867人が登りました。また、別の日には515人が登りました。二日で何人が登りましたか。</p> <p>b. 象の赤ちゃんの体重は198ポンドです。お母さん象は、赤ちゃん象より5,742ポンド重たいです。お母さん象の体重はいくらですか。</p> <p>c. あるレクリエーションセンターでは、三つのスポーツを教えています。132人の子供たちが野球を練習し、1,610人の子供たちはサッカーを練習し、54人の子供たちはバレーボールを練習しています。何人の子供たちがレクリエーションセンターに通っていますか。</p>				

4.1 繰り下がりなしの四桁の数のひき算

復習しよう

計算しましょう：

a. $3,345 + 2,331 + 1,321$

b. $12 + 9,581 + 4$

c. $3,375 + 3,431 + 3,241$

d. $5,578 + 2,245 + 1,112$

e. $679 + 8,514 + 2$

f. $8 + 4,758 + 6$

理解しよう

四桁の数字のひき算は、ひかれる数を書き、次にひく数を書いて、一の位から計算を始めます。次に十の位、百の位、千の位を計算します。千の位の引き算をして、答えがゼロになったら、何も書きません。

	7	,	2	6	5
-	7	,	1	6	4
			1	0	1

解いてみよう

1. 計算しましょう：

a. $3,569 - 2,216$

b. $7,578 - 3,230$

c. $6,459 - 5,304$

d. $3,545 - 3,125$

e. $7,693 - 7,492$

2. あるお店では、スイカ味のキャンディーとイチゴ味のキャンディーを売っています。7,489個のキャンディーがあって、そのうち2,369個がスイカ味のキャンディーなら、イチゴ味のキャンディーは何個ですか。

4.2 繰り下がりなしの、ひく数の桁数がひかれる数の桁数と異なるひき算

復習しよう

1. 次のたし算をしましょう：

a. $1,143 + 2,783 + 5,143$

b. $4,266 + 1,243 + 4,229$

c. $867 + 5,427 + 3$

d. $9 + 8,549 + 7$

2. 次のひき算をしましょう：

a. $5,987 - 1,325$

b. $4,896 - 2,750$

c. $7,274 - 4,102$

d. $5,672 - 5,212$

e. $6,457 - 6,136$

理解しよう

ひかれる数が四桁で、ひく数が三桁までのひき算を行うときには、数を置く位置に気を付けましょう。例えば、 $4,675 - 324$ の計算の仕方は：

	4	6	7	5
-		3	2	4
	4	3	5	1

解いてみよう

1. 計算しましょう：

a. $2,927 - 714$

b. $5,485 - 204$

c. $4,958 - 23$

d. $6,647 - 10$

e. $7,859 - 3$

f. $6,719 - 8$

2. ある倉庫にトウモロコシが 2,293 袋ありましたが、102 袋が売れました。倉庫に残っているトウモロコシは何袋ですか。

4.3 繰り下がり一回の四桁までの数のひき算

復習しよう

計算しましょう：

a. $6,858 - 4,746$ b. $9,385 - 7,160$ c. $5,869 - 2,603$ d. $8,783 - 8,433$ e. $4,479 - 4,161$

f. $2,758 - 434$ g. $8,635 - 204$ h. $1,356 - 42$ i. $5,964 - 30$ j. $7,459 - 8$

理解しよう

一回繰り下がりをしてひき算するときは、繰り下がりをした数を線で消して、残った数を書きます。
例えば：

a. $5,267 - 341$

	⁴	^①		
	5	,	2	6 7
-			3	4 1
<hr/>				
	4	,	9	2 6

b. $5,418 - 32$

		³	^①	
	5	,	4	1 8
-			3	2
<hr/>				
	5	,	3	8 6

c. $6,105 - 34$

		⁰	^①	
	6	,	1	0 5
-			3	4
<hr/>				
	6	,	0	7 1

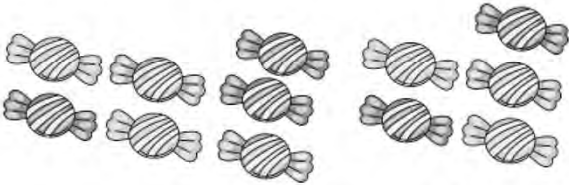
解いてみよう

計算しましょう：

a. $5,362 - 4,124$ b. $5,659 - 924$ c. $2,174 - 37$ d. $1,182 - 9$ e. $3,108 - 86$

4.4 学習内容の自己評価

問題を解き、学んだことを踏まえて、適切と思うところに×印を入れましょう。注意して答えましょう。

設問	はい	改善 できます。	いい え	コメント
<p>1. 次のようなひき算ができます。</p> <p>a. $3,567 - 1,532$ b. $4,579 - 4,321$ c. $3,472 - 212$</p> <p>d. $2,867 - 1,392$ e. $1,428 - 76$ f. $6,251 - 8$</p>				
<p>2. 引き算の式から次のような問題を解くことができます。</p> <p>a. ホセは今年6,872個のスイカを収穫しましたが、去年は4,231個でした。 今年より何個多く収穫できましたか。</p> <p>b. ミリアムは売るためにキャンディーを5,137個仕入れましたが、14個食べてしまいました。売るためのキャンディーは何個残っていますか。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>c. マリアは2,409単語ある本を読んでいます。これまで243単語読みました。読まなければならない単語は、何語残っていますか。</p>				

5.3 繰り下がり二回の計算で、ひかれる数の十の位がゼロのひき算

復習しよう

計算しましょう：

a. $2,948 - 413$

b. $8,856 - 405$

c. $1,376 - 33$

d. $5,959 - 20$

e. $7,458 - 7$

f. $7,630 - 5,518$

g. $4,349 - 427$

h. $6,587 - 39$

i. $9,324 - 8$

j. $5,105 - 32$

理解しよう

繰り下がり二回の四桁の数のひき算を行うためには、次のことに注意しましょう。

- ひかれる数とひく数を縦に並べます。
- 一の位からひき算を始めます。次に十の位、百の位、千の位をひき算します。
- 繰り下げるときは、繰り下げを行った数を線で消して、残った数を書きます。

解いてみよう

1. 計算しましょう：

a. $2,651 - 1,464$

b. $7,628 - 2,896$

c. $8,672 - 4,834$

d. $3,627 - 1,943$

e. $4,872 - 3,495$

2. パーティーで 3,862 個のパンと 1,475 杯のジュースが出されました。パンのほうがジュースよりいくつ多く出されましたか。

5.2 繰り下がり二回の、ひく数の桁数がひかれる数の桁数と異なるひき算

復習しよう

計算しましょう：

a. $8,754 - 4,325$

b. $5,883 - 961$

c. $2,763 - 38$

d. $4,765 - 9$

e. $1,102 - 51$

f. $9,542 - 5,287$

g. $4,224 - 2,962$

h. $6,263 - 3,725$

理解しよう

筆算で四桁の数から、桁数の異なる数をひくときは、位をそろえて数を並べなければなりません。
例えば、 $1,349 - 580$ は：

	0	①	②	①	
	1	3	4	9	
-		5	8	0	
		7	6	9	

解いてみよう

1. 計算しましょう：

a. $1,514 - 753$

b. $3,345 - 248$

c. $4,280 - 602$

d. $4,461 - 758$

e. $1,743 - 762$

f. $9,540 - 64$

2. ある本屋さんには、色鉛筆とクレヨンが1,343箱あります。クレヨンが582箱あるとしたら、色鉛筆は何箱ありますか。

5.3 繰り下がりの二回ある、どこかにゼロの含まれる数の引き算

復習しよう

計算しましょう：

a. $6,574 - 3,619$

b. $5,532 - 2,851$

c. $7,754 - 6,467$

d. $1,465 - 694$

e. $3,523 - 497$

f. $8,380 - 805$

理解しよう

ひき算で、位の一つに繰り下げるものがないときは、次の位から繰り下げて計算を続けます。例えば、 $4,603 - 245$ の仕方は：

		5	9	1
	4	6	0	3
-		2	4	5
	4	3	5	8

解いてみよう

1. 計算しましょう：

a. $4,602 - 434$

b. $5,400 - 1,254$

c. $2,202 - 76$

d. $6,300 - 4$

2. トラックが8,701冊の本を運んでいます。ある学校で423冊下ろしたとしたら、トラックに残っている本は何冊ですか。

5.4 繰り下がり三回のひく数が三桁または四桁のひき算

復習しよう

1. 計算しましょう：

a. $4,651 - 748$

b. $1,438 - 475$

c. $2,620 - 58$

d. $5,603 - 325$

e. $9,500 - 8,248$

f. $6,504 - 87$

g. $1,400 - 5$

h. $1,800 - 7$

理解しよう

ひき算を行うことができないならば、次の位から繰り下げます。繰り下げは三回まで行うことができます。例えば、 $5,432 - 2,785$ の計算は：

	4	①3	①2	①1
	5	4	3	2
-	2	7	8	5
	2	6	4	7

解いてみよう

1. 計算しましょう：

a. $5,348 - 2,459$

b. $4,232 - 3,657$

c. $3,434 - 846$

d. $1,725 - 776$

e. $3,345 - 1,978$

f. $1,273 - 289$

2. ある倉庫には石鹼の入った箱が 1,562 箱ありました。ある日、576 箱が運び出されました。倉庫には石鹼の入った箱が何箱残っていますか。

5.5 繰り下がり三回のひく数が二桁までのひき算

復習しよう

計算しましょう：

a. $2,605 - 128$

b. $9,400 - 6,147$

c. $3,202 - 45$

d. $7,500 - 9$

e. $9,352 - 4,463$

f. $8,254 - 7,697$

g. $4,175 - 489$

h. $1,261 - 572$

理解しよう

ある位に繰り下げることがないときは、繰り下げることができる位から繰り下げます。繰り下げを行った数は線を引いて消し、残った数を書き込み、計算を続けます。例えば、 $2,005 - 9$ の計算は：

	1	10	10	1
	2	0	0	5
-				9
	1	9	9	6

解いてみよう

計算しましょう：

a. $3,052 - 68$

b. $4,008 - 9$

c. $8,051 - 94$

d. $6,002 - 7$

e. $5,002 - 34$

f. $7,003 - 6$

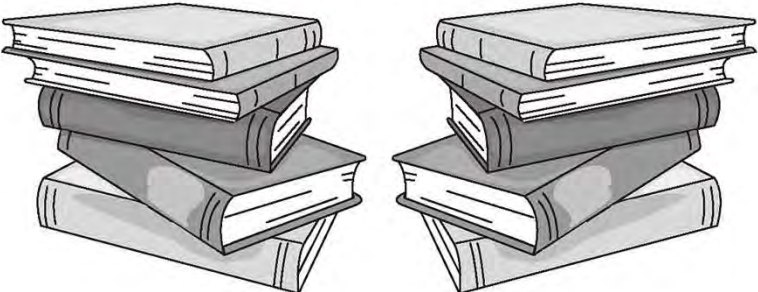
g. $1,001 - 28$

h. $9,000 - 62$

i. $2,000 - 3$

5.6 学習内容の自己評価

問題を解き、学んだことを踏まえて、適切と思うところに×印を入れましょう。注意して答えましょう。

設問	はい	改善 できます。	いい え	コメント
<p>1. 次のようなひき算ができます。</p> <p>a. $3,246 - 1,597$ b. $8,406 - 627$ c. $4,260 - 567$</p> <p>d. $4,005 - 8$ e. $6,003 - 57$ f. $2,531 - 856$</p> <p>g. $4,036 - 58$ h. $5,000 - 9$</p>				
<p>2. 引き算の式から次のような問題を解くことができます。</p> <p>a. ホッキョクグマの体重は、約 1,100 ポンドで、ヒグマの体重は約990 ポンドです。ホッキョクグマはヒグマよりも何ポンド重いですか。</p> <p>b. 読書キャンペーンで、2,005 冊の本を集めました。そのうち47 冊には、カバーがついていません。カバーのある本は何冊ですか。</p> <div style="text-align: center;">  </div>				

応用問題

1. 次の表は女子生徒と男子生徒それぞれの数、その差と合計人数を示しています。表を埋めましょう。

県	女子生徒	男子生徒	差	合計
アウアチャパン	3,131	3,406	275	6,537
サンタ・アナ	4,283	4,623		
ソンソナーテ	4,143	4,363		
チャラテナンゴ	1,660	1,758		
ラ・リベルタ	5,191	5,758	567	10,949
エルサルバドル	9,014	9,368	354	18,382
クスカトラン		2,214		4,710
ラパス	2,902	3,073		5,975
カバニヤス	1,634			3,243
サンビセンテ	1,466		228	
ウスルタン		3,576		6,656
サン・ミゲル	4,052	4,273		8,325
モラサン		1,995	205	
ラ・ウニオン	2,368			4,998

2. フリオ氏は 150 ドルを次のように持っています。



- ある 118 ドルの品物を買うとき、おつりはいくらですか。

- 紙幣の枚数が少なくなる支払方法はどれですか。

- おつりをもらったあと、紙幣の数が少なくなるような支払方法はどれですか。

- どちらの支払いの方がいいと思いますか。理由を説明しなさい。



ユニット 3

角、線、円、球

このユニットでは次のことを学びます。

- 三角定規を使って角度を比較する事
- 垂線と平行線を知る事
- 垂線と平行線を引く事
- 円とその要素を知る事
- コンパスを使って円を描く事
- 球とその要素を知る事

1.1 直角を見分けましょう。

復習しよう

1. 次の問題を解きましょう。

a.
$$\begin{array}{r} 4,659 \\ + 2,412 \\ \hline \end{array}$$

b.
$$\begin{array}{r} 3,527 \\ - 1,268 \\ \hline \end{array}$$

2. 問題を解きましょう。

a. 温泉に 1,285 人が訪れましたが、この人数は前日より 325 人少ない数でした。前日に何人の人が訪れたのでしょうか？

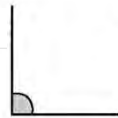
式： _____ 答え： _____

b. ある観光地は週末に 2,500 人を受け入れるという目標を定めましたが、225 人足りませんでした。この観光地は何人を受け入れたのでしょうか？

式： _____ 答え： _____

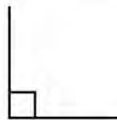
理解しよう

この角度はこのような形です：



これを**直角**といいます。

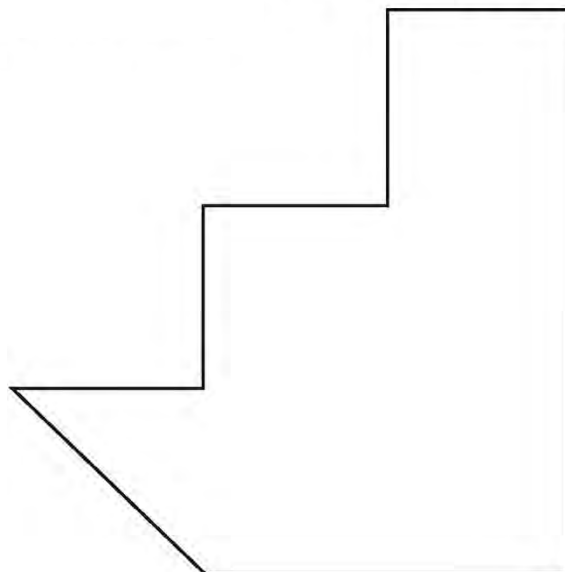
直角はこのように表します：



つまり、 という記号を  に変えます。

解いてみよう

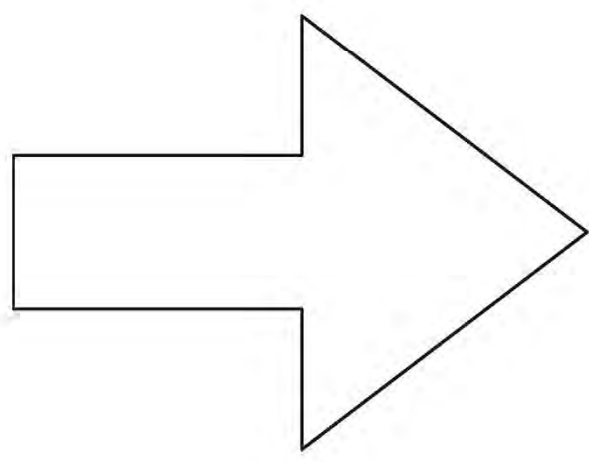
次の図形の中で直角を見つけましょう。授業中に折ったページを使って、見つけた直角に直角記号を書きましょう。



1.2 角と直角の比較

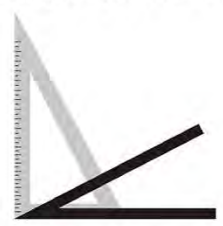
復習しよう

次の図形の中で直角を見つけましょう。授業 1.1 で折ったページを使って、見つけた直角に直角記号を書きましょう。



理解しよう

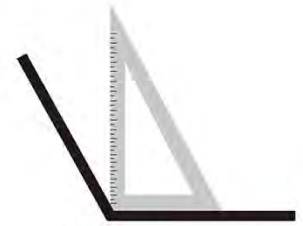
角度は：



直角より小さいこともあります。



直角と同じこともあります。



直角より大きいこともあります。

解いてみよう

三角定規を使って角度を比べて、直角より小さいもの、同じもの、あるいは大きいものと3グループに分けましょう。

a.



b.



c.



d.



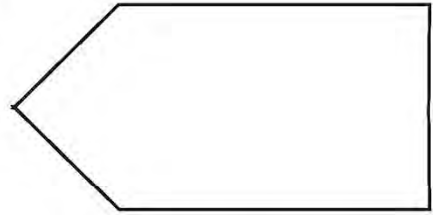
小さいもの： _____ 同じもの： _____ 大きいもの： _____

家族のサイン： _____

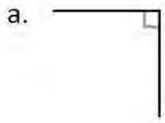
1.3 垂線

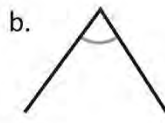
復習しよう

1. 次の図形の中で直角を見つけましょう。授業 1.1 で折ったページを使って、見つけた直角に直角記号を書きましょう。



2. それぞれの設問に対し、角度が直角より大きいか、小さいか、同じかを空欄に書きましょう。





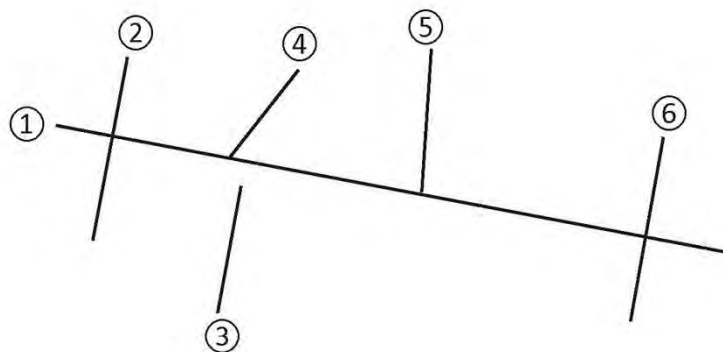


理解しよう

2本の直線で形作られる角度が直角ならば、その2本の直線は**垂線**です。

解いてみよう

三角定規を使ってどの直線が直線①に対し垂直なのかを答えましょう。

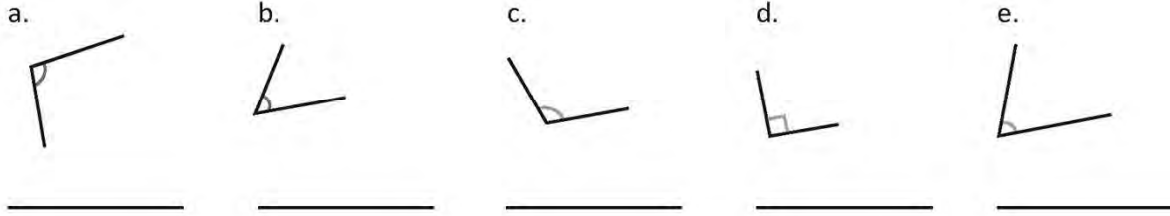


直線①に対する垂線は： _____

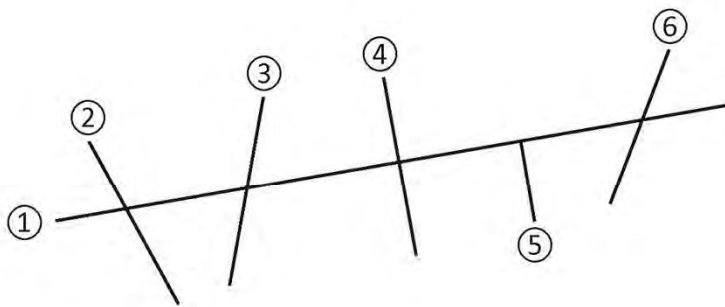
1.4 垂線の書き方

復習しよう

1. それぞれの設問に対し、角度が直角より大きいか、小さいか、同じかを空欄に書きましょう。



2. 三角定規を使ってどの直線が直線①に対し垂直なのかを答えましょう。



直線①に対する垂線は： _____

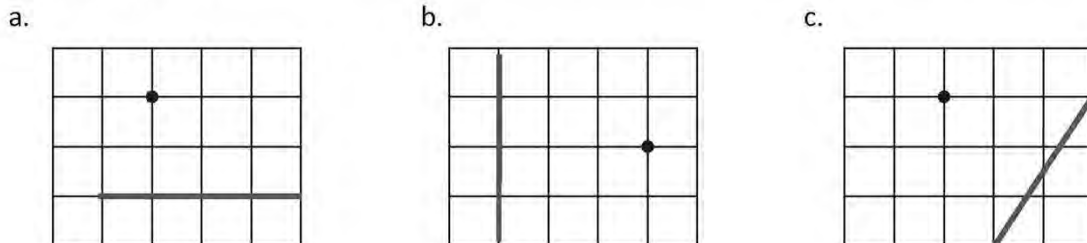
理解しよう

垂線を引くには：

- ① 与えられた直線に三角定規を当てましょう。
- ② 与えられた点の上で直角を作るために、もう一方の三角定規を当てましょう。
- ③ もう一つの直線となるように三角定規の辺に線を引きましょう。

解いてみよう

点を通り、以下の与えられた各直線と垂直に交わる直線を引きましょう。

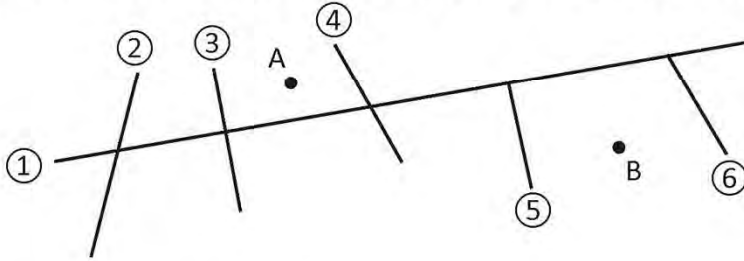


1.5 平行線

復習しよう

図を踏まえて次のようにしてみましょう。

- ①に対して垂直な線はどれなのか空欄に書きましょう。
- ①に対して垂直な線でA点を通る直線とB点を通る直線を引きましょう。



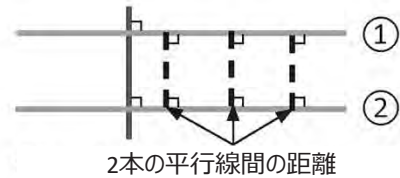
①に対する垂線： _____

理解しよう

2本の直線で、それぞれが第三の同じ直線と直角に交わるものを**平行線**と呼びます。

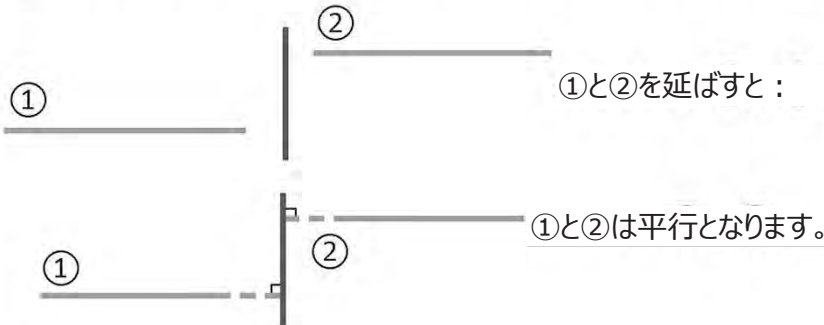
直線①と②は平行であり、この平行線の間にある垂線の線分を**平行線の距離**と呼びます。

この距離は、平行線のどの場所でも同じです。



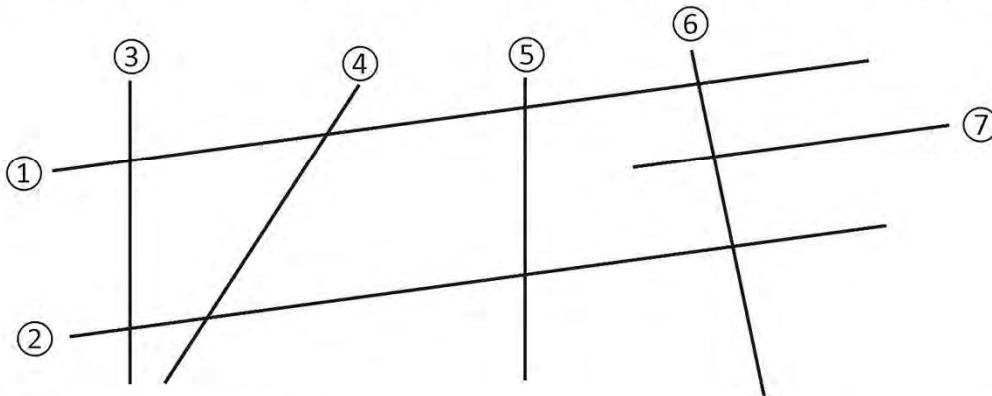
2つの直線がこれを伸ばした時に同じ第三の直線と垂直になる場合、2つの直線は平行になります。

例えば：



解いてみよう

以下の直線をよく見て、平行な直線の組み合わせを空欄に書きましょう。



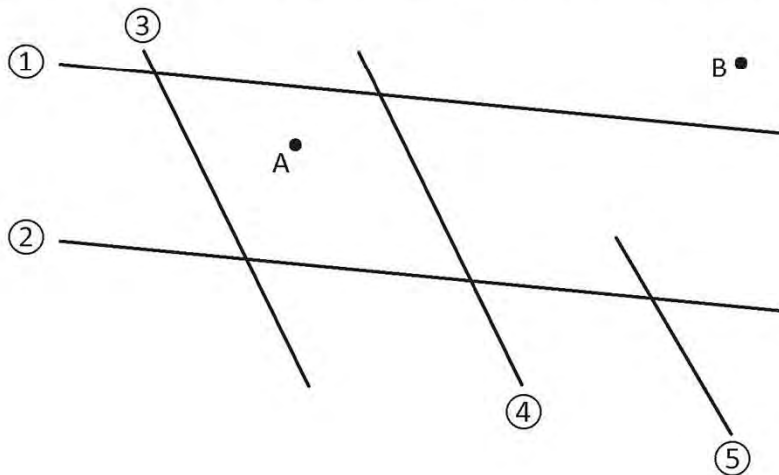
平行線の組み合わせ： _____

1.6 平行線の描き方

復習しよう

図を踏まえて次のようにしてみましょう。

- a. A点とB点をそれぞれ通り、①に対して垂直な直線を引きましょう。
- b. 平行な直線の組み合わせを空欄に書きましょう。



平行線の組み合わせ： _____

理解しよう

2本の平行線を引きましょう。

- ① 与えられた直線に三角定規を当てましょう。
- ② 直角を作るようにもう一つの三角定規を当てましょう。
- ③ 三角定規を与えられた点の上にくるように動かしましょう。
- ④ もう一つの平行線となるように三角定規の辺に線を引きましょう。

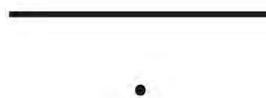
解いてみよう

以下の与えられた直線に平行な直線を点を通して1本描いてください。

a.



b.



c.







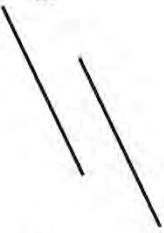
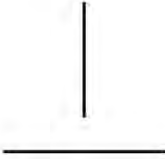

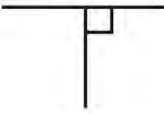
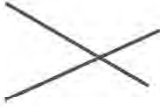
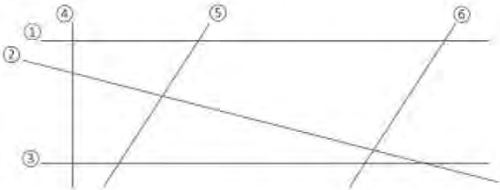
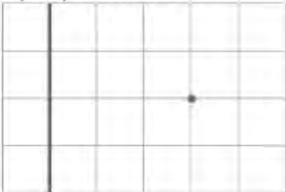
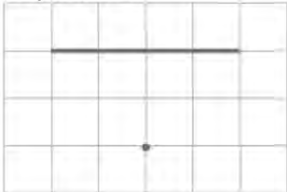
d.



家族のサイン： _____

1.7 学習内容の自己評価

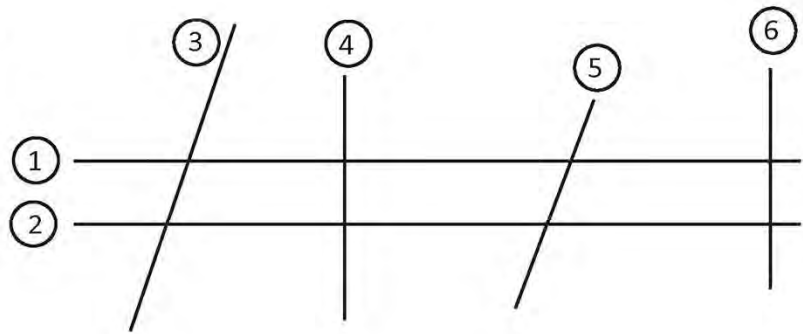
問題を解き、学んだことに基づいて適切だと思うところに「x」印を入れましょう。注意して答えましょう。

設問	はい	改善できます。	いいえ	コメント
<p>1. 時計の針が作る角度が直角よりも大きいか、小さいか、同じかを答えます。</p> <p>a. </p> <p>b. </p> <p>c. </p> <p>d. </p>				
<p>2. 以下の直線のうち、どれが垂線でどれが平行線かを特定します。</p> <p>a. </p> <p>b. </p> <p>c. </p> <p>d. </p> <p>e. </p>				
<p>3. 三角定規を使って垂線の組み合わせと平行線の組み合わせを以下のような図の中から見つけ出します。</p> 				
<p>4. 点を通して次のように示されている直線を引くために、三角定規を使います。</p> <p>a. 垂線 </p> <p>b. 平行線 </p>				

2.1 円とその要素

復習しよう

1. 以下の直線をよく見て、平行な直線の組み合わせを空欄に書きましょう。



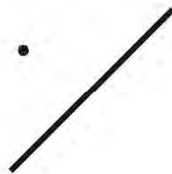
平行線の組み合わせ： _____

2. 点を通りながら平行線を引きましょう。

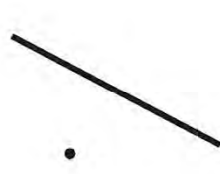
a.



b.



c.



理解しよう

- 与えられた点の周囲に円状に配置されたどの点をとっても、与えられた点との間隔が同じである図形は、単に**円**と呼ばれます。
- 与えられた点を、**中心**と呼びます。
- 中心の周りにはある点は、その円の**外周**を表します。円の外周の一部を**弧**と呼びます。
- 中心から外周の任意の点まで引かれる直線の線分は**半径**と呼ばれます。



円においては、多数の半径を描くことができますが、すべて同じ長さになります。



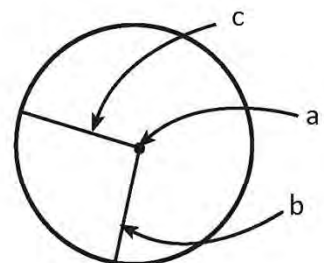
解いてみよう

1. 円をよく見てそれぞれアルファベットで示されている部分の名前を書きましょう。

a: _____

b: _____

c: _____



2. 空欄 を埋めましょう。

与えられた点からその外周の任意の点までの長さが同じ図形は と呼び、この与えられた点は と呼び、中心から円の外周の任意の点に引かれる線分を と呼びます。

2.2 円の直径と半径の関係

復習しよう

1. 以下の与えられた直線に平行な直線を点を通して1本描いてください。

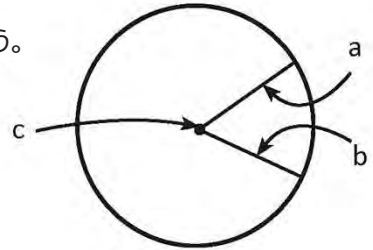


2. 円をよく見てそれぞれアルファベットで示されている部分の名前を書きましょう。

a: _____

b: _____

c: _____



理解しよう

円の外周の2点を結び、かつ中心を通る直線の線分を**直径**と呼びます。

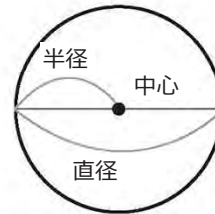
直径の長さは半径の長さの2倍です。

直径を求めるには：半径 \times 2 = 直径

半径を求めるには、□に入る値を探します。よって：

□ \times 2 = 直径

直径は**中心**で交わります。

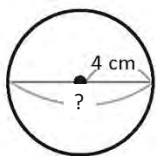


円においては、直径をいくつも描く事ができ、すべて同じ長さです。

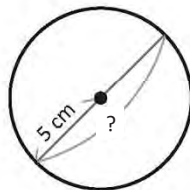


解いてみよう

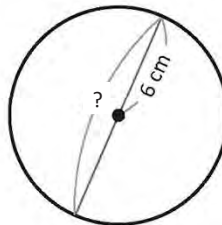
1. 直径の長さを求めましょう。



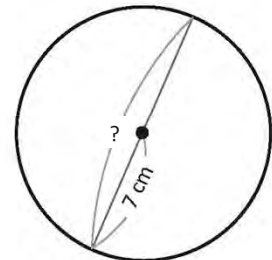
a. _____ cm.



b. _____ cm.

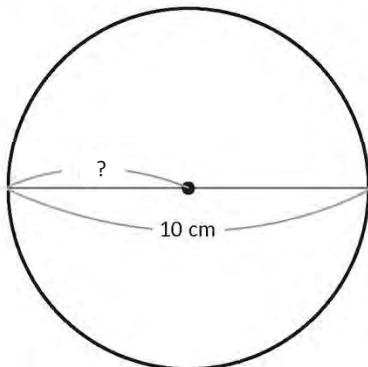


c. _____ cm.

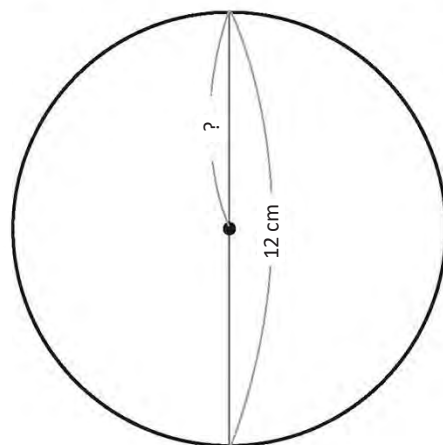


d. _____ cm.

2. 半径の長さを求めましょう。



a. □ \times 2 = 10 cm.



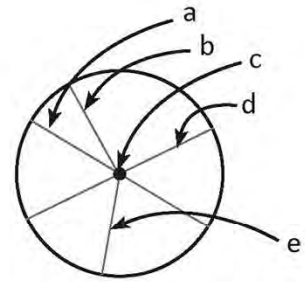
b. _____ cm.

2.3 円の描き方

復習しよう

1. 円をよく見てそれぞれアルファベットで示されている部分の名前を書きましょう。

a: _____ b: _____ c: _____
 d: _____ e: _____

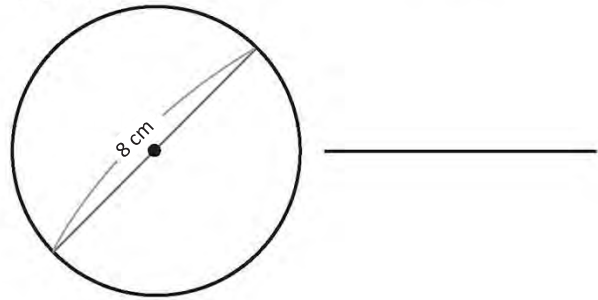


2. 長さを求めましょう。

a. 直径



b. 半径



理解しよう

コンパスで円を描くには：

- ① コンパスを開き、定規上で半径の大きさに合わせましょう。
- ② コンパスの針を置いた点が中心になります。
- ③ 円ができるまでコンパスを回しましょう。

解いてみよう

円を描きましょう。

a. 半径 2 cm の円

b. 半径 4 cm の円



2.4 球

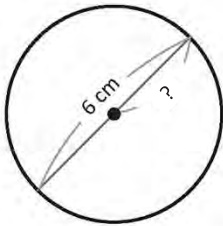
復習しよう

1. 長さを求めましょう。

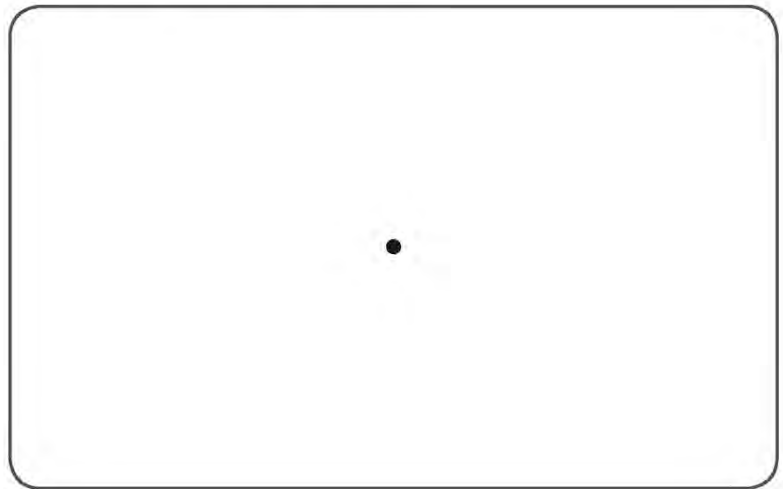
a. 直径



b. 半径



2. 半径 3 cm の円を描きましょう。

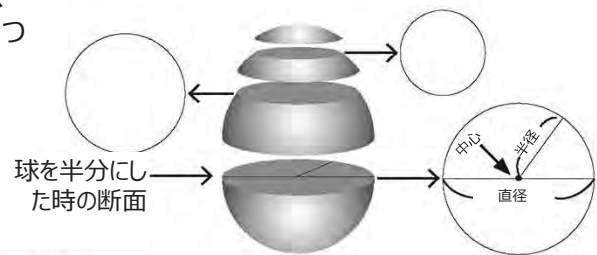


理解しよう

ある物体を異なる位置から見ても円形であれば、それは球と呼ばれます。

球においては、異なる場所で切断してもすべて円形となり、半分となる場所での球の断面は最も大きい円となります。つまりは次のようになります。

- 円の中心は球の中心になります。
- 円の半径は球の半径になります。
- 円の直径は球の直径になります。



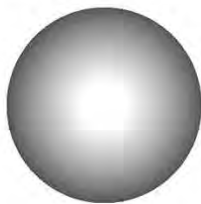
解いてみよう

1. 球である物体のアルファベットを書きましょう。

a.



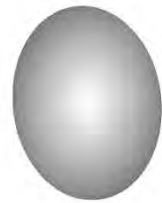
b.



c.



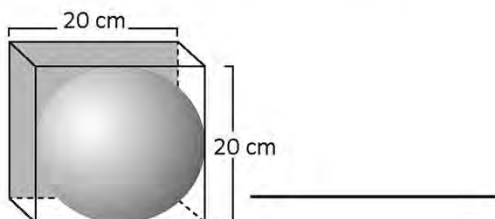
d.



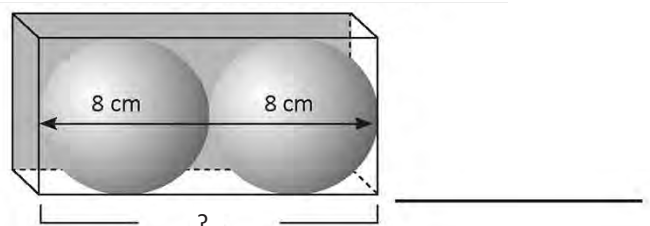
球は：

2. 箱に球が入っています。次の問いに答えましょう。

a. 球の直径の値は何ですか。



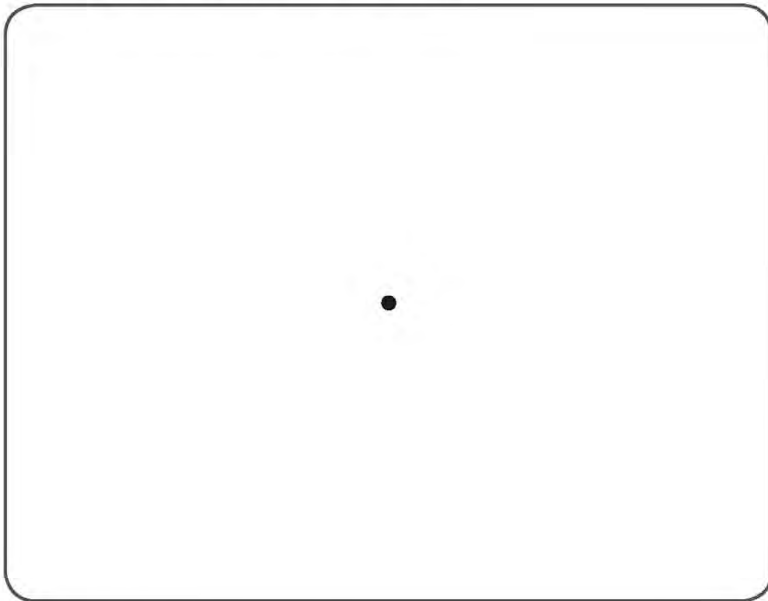
b. それぞれの球の直径は 8 cm です。箱の長さは何の位でしょうか。



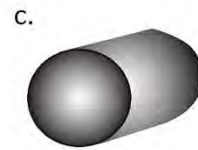
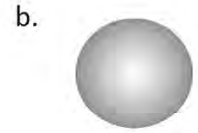
2.5 長さの比較

復習しよう

1. 半径 4 cm の円を描きましょう。



2. 球である物体のアルファベットを書きましょう。

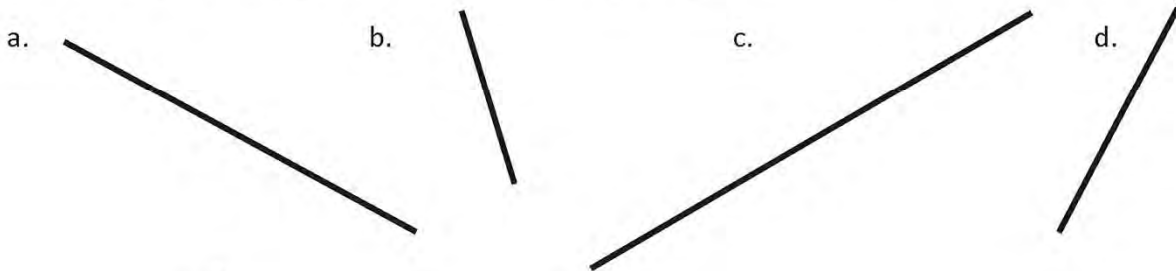


理解しよう

コンパスを使い、同じ開き幅を保つことで、線分と他の線分とを比べることができます。

解いてみよう

1. 次の線分を長さが短いものから並べましょう。

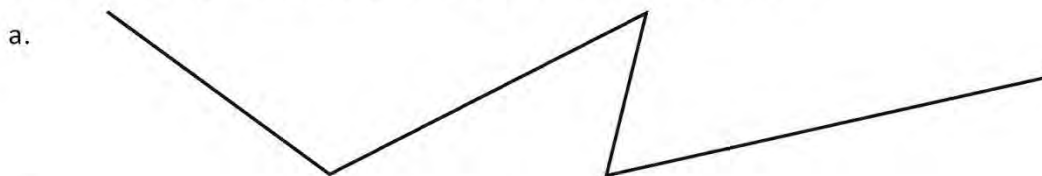


答え : _____

2. コンパスを使って次の直線を 3 cm の長さに分けましょう。



3. コンパスを使って次の線の長さを比較しましょう。



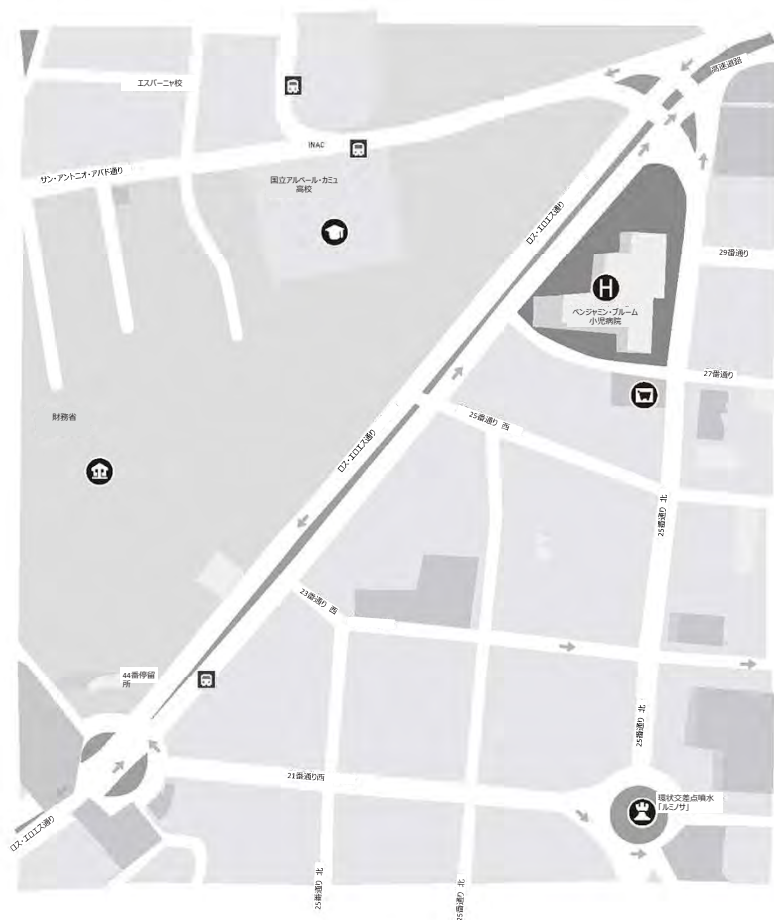
家族のサイン : _____

応用問題

1. 円が含まれる物を丸で囲み、平行線がある物に x を記し、垂線にチェックを記しましょう。



2. 次の地図で、平行になっている道路と垂直になっている道路を特定しましょう。





ユニット 4

かけ算

このユニットでは次のことを学びます。

- 2桁、3桁、4桁の数に1桁の数を掛けるかけ算
- 繰り上がり有り と 繰り上がり無しの2桁と1桁の数の掛け算
- 繰り上がり有り と 繰り上がり無しの3桁と1桁の数の掛け算

1.1 復習問題

解いてみよう

1. 九九表を埋めましょう。

×		乗数								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
被乗数	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
	7									
	8									
	9									

2. 計算しましょう。

a. $4 \times 9 =$

b. $6 \times 3 =$

c. $5 \times 9 =$

d. $6 \times 7 =$

e. $6 \times 4 =$

f. $2 \times 9 =$

g. $4 \times 4 =$

h. $8 \times 2 =$

i. $7 \times 3 =$

j. $4 \times 3 =$

k. $9 \times 9 =$

l. $7 \times 4 =$

1.2 被乗数を分解して行うかけ算

復習しよう

九九表を使って次の表を埋めましょう。

×		乗数						
		1	9	3	4	5	6	7
被乗数	4							
	2							
	3							
	7							
	8							

理解しよう

2桁の数に1桁を掛けるかけ算は、 2×1 から 9×9 の九九表を利用して被乗数を分解し、2つの積を足して答えを求めることができます。この方法で、より簡単に計算することができます。

10 と別の数字に分解すると、より簡単です。



解いてみよう

被乗数を分解して次のかけ算の答えを求めましょう。

a.

$$11 \times 6 \begin{cases} 10 \times 6 \\ 1 \times 6 \end{cases}$$

$$11 \times 6 \begin{cases} 10 \times \quad = \\ \underline{1 \times \quad} = \\ \text{合計 :} \end{cases}$$

b.

$$13 \times 5 \begin{cases} 10 \times \quad = \\ \underline{3 \times \quad} = \\ \text{合計 :} \end{cases}$$

c.

$$17 \times 4 \begin{cases} 10 \times \quad = \\ \underline{\quad \times \quad} = \\ \text{合計 :} \end{cases}$$

d.

$$16 \times 4 \begin{cases} \quad \times \quad = \\ \underline{\quad \times \quad} = \\ \text{合計 :} \end{cases}$$

e.

$$19 \times 3 \begin{cases} \quad \times \quad = \\ \underline{\quad \times \quad} = \\ \text{合計 :} \end{cases}$$

家族のサイン : _____

2.1 10に1桁の数を掛けるかけ算

復習しよう

1. 計算しましょう。

a. $4 \times 8 =$

b. $3 \times 4 =$

c. $6 \times 7 =$

d. $5 \times 8 =$

e. $8 \times 3 =$

f. $2 \times 7 =$

g. $3 \times 9 =$

h. $3 \times 5 =$

i. $8 \times 8 =$

j. $7 \times 8 =$

2. 被乗数を分解してかけ算をしましょう。

a.

$$\begin{array}{r} 17 \times 4 \\ \times \quad = \\ \times \quad = \\ \hline \text{合計 :} \end{array}$$

b.

$$\begin{array}{r} 14 \times 8 \\ \times \quad = \\ \times \quad = \\ \hline \text{合計 :} \end{array}$$

理解しよう

10に1桁を掛けるには、1とその1桁の数を掛け、0を1つ加えます。

$$\begin{array}{r} 10 \times \triangle = \triangle 0 \\ \downarrow \quad \downarrow \quad \uparrow \\ 1 \times \triangle = \triangle \end{array}$$

△中には、1から9の数字のどれかが入ります。例：

$$\begin{array}{r} 10 \times \triangle = \triangle 0 \\ \downarrow \quad \downarrow \quad \uparrow \\ 1 \times \triangle = \triangle \end{array}$$



解いてみよう

0を加えて、計算しましょう。

a. 10×2

b. 10×3

c. 10×4

d. 10×5

e. 10×6

f. 10×7

g. 10×8

h. 10×9

2.2 100と1,000に1桁の数を掛けるかけ算

復習しよう

1. 被乗数を分解してかけ算をしましょう。

a.

$$\begin{array}{r}
 13 \times 7 \\
 \begin{array}{l} \nearrow \\ \searrow \end{array} \\
 \begin{array}{r}
 \times = \\
 \times = \\
 \hline
 \text{合計 :}
 \end{array}
 \end{array}$$

b.

$$\begin{array}{r}
 15 \times 5 \\
 \begin{array}{l} \nearrow \\ \searrow \end{array} \\
 \begin{array}{r}
 \times = \\
 \times = \\
 \hline
 \text{合計 :}
 \end{array}
 \end{array}$$

2. 0を加えて、計算しましょう。

a. 10×2

b. 100×3

c. 1000×4

d. 10000×5

3. イサベルさんは容器1つにつき花を10本ずつ持っています。容器を8つ持っているとしたら、何本の花を持っているでしょうか。

式： _____

答え： _____

理解しよう

100に1桁を掛けるには、1とその1桁の数を掛け、0を2つ加えます。

$$\begin{array}{r}
 100 \times \Delta = \Delta 00 \\
 \downarrow \quad \downarrow \quad \uparrow \\
 1 \quad \times \Delta = \Delta
 \end{array}$$

加える2つの0は、十の位と一の位の0です。

1,000に1桁を掛けるには、1とその1桁の数を掛け、0を3つ加えます。

$$\begin{array}{r}
 1,000 \times \Delta = \Delta 000 \\
 \downarrow \quad \downarrow \quad \uparrow \\
 1 \quad \times \Delta = \Delta
 \end{array}$$

加える3つの0は、百の位、十の位、一の位の0です。

掛けるときに加える0の数は、10、100、1,000に含まれる0の数と同じになります。

10 → 0が1個、100 → 0が2個、1,000 → 0が3個。



解いてみよう

答えを求めましょう。

a. 100×2 および $1,000 \times 2$

b. 100×3 および $1,000 \times 3$

c. 100×4 および $1,000 \times 4$

d. 100×5 および $1,000 \times 5$

e. 100×6 および $1,000 \times 6$

f. 100×7 および $1,000 \times 7$

家族のサイン： _____

2.3 2桁、3桁、4桁の数に1桁の数を掛けるかけ算

復習しよう

計算しましょう。

a. 10×5

b. 10×8

c. 100×9

d. 100×5

e. 100×7

f. $1,000 \times 2$

g. $1,000 \times 6$

h. $1,000 \times 4$

理解しよう

十の倍数に1桁の数を掛けるには、十の位の数と1桁の数を掛け、0を1つ加えます。

$$\begin{array}{c} \overbrace{20 \times 3 = 60} \\ \downarrow \quad \downarrow \quad \uparrow \\ 2 \times 3 = 6 \end{array}$$

十、百、千の倍数に1桁の数を掛ける時、0の数が被乗数の0の数と同じになることに注目しましょう。

解いてみよう

1. 計算しましょう。

a. $40 \times 2 =$

b. $30 \times 3 =$

c. $20 \times 3 =$

d. $200 \times 4 =$

e. $300 \times 2 =$

f. $400 \times 2 =$

g. $3,000 \times 2 =$

h. $4,000 \times 2 =$

i. $2,000 \times 3 =$

2. かけ算の値を求める事ができるよう空欄を埋めましょう。

a. $30 \times \square = 60$

b. $300 \times \square = 900$

c. $\square \times 2 = 800$

d. $\square \times 2 = 40$

e. $\square \times 3 = 600$

f. $\square \times 2 = 4000$

2.4 2桁、3桁の数に1桁の数を掛け、繰り上がるかけ算

復習しよう

1. 計算しましょう。

a. 100×2

b. $1,000 \times 6$

2. パーティーのためにキャンディーの袋を買います。それぞれの袋にキャンディーが1,000個あり、6袋買ったとすると、キャンディーを何個買った事になるでしょうか。

式： _____

答え： _____

3. 計算しましょう。

a. $30 \times 3 =$

b. $400 \times 2 =$

c. $3,000 \times 2 =$

4. 家1軒を建てるのに、ブロックが4,000個必要です。同じ家を2軒建てるとうると、ブロックを何個買わなければならないでしょうか。

式： _____

答え： _____

理解しよう

40×3 をかけ算するには：
十の位の数と1桁の数を掛け、0を1つ加えます。

$$\begin{array}{r} \overline{40 \times 3 = 120} \\ \downarrow \quad \downarrow \quad \uparrow \\ 4 \times 3 = 12 \end{array}$$

400×5 をかけ算するには：
百の位の数と1桁の数を掛け、0を2つ加えます。

$$\begin{array}{r} \overline{400 \times 5 = 2000} \\ \downarrow \quad \downarrow \quad \uparrow \\ 4 \times 5 = 20 \end{array}$$

解いてみよう

1. 計算しましょう。

a. $50 \times 3 =$

b. $80 \times 5 =$

c. $90 \times 6 =$

d. $600 \times 6 =$

e. $700 \times 8 =$

f. $800 \times 8 =$

g. $900 \times 9 =$

h. $500 \times 8 =$

2. サンサルバドルからアウアチャパンまで 100 km あります。トラックがここを 3 往復しました。トラックは合計何 km 移動しましたか。

式： _____

答え： _____

3.1 筆算でのかけ算

復習しよう

計算しましょう。

a. 40×2

b. 200×3

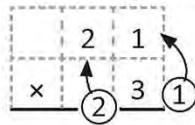
c. 30×7

d. 600×4

理解しよう

2桁の数に1桁の数を筆算でかけ算するには、

- ① 一の位に一の位を掛けます。
- ② 一の位に十の位を掛けます。



筆算では、乗数の九九表を使うことができます。そのため、表の暗記が必要です。

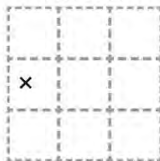


解いてみよう

計算しましょう。

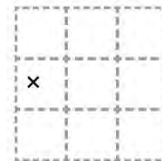
a.

31×2



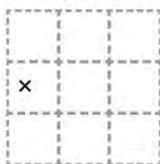
b.

42×2



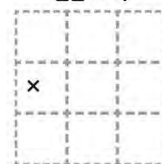
c.

12×3



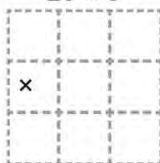
d.

22×4



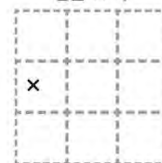
e.

23×3



f.

12×4



3.2 十の位に繰り上げがあるかけ算

復習しよう

1. 計算しましょう。

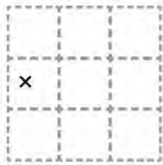
a. $40 \times 3 =$

b. $300 \times 9 =$

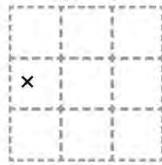
c. $800 \times 4 =$

2. 次のかけ算を筆算しましょう。

a. 13×2



b. 32×3



c. 21×4



3. マルガリータさんは算数のテストのために勉強をして1日に13問の問題を解きました。これを3日間した場合、全部で問題を何問解いた事になるでしょうか。

式： _____

答え： _____

理解しよう

2桁の数に1桁の数を掛け、繰り上がりを伴うかけ算を解くには、

- ① 一の位に1桁の数を掛け、積の一の位を書き、十の位は繰り上げる数を記します。
- ② 十の位に1桁の数を掛け、繰り上げた数を足します。

	1	4
x		3
	4	2

解いてみよう

次のかけ算を筆算しましょう。

a. $18 \times 3 =$

b. $28 \times 3 =$

c. $24 \times 4 =$

d. $25 \times 2 =$

e. $16 \times 5 =$

f. $13 \times 6 =$

3.3 百の位に繰り上げがあるかけ算

復習しよう

次のかけ算を筆算しましょう。

a. $33 \times 3 =$

b. $11 \times 4 =$

c. $17 \times 2 =$

d. $14 \times 5 =$

理解しよう

百の位に繰り上げがあるかけ算を解くには、

- ① 一の位に1桁の数を掛け、一の位の位置に書き入れます。
- ② 十の位に1桁の数を掛けます。
- ③ 百の位に繰り上げがある場合、百の位の位置に書き入れます。

例：

a. 21×7

	2	1
×		7
1	4	7

b. 52×4

	5	2
×		4
2	0	8

解いてみよう

次のかけ算を筆算しましょう。

a. $21 \times 7 =$

b. $52 \times 3 =$

c. $73 \times 3 =$

d. $52 \times 4 =$

e. $71 \times 6 =$

f. $81 \times 9 =$

3.4 学習内容の自己評価

問題を解き、学習した内容について適切だと思うところに「x」印を入れましょう。注意して答えましょう。

設問	はい	改善 できます。	いい え	コメント
<p>1. 次の答えを求めましょう。</p> <p>a. 100×8 b. 200×8 c. 500×8</p> <p>d. $1,000 \times 9$ e. $2,000 \times 3$ f. $3,000 \times 3$</p>				
<p>2. 次のようなかけ算ができます。</p> <p>a. $\begin{array}{ c c c } \hline & 3 & 2 \\ \hline \times & & 3 \\ \hline \end{array}$</p> <p>b. $\begin{array}{ c c c } \hline & 2 & 4 \\ \hline \times & & 2 \\ \hline \end{array}$</p> <p>c. $\begin{array}{ c c c } \hline & 4 & 3 \\ \hline \times & & 2 \\ \hline \end{array}$</p> <p>d. $\begin{array}{r} 1 \ 5 \\ \times \quad 6 \\ \hline \end{array}$</p> <p>e. $\begin{array}{r} 7 \ 2 \\ \times \quad 4 \\ \hline \end{array}$</p> <p>f. $\begin{array}{r} 5 \ 4 \\ \times \quad 2 \\ \hline \end{array}$</p>				
<p>3. 次のような練習や問題が解けます。</p> <p>a. カナリアの心臓は1分間に約1,000回鼓動します。7分間では何回鼓動しますか。</p> <p>b. タイマイは、1箇所の巣に最大200個の卵を産卵します。営巣期には1匹のカメが5箇所の巣を作るとします。営巣期の期間中には、いくつの卵が産卵されるでしょうか。</p> <p>c. ハチドリは、1秒で52回羽ばたきをします。ハチドリは、5秒で何回羽ばたきをするでしょうか。</p>				

3.5 繰り上げが2回あるかけ算 パート1

復習しよう

次のかけ算を筆算しましょう。

a. $18 \times 2 =$

b. $13 \times 7 =$

c. $63 \times 3 =$

d. $42 \times 4 =$

理解しよう

繰り上げが2回あるかけ算を解くには、

- ① 一の位に1桁の数を掛け、積の一の位を書き、十の位は繰り上げる数を記します。
- ② 十の位に1桁の数を掛け、繰り上げた数を足します。百の位に繰り上げがある場合、百の位の位置に書き入れます。

例えば 64×4 の計算は：

	6	4
×		4
<hr/>		
2	5	6

解いてみよう

次のかけ算を筆算しましょう。

a. $32 \times 6 =$

b. $45 \times 4 =$

c. $34 \times 5 =$

d. $56 \times 5 =$

e. $23 \times 5 =$

f. $42 \times 4 =$

3.6 繰り上げが2回あるかけ算 パート2

復習しよう

1. 次のかけ算を筆算しましょう。

a. $51 \times 7 =$

b. $94 \times 2 =$

2. マリツアさんは自分の商売のためにズボンを4包買いました。1包にズボンが51着入っているとしたら、全部で何着になるでしょうか。

式： _____

答え： _____

3. 次のかけ算を筆算しましょう。

a. $23 \times 6 =$

b. $24 \times 5 =$

理解しよう

繰り上げが2回あるかけ算を解くには、

- ① 一の位に1桁の数を掛け、積の一の位を書き、十の位は繰り上げる数を記します。
- ② 十の位に1桁の数を掛け、繰り上げた数を足します。百の位に繰り上げがある場合、百の位の位置に書き入れます。

例えば 73×7 の計算は：

	7	3	
×		7	
<hr/>			
5	1	1	

解いてみよう

次のかけ算を筆算しましょう。

a. $89 \times 8 =$

b. $63 \times 8 =$

c. $36 \times 9 =$

d. $76 \times 7 =$

e. $85 \times 6 =$

3.7 学習内容の自己評価

問題を解き、学習した内容について適切だと思うところに「x」印を入れましょう。注意して答えましょう。

設問	はい	改善 できます。	いい え	コメント
<p>1. 次の答えを求めましょう。</p> <p>a. 10×8 b. 100×7 c. $1,000 \times 6$</p>				
<p>2. 次のようなかけ算ができます。</p> <p>a. 34×2 b. 92×4 c. 36×4</p> <p>d. 54×6 e. 46×7 f. 36×3</p>				
<p>3. かけ算で次のようなミスがありました。その後正しくかけ算ができます。</p> <p>a. $\begin{array}{r} 23 \\ \times 2 \\ \hline 64 \end{array}$</p> <p>b. $\begin{array}{r} 18 \\ \times 3 \\ \hline 324 \end{array}$</p> <p>c. $\begin{array}{r} 37 \\ \times 6 \\ \hline 182 \end{array}$</p>				
<p>4. 次のような練習や問題が解けます。</p> <p>a. パンの包み1つに24個のパンが入っています。包み2つには何個のパンが入っていますか。</p> <p>b. 学校には教室が6つあり、各教室に41台の教室机があります。学校全体では何台の教室机がありますか。</p>				

4.1 三桁の数に一桁の数を掛ける、繰り上がりのないかけ算

復習しよう

1. 次のかけ算を筆算しましょう。

a. $37 \times 4 =$

b. $53 \times 8 =$

2. あるサーカスでは土曜日に3回公演を行いました。一回の公演に75人の客が来たとき、全部で客の数は何人でしたか。

式： _____

答え： _____

3. 次のかけ算を筆算しましょう。

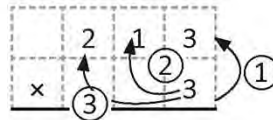
a. $59 \times 9 =$

b. $72 \times 7 =$

理解しよう

三桁の数に一桁の数を掛けるには、

- ① 一の位に一の位を掛けます。
- ② 一の位に十の位を掛けます。
- ③ 一の位に百の位を掛けます。



解いてみよう

次のかけ算を筆算しましょう。

a. $232 \times 2 =$

b. $131 \times 3 =$

c. $122 \times 4 =$

d. $134 \times 2 =$

e. $111 \times 8 =$

f. $233 \times 3 =$

4.2 三桁の数に一桁の数を掛け、十の位や百の位に繰り上がるかけ算

復習しよう

1. 次のかけ算を筆算しましょう。

a. $48 \times 7 =$

b. $63 \times 8 =$

2. セシリアはボトルを一週間に26本リサイクルします。4週間では何本のボトルをリサイクルすることになりますか。

式： _____

答え： _____

3. 次のかけ算を筆算しましょう。

a. $121 \times 3 =$

b. $234 \times 2 =$

理解しよう

一の位に一の位、一の位に十の位、一の位に百の位を掛けます。繰り上がったら、繰り上がる数を足し忘れないようにしましょう。

解いてみよう

次のかけ算を筆算しましょう。

a. $126 \times 2 =$

b. $462 \times 2 =$

c. $112 \times 7 =$

d. $192 \times 4 =$

e. $115 \times 6 =$

f. $328 \times 3 =$

4.3 三桁の数に一桁の数を掛け、千の位に繰り上がるかけ算

復習しよう

1. 次のかけ算を筆算しましょう。

a. $312 \times 3 =$

b. $422 \times 2 =$

c. $111 \times 9 =$

2. 段ボール一箱に113冊の本が入っています。ある文房具屋には、このような箱が3個あります。この文房具屋には合計で本が何冊ありますか。

式： _____

答え： _____

3. 次のかけ算を筆算しましょう。

a. $215 \times 3 =$

b. $371 \times 2 =$

c. $112 \times 8 =$

理解しよう

繰り上がった数を書いておき、同じ位の積にこの数字を足すことを忘れないでおきましょう。例えば 291×4 の計算は：

	2	9	1
×			4
<hr/>			
1	1	6	4

解いてみよう

次のかけ算を筆算しましょう。

a. $812 \times 3 =$

b. $921 \times 4 =$

c. $943 \times 2 =$

d. $611 \times 5 =$

4.4 三桁の数に一桁の数を掛け、二回繰り上がるかけ算、パート1

復習しよう

1. 次のかけ算を筆算しましょう。

a. $427 \times 2 =$

b. $273 \times 3 =$

2. コーヒーの収穫の時期には、一日に 124 ポンド収穫します。3日間で何ポンド収穫しますか。

式： _____

答え： _____

3. 次のかけ算を筆算しましょう。

a. $612 \times 4 =$

b. $823 \times 3 =$

理解しよう

乗数の一の位に、被乗数の一の位、十の位、百の位を掛けます。千の位に繰り上がる場合、繰り上がる数は千の位の位置に書き入れます。例：

a. 125×6

	1	2	5
x			6
<hr/>			
	7	5	0

b. 416×3

	4	1	6
x			3
<hr/>			
1, 2	4	8	

解いてみよう

次のかけ算を筆算しましょう。

a. $389 \times 2 =$

b. $265 \times 3 =$

c. $625 \times 3 =$

d. $305 \times 8 =$

4.5 三桁の数に一桁の数を掛け、二回繰り上がるかけ算、パート2

復習しよう

1. 次のかけ算を筆算しましょう。

a. $921 \times 4 =$

b. $711 \times 6 =$

2. ある学校ではパソコン一台を421ドルで購入します。パソコン3台ではいくらになりますか。

式： _____

答え： _____

3. 次のかけ算を筆算しましょう。

a. $256 \times 3 =$

b. $165 \times 4 =$

理解しよう

三桁の数に一桁の数を掛けるには、

- ① 一の位に一の位を掛けます。
- ② 一の位に十の位を掛け、積の一の位を書いて、百の位に繰り上げます。
- ③ 一の位と百の位を掛け、繰り上がった数を足します。例えば 692×3 の計算は：

	6	9	2
×			3
<hr/>			
2,	0	7	6

解いてみよう

次のかけ算を筆算しましょう。

a. $561 \times 7 =$

b. $452 \times 4 =$

c. $342 \times 3 =$

d. $891 \times 8 =$

e. $991 \times 9 =$

4.6 三桁の数に一桁の数を掛け、三回繰り上がるかけ算

復習しよう

1. 次のかけ算を筆算しましょう。

a. $264 \times 3 =$

b. $513 \times 4 =$

2. ある友達グループが休みにグアテマラに行き、各人が113ドル使いました。これが8人グループだったとき、全員でいくら使いましたか。

式： _____

答え： _____

3. 次のかけ算を筆算しましょう。

a. $541 \times 6 =$

b. $671 \times 4 =$

理解しよう

三回繰り上がる時も手順は同じです。繰り上がる数を足し、すでに足した数は線を引いて消すことができることを思い出しましょう。例えば 356×9 の計算は：

	3	5	6
×			9
<hr/>			
3	2	0	4

解いてみよう

次のかけ算を筆算しましょう。

a. $165 \times 7 =$

b. $432 \times 5 =$

c. $452 \times 6 =$

d. $789 \times 8 =$

e. $425 \times 4 =$

4.7 学習内容の自己評価

問題を解き、学んだことを踏まえて、適切と思うところに×印を入れましょう。注意して答えましょう。

設問	はい	改善できます。	いいえ	コメント
<p>1. 次のようなかけ算ができます。</p> <p>a. 314×2 b. 218×4</p> <p>c. 283×3 d. 306×5</p> <p>e. 252×4 f. 348×7</p> <p>g. 167×6 h. 638×8</p>				
<p>2. 次のような練習や問題が解けます。</p> <p>a. セメントの袋を3台のトラックで運びます。トラック一台にセメントが225袋載っているとき、全部で何袋運びますか。</p> <p>b. ある農家は月に863ポンドのフリホール豆を売ります。2か月では何ポンド売りますか。</p> <p>c. ある劇場の収容人数は537人です。劇場で“泥の物語”を4日間上演し、チケットがすべて売れた場合、チケットは合計何枚売れたことになりますか。</p>				
<p>3. 積が正しくなるよう、空欄に当てはまる数を書きましょう。</p> <p>a. $\begin{array}{r} 213 \\ \times \quad \square \\ \hline 639 \end{array}$</p> <p>b. $\begin{array}{r} 324 \\ \times \quad \square 3 \\ \hline 9 \square 2 \end{array}$</p> <p>c. $\begin{array}{r} 826 \\ \times \quad \square \square 8 \\ \hline 6 \square \square 8 \end{array}$</p>				

応用問題

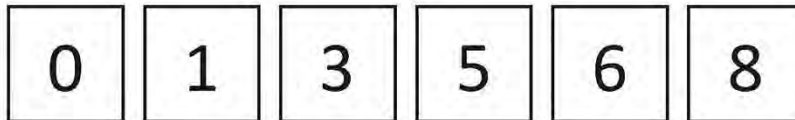
1. 子どもたちがかけ算表でビンゴゲームをしています。かけ算表の答えは1から9の9つの数字でなければならず、表を埋めるには表の **式** を解かなければいけません。質問に答えなさい。
- a. 勝つ可能性が高くなるためには、どの数字を選びますか。

- b. グロリアは次の数字を選びました：54, 6, 8, 9, 12, 16, 18, 24, 36。ホルヘは次の数字を選びました：1, 2, 3, 5, 7, 25, 49, 64, 81。誰が勝つ可能性が最も高いでしょうか。その理由を説明してください。

勝つ可能性が高いのは誰かというと：

なぜなら

2. 数字のうち



四つを選んで、次のかけ算の筆算の空白に記入しましょう：

x			

三桁と一桁のかけ算の積は次のようにならなければなりません：

- これらの数を使って得られる最大の数
- これらの数を使って得られる最小の数
- 1,000に最も近い数
- 5,000に最も近い数

a.

x			

b.

x			

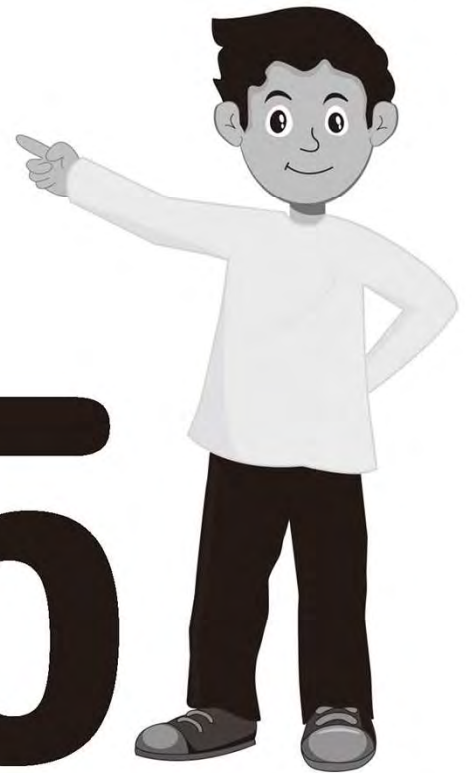
c.

x			

d.

x			

ユニット 5



平面図形と立体図形

このユニットでは次のことを学びます。

- 辺の長さによって三角形を分類する事
- コンパスを使って三角形を描く事
- 正方形と長方形を認識する事
- 定規を使って正方形と長方形を描く事
- 外周を計算する事
- 立方体と直方体を認識する事

1.1 三角形の分類

復習しよう

1. 計算しましょう。

a.
$$\begin{array}{r} 28 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

b.
$$\begin{array}{r} 328 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

c.
$$\begin{array}{r} 125 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$$

d.
$$\begin{array}{r} 225 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$$

2. 問題を解きましょう。

a. 教室には机が45台あり、教室は9つあります。机は全部でいくつあるでしょうか。

式： _____ 答え： _____

b. 豆の入った袋が113ドルで販売されていて、農家は8袋販売しています。お金をいくら受け取る事になるでしょうか。

式： _____ 答え： _____

理解しよう

三角形で：

3辺が同じ長さのものは
正三角形とされます。

2辺の長さが同じものは**二等
辺三角形**とされます。

3辺の長さが異なる長さのものは**不等辺三角形**とされます。

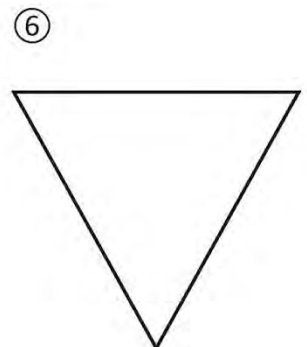
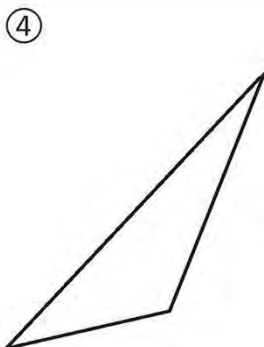
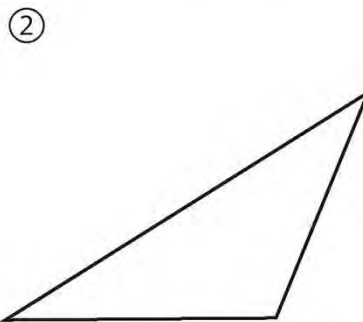
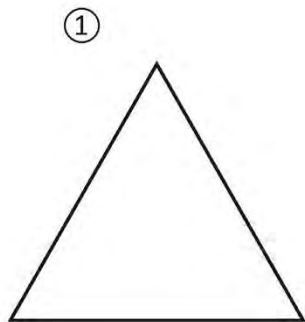
解いてみよう

辺の長さを比較するのにコンパスを使って該当する番号を書きましょう。

a. 正三角形

b. 二等辺三角形

c. 不等辺三角形



1.2 正三角形の描き方

復習しよう

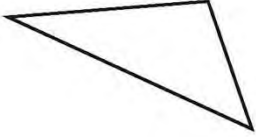
辺の長さを比較するのにコンパスを使って該当する番号を書きましょう。

a. 正三角形

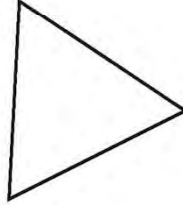
b. 二等辺三角形

c. 不等辺三角形

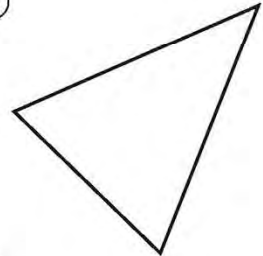
①



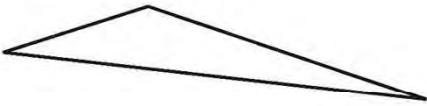
②



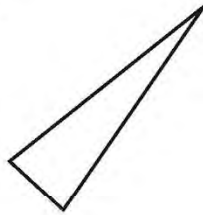
③



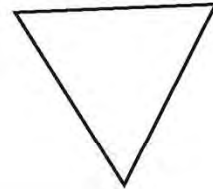
④



⑤



⑥



理解しよう

正三角形を定規とコンパスで描くには：

- ① 直線の線分 AB を引きます。
- ② 針を A に、鉛筆を B に当て、少し回して弧を描きます。
- ③ 針を B に当て、少し回しもう一つの弧を記します。二つの弧が交差するところを c とします。
- ④ 点 A と c を、次に点 B と c を直線で結びます。

解いてみよう

次の正三角形を描きましょう。

a. 辺の長さが 3 cm。

b. 辺の長さが 4 cm。

c. 辺の長さが 6 cm。

a.

b.

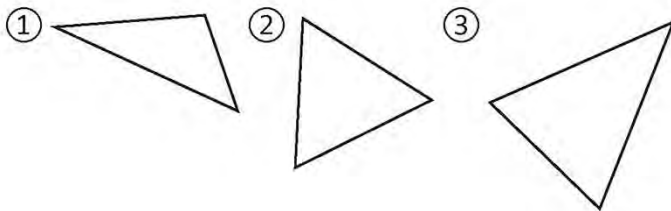
c.

1.3 二等辺三角形と不等辺三角形の描き方

復習しよう

1. 辺の長さを比較するのにコンパスを使って該当する番号を書きましょう。
 - a. 正三角形： _____
 - b. 二等辺三角形： _____
 - c. 不等辺三角形： _____

2. 辺の長さが5 cmの正三角形を描きましょう。



理解しよう

二等辺三角形を定規とコンパスで描くためには：

- ① 同じ長さの辺とは長さが異なる直線の線分 AB を描きます。
- ② 定規を使って同じ長さの辺の長さでコンパスを開き、針を A において少し回します。
- ③ 同じ開き具合で針を B において少し回します。二線が交差するところを点 C とします。
- ④ 直線で点 A と C を、次に点 C と B を結びます。

辺の長さから不等辺三角形を定規とコンパスで描くためには、

- ① 3つのうちいずれかの長さの直線の線分 AB を引き、これを最初の辺とします。
- ② 定規を使って残りの2辺のうちいずれかの長さを取りコンパスを開き、針を A に当て、少し回して弧を描きます。
- ③ 定規を使って三角形の最後の辺の長さを取り、コンパスを開きます。針をBに当てコンパスを開いたままもう一つの弧を描きます。二つの線が交差するところが頂点 C となります。
- ④ A と C、B と C を結びます。

解いてみよう

各辺を測ると次のようになる三角形を描きましょう。

a. 5 cm、5 cm および 3 cm

b. 6 cm、6 cm および 3 cm

c. 3 cm、4 cm および 5 cm



1.4 三角形の角度の特徴

復習しよう

次の正三角形を空いているスペースに描きましょう。

a. 正三角形

b. 二等辺三角形

c. 不等辺三角形



理解しよう

正三角形では三つの角度が等しくなります。

二等辺三角形ではその二つの角度が等しくなります。

不等辺三角形ではその三つの角度が異なります。

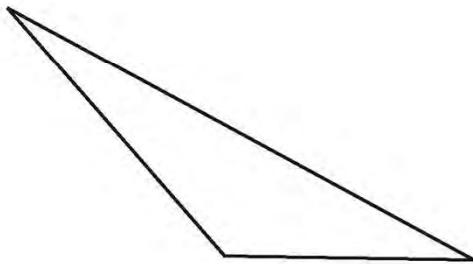
解いてみよう

それぞれの三角形の種類を特定し、空欄に名前を書きましょう。グレーの丸は等しい角度を示しています。

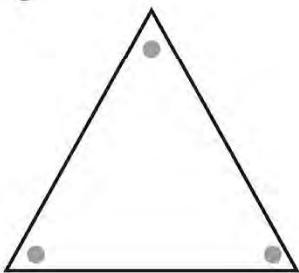
①



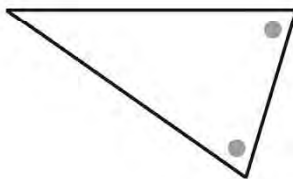
②



③



④



家族のサイン： _____

2.1 長方形

復習しよう

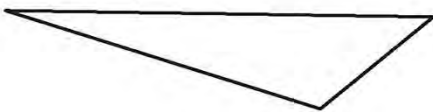
1. 次の正三角形を空いているスペースに描きましょう。

a. 二等辺三角形

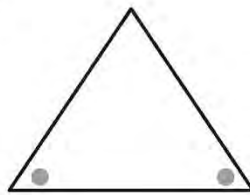
b. 不等辺三角形

2. それぞれの三角形の種類を特定し、空欄に名前を書きましょう。グレーの丸は等しい角度を示しています。

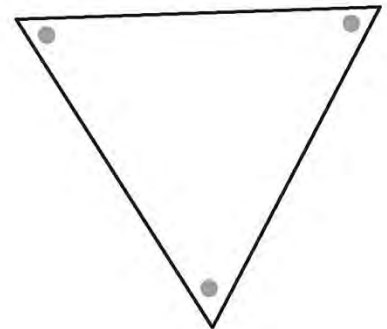
①



②



③



理解しよう

4つの直角をもつ四角形を**長方形**と呼びます。
長方形の特徴は対辺が同じ長さを持っていることです。
長方形の対辺は他の垂線と交わるため平行です。

解いてみよう

空欄に長方形に該当するものの数字を書きましょう。

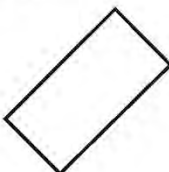
①



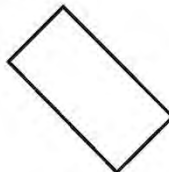
②



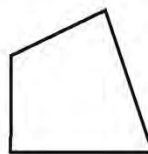
③



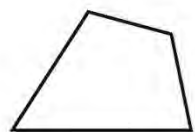
④



⑤



⑥

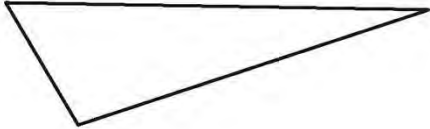


2.2 正方形

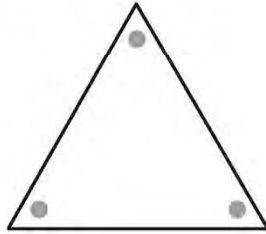
復習しよう

1. それぞれの三角形の種類を特定し、空欄に名前を書きましょう。グレーの丸は等しい角度を示しています。

①



②

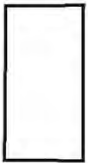


③



2. 空欄に長方形に該当するものの数字を書きましょう。

①



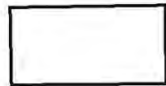
②



③



④



理解しよう

四角形の中で：

- ・ 4つの直角の角があり、
- ・ 同じ長さの4辺があるものは、**正方形**と呼ばれます。

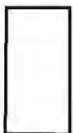
長方形と同じく正方形の
対辺は平行です。



解いてみよう

正方形に該当するものの番号を書きましょう。

①



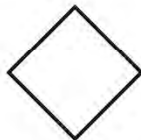
②



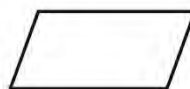
③



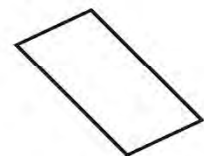
④



⑤



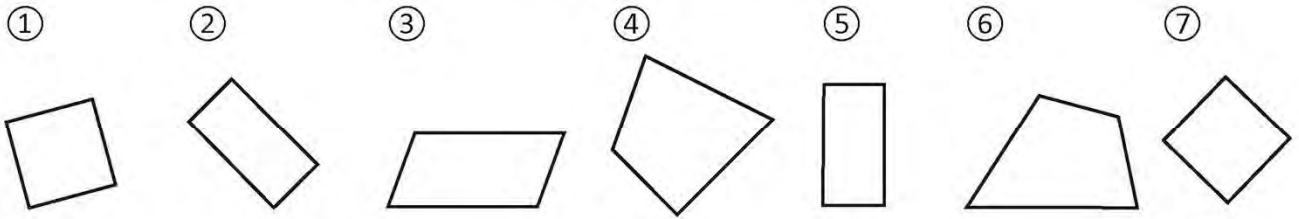
⑥



2.3 長方形と正方形の描き方

復習しよう

長方形と正方形に該当するものの番号を書きましょう。



長方形： _____

正方形： _____

理解しよう

長方形を描くためには：

- ① 一辺の長さに等しい直線の線分 AB を引きます。
- ② B から垂線の線分を引き、指定された長さを取って C とします。
- ③ A から垂線の線分を引き、指定された長さを取って D とします。
- ④ 直線の線分 DC を引きます。

正方形を描くには同じステップに従わなければなりません。

解いてみよう

次の四角形を描きましょう。

a. 辺が 6 cm と 3 cm の長方形

b. 辺が 5 cm と 4 cm の長方形



c. 辺が 3 cm の正方形

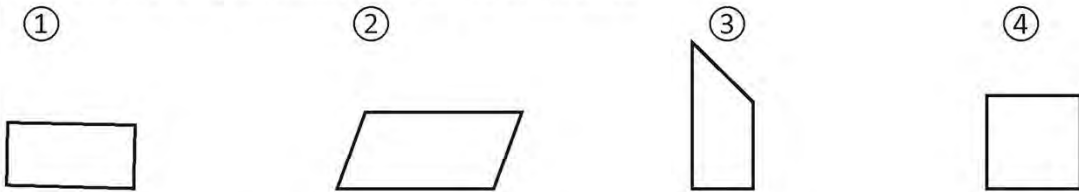
d. 辺が 5 cm の正方形



3.1 三角形の周長

復習しよう

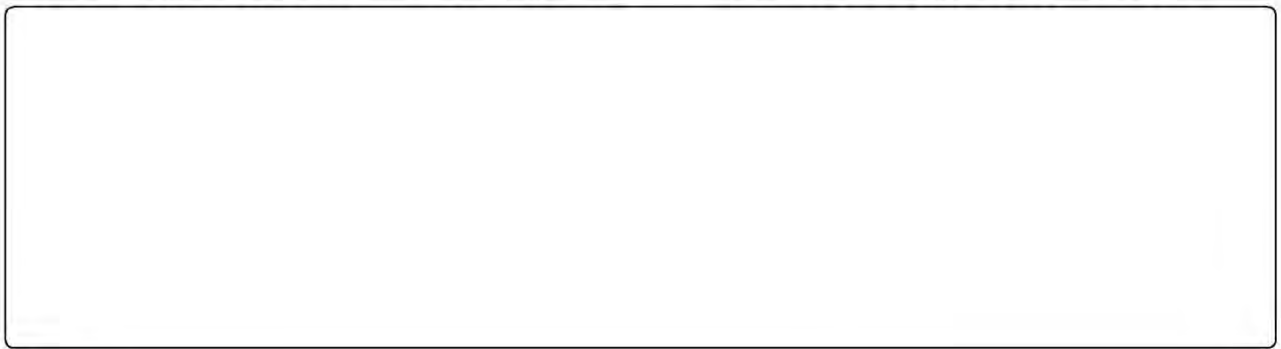
1. 正方形に該当するものの番号を書きましょう。



2. 次の四角形を描きましょう。

a. 辺が 4 cm と 2 cm の長方形

b. 辺が 3 cm の正方形



理解しよう

ある図形の周りの長さは**周長**と言われ図形の全ての辺の長さを合計して計算します。

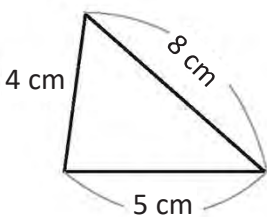
三角形でその辺の長さが同じである時は掛け算を使えます。
例： $6 \times 3 = 18$



解いてみよう

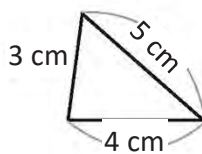
次の三角形の周長を計算しましょう。

a.



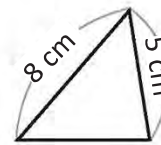
答え： _____

b.



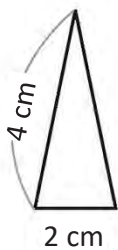
答え： _____

c. 二等辺三角形



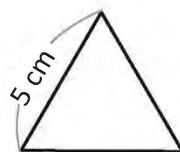
答え： _____

d. 二等辺三角形



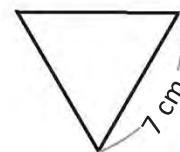
答え： _____

e. 正三角形



答え： _____

f. 正三角形



答え： _____

家族のサイン： _____

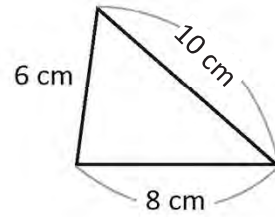
3.2 長方形と正方形の周長

復習しよう

1. 各辺を測ると 3 cm と 2 cm である長方形と、一辺が 2 cm の正方形を描きましょう。



2. 次の三角形の周長を計算しましょう。



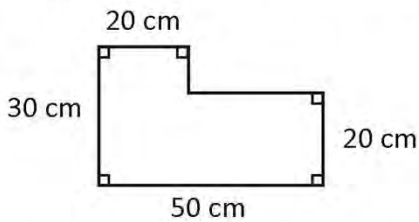
答え： _____

理解しよう

長方形の周長は異なる辺の長さに2を乗じてその結果を合計して計算できます。
正方形の周長は辺の長さに4を乗じて計算できます。

例えば、

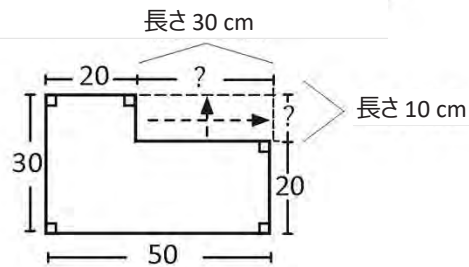
次の図形の周長を計算するには：



② 辺の長さを合計します。

$$30 + 20 + 30 + 10 + 20 + 50 = 160$$

① 分からない辺の長さを求めます。

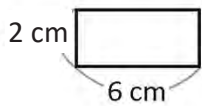


答え： 160 cm

解いてみよう

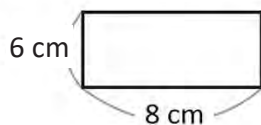
次の図形の周長を求めましょう。

a. 長方形



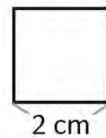
答え： _____

b. 長方形



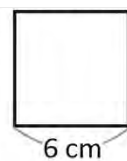
答え： _____

c. 正方形



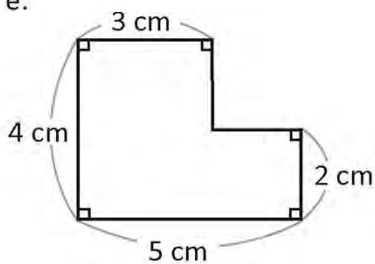
答え： _____

d. 正方形



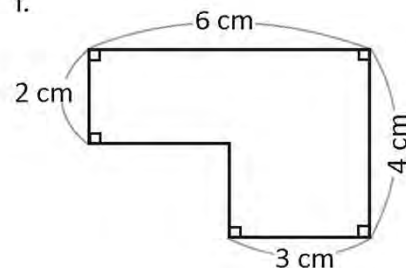
答え： _____

e.



答え： _____

f.



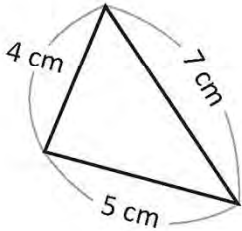
答え： _____

4.1 直方体と立方体の定義

復習しよう

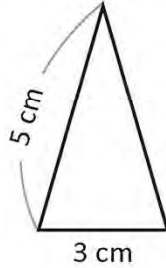
次の図形の周長を求めましょう。

a.



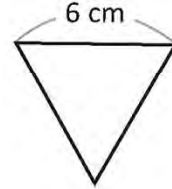
答え： _____

b. 二等辺三角形



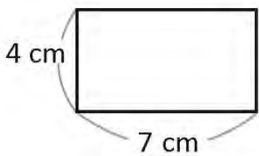
答え： _____

c. 正三角形



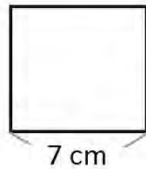
答え： _____

d. 長方形



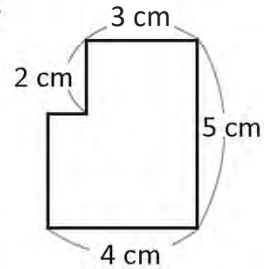
答え： _____

e. 正方形



答え： _____

f.



答え： _____

理解しよう

長方形だけで作られる立体、もしくは長方形と正方形で作られる立体は**直方体**と呼ばれます。



6つの等しい正方形で作られる立体は**立方体**と呼ばれます。



解いてみよう

直方体の形の立体の番号と、どれが立方体なのかを書きましょう。

①



②



③



④



⑤



直方体： _____

立方体： _____

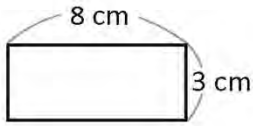
家族のサイン： _____

4.2 直方体と立方体の特徴

復習しよう

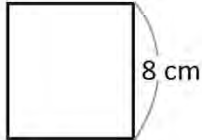
1. 外周を求めましょう。

a. 長方形



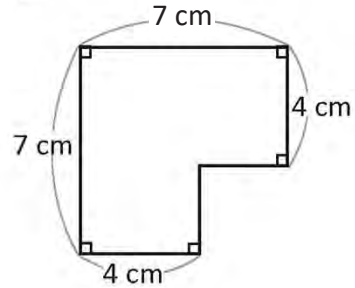
答え： _____

b. 正方形



答え： _____

c.



答え： _____

2. 直方体の形の立体の番号と、どれが立方体なのかを書きましょう。

①



②



③



④



⑤



直方体： _____

立方体： _____

理解しよう

直方体の特徴は：

- ・ 向かい合う面は同じです。
- ・ 向かい合う辺は同じです。

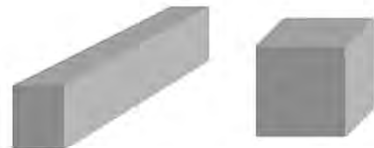
立方体の特徴は：

- ・ 向かい合う面は同じです。
- ・ 向かい合う辺は同じです。

解いてみよう

1. 表をよく見て埋めましょう。

	面の数	辺の数	頂点の数
直方体			
立方体			

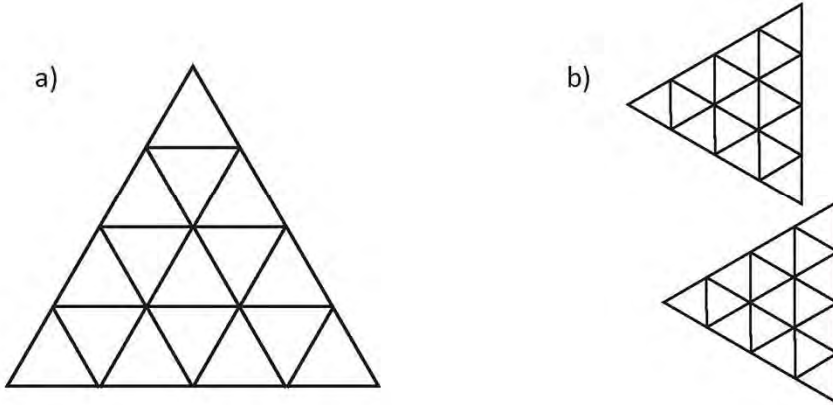


2. を埋めましょう。

- 直方体では向かい合う面が 形と大きさです。
- 立方体では全ての面が で、大きさが です。
- 立方体では全ての辺が 長さです。

応用問題

1. 次の図形の中に正三角形はいくつ見られるでしょうか。



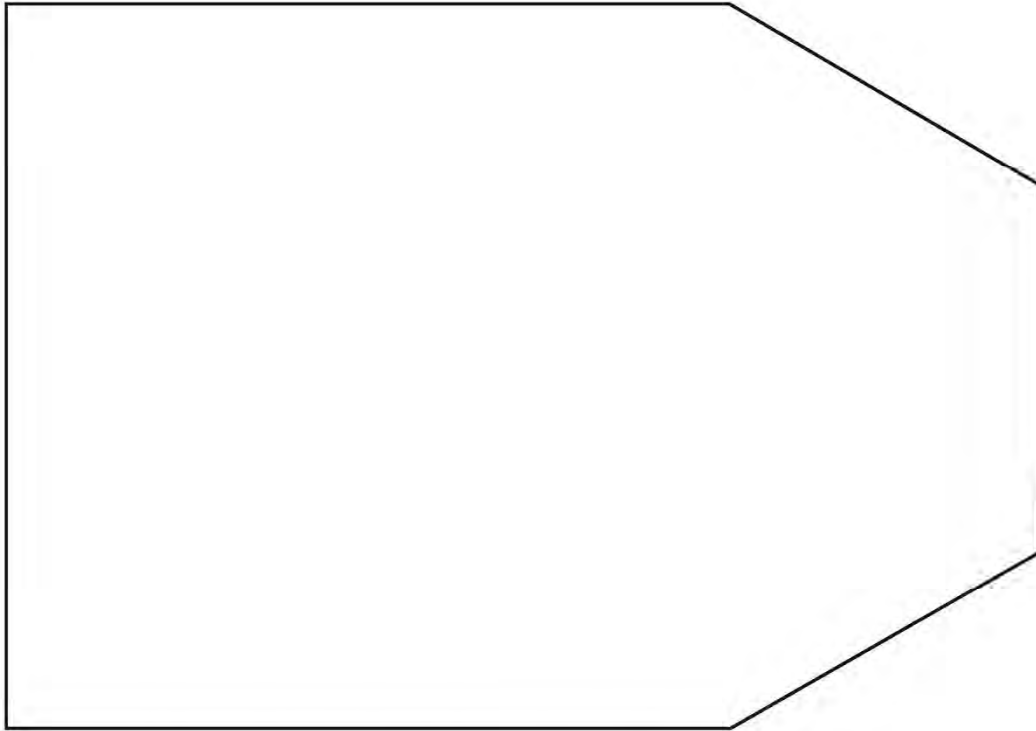
2. 次の写真はサンタ・アナ教会です。長方形、正三角形、二等辺三角形、正方形、円を描いて似たような図を作りましょう。



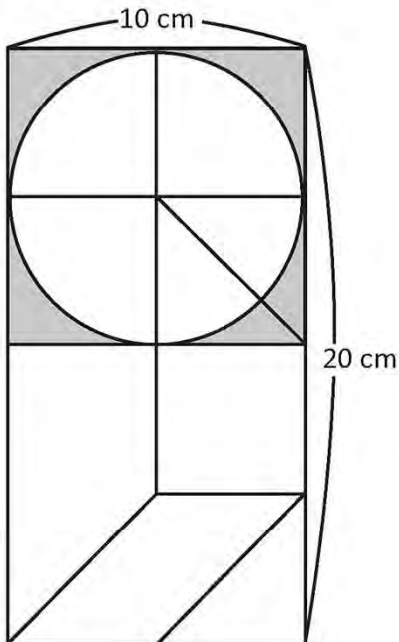
家族のサイン： _____

応用問題

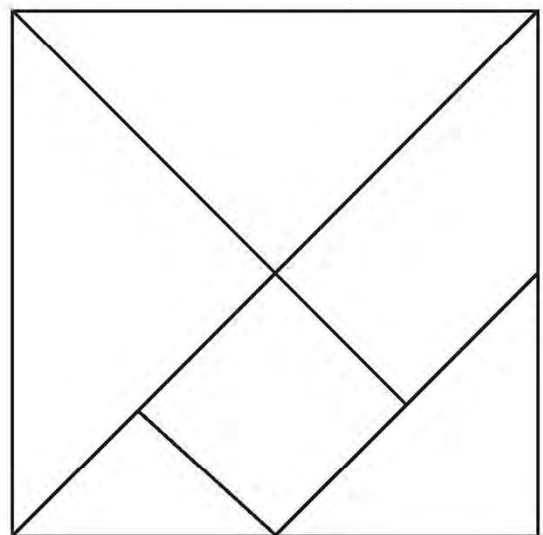
3. 次の図形を正三角形と正方形に分けましょう。



4. 白紙に次の図形を描き、線で切りましょう。切った図形を組み合わせる様々な図形を作りましょう。



タングラム



ユニット 6



わり算と比較

このユニットでは次のことを学びます。

- 九九を利用した余りなしのわり算
- 九九を利用した余りありのわり算
- かけ算とわり算の帯グラフ
- 2つの数の比較

1.1 被乗数または乗数を求めましょう

理解しよう

未知の被乗数または乗数を求めるには、既知の数字または与えられた数字の九九を使うことができます。例えば、四角の中に入る数字を求めるには、

$$3 \times \square = 12 \quad \text{または} \quad \square \times 3 = 12$$

$3 \times \square$ と $\square \times 3$ は同じ積になるので、3の九九を使う事ができます。

解いてみよう

1. 式が成り立つように四角に入る数を書きましょう。

a. $3 \times \square = 12$

b. $2 \times \square = 18$

c. $4 \times \square = 8$

被乗数の九九を使う事ができます。



d. $4 \times \square = 32$

e. $5 \times \square = 15$

f. $5 \times \square = 35$

g. $6 \times \square = 24$

h. $6 \times \square = 36$

i. $8 \times \square = 56$

j. $7 \times \square = 21$

k. $9 \times \square = 27$

l. $2 \times \square = 4$

2. 式が成り立つように四角に入る数を書きましょう。

a. $\square \times 2 = 14$

b. $\square \times 2 = 10$

c. $\square \times 3 = 27$

被乗数の九九を使う事ができます。



d. $\square \times 3 = 12$

e. $\square \times 4 = 16$

f. $\square \times 4 = 28$

g. $\square \times 5 = 20$

h. $\square \times 8 = 40$

i. $\square \times 6 = 42$

j. $\square \times 6 = 12$

k. $\square \times 7 = 63$

l. $\square \times 4 = 32$

1.2 グループの数を求めるためのわり算

復習しよう

1. 式が成り立つように四角に入る数を書きましょう。

a. $3 \times \square = 12$

b. $2 \times \square = 14$

c. $4 \times \square = 16$

d. $5 \times \square = 20$

e. $8 \times \square = 16$

f. $6 \times \square = 42$

g. $7 \times \square = 28$

h. $8 \times \square = 64$

i. $5 \times \square = 30$

被乗数の九九を使う事ができます。



2. 式が成り立つように四角に入る数を書きましょう。

a. $\square \times 7 = 42$

b. $\square \times 5 = 40$

c. $\square \times 4 = 24$

d. $\square \times 3 = 21$

e. $\square \times 2 = 18$

f. $\square \times 6 = 54$

g. $\square \times 6 = 48$

h. $\square \times 7 = 49$

i. $\square \times 5 = 10$

乗数の九九を使う事ができます。

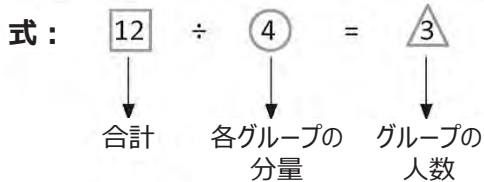


理解しよう

12枚のクッキーを一人に4枚ずつ、3人に分けます。

この式は $12 \div 4 = 3$ と書き、**わり算**と呼ばれます。

12を4でわると3になります。



わり算の数字にはそれぞれ呼び名があります。



解いてみよう

1. 14枚のクッキーを一人に7枚ずつ配ります。何人に配ることができるでしょうか。

式： _____

答え： _____

2. 8個のチョコレートを一人に2個ずつ配ります。何人に配ることができるでしょうか。

式： _____

答え： _____

3. 18枚のクッキーを一皿に3枚ずつ配ります。何枚のお皿に配ることができるでしょうか。

式： _____

答え： _____

4. 15個のボールを各学年に5つずつ配ります。ボールは何学年分配ることができるでしょうか。

式： _____

答え： _____

家族のサイン： _____

1.3 九九を利用したわり算

復習しよう

1. 式が成り立つように四角に入る数を書きましょう。

a. $4 \times \square = 20$

b. $7 \times \square = 56$

c. $2 \times \square = 14$

被乗数の九九を使う事ができます。



2. 式が成り立つように四角に入る数を書きましょう。

a. $\square \times 6 = 42$

b. $\square \times 5 = 40$

c. $\square \times 5 = 15$

乗数の九九を使う事ができます。



3. わり算の式を書きましょう。

a. 16 個のりんごを1人に2 個ずつ配ると、何人に配ることができるでしょうか。

式： _____

答え： _____

b. 24 個のキャンディーを子供1人に6 個ずつ配ると、何人の子に配ることができるでしょうか。

式： _____

答え： _____

c. 27 個のいちごを1 皿に3 個ずつ配ると、何皿に配ることができるでしょうか。

式： _____

答え： _____

理解しよう

わり算 $20 \div 5$ の答えを求めるには、5の段の九九で当てはまる数を探します。

$5 \times \square = 20$

わり算の答えを求めるには、除数の九九を使います。



被除数

÷



除数

$20 \div 5 = \square$



$5 \times 4 = 20$

解いてみよう

計算しましょう。

a. $14 \div 2 = \square$



$2 \times \square = 14$

b. $12 \div 4 = \square$



$4 \times \square = 12$

c. $32 \div 8 = \square$



$8 \times \square = 32$

d. $21 \div 3 = \square$



$3 \times \square = 21$

e. $25 \div 5 = \square$



$5 \times \square = 25$

f. $18 \div 6 = \square$



$6 \times \square = 18$

g. $28 \div 7 = \square$



$7 \times \square = 28$

h. $27 \div 9 = \square$



$9 \times \square = 27$

1.4 学習内容の自己評価

問題を解き、学んだことに基づいて適切だと思うところに「x」印を入れましょう。注意して答えましょう。

設問	はい	改善できません	いいえ	コメント
<p>1. 除数の九九を使って次のわり算を計算しましょう。</p> <p>a. $12 \div 4 = \square$ b. $18 \div 3 = \square$ c. $8 \div 2 =$</p> <p>d. $10 \div 2$ e. $6 \div 3$ f. $24 \div 4$</p> <p>g. $20 \div 4$ h. $30 \div 5$ i. $28 \div 4$</p>				
<p>2. 除数の九九を使って次のわり算を計算しましょう。</p> <p>a. $24 \div 6 = \square$ b. $42 \div 6 = \square$ c. $14 \div 7 =$</p> <p>d. $35 \div 7$ e. $24 \div 8$ f. $45 \div 9$</p>				
<p>3. 次のような練習や問題が解けます。</p> <p>a. 18 個のプラムを一袋に 6 個ずつ入れて配ります。何袋で配る事ができるでしょうか。</p> <p>b. 24 個のビー玉を 4 人で分けます。何人に分ける事ができるでしょうか。</p>				

1.5 各グループの分量を求めるわり算

復習しよう

1. わり算の式を書きましょう。

a. 42本の鉛筆を生徒に6本ずつ配ります。何人の生徒に配る事ができるでしょうか。

式： _____

答え： _____

b. 54個のいちごを容器に9個ずつ入れて配ります。何個の容器を使って配る事ができるでしょうか。

式： _____

答え： _____

2. 次のわり算をしましょう。

$$\begin{array}{l} a. 24 \div 3 = \square \\ \downarrow \\ 3 \times \square = 24 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} b. 63 \div 7 = \square \\ \downarrow \\ 7 \times \square = 63 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} c. 40 \div 5 = \square \\ \downarrow \\ 5 \times \square = 40 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} d. 54 \div 6 = \square \\ \downarrow \\ 6 \times \square = 54 \end{array}$$

理解しよう

12個のチョコレートを4人で均等に分けると、一人3個のチョコレートが貰えます。わり算を使ってこの式で表すと、 $12 \div 4 = 3$ となります。

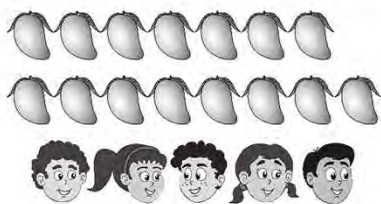
$$\begin{array}{ccccc} \text{式：} & \boxed{12} & \div & \triangle 4 & = & \textcircled{3} \\ & \downarrow & & \downarrow & & \downarrow \\ & \text{合計} & & \text{グループ数} & & \text{各グループ} \\ & & & & & \text{の分量} \end{array}$$

各グループの分量を求める時もわり算を使います。

解いてみよう

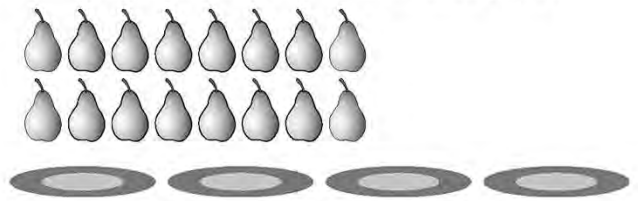
1. それぞれの設問のわり算の式を書きましょう。

a. 15個のマンゴーを5人で均等に分けます。マンゴーは1人当たり何個ある事になるでしょうか。



$$\square \div \triangle = \textcircled{3}$$

b. 16個の洋梨を4皿に均等に分けます。1皿に洋梨が何個ある事になるでしょうか。



$$\square \div \triangle = \textcircled{4}$$

2. わり算の式を書きましょう。

a. 本16冊を8人の子供に均等に配ります。1人当たり何冊になるでしょうか。

式： _____

答え： _____

b. 先生は18本の鉛筆を6人の子に均等に配ります。それぞれの子は鉛筆を何本貰う事になるでしょうか。

式： _____

答え： _____

1.6 グループの分量を求めるための除数の九九

復習しよう

1. 次のわり算をしましょう。

$$a. 56 \div 7 = \square$$

$$\downarrow$$

$$7 \times \square = 56$$

$$b. 54 \div 6 = \square$$

$$\downarrow$$

$$6 \times \square = 54$$

$$c. 64 \div 8 = \square$$

$$\downarrow$$

$$8 \times \square = 64$$

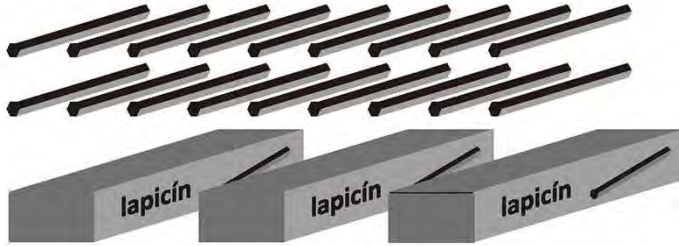
$$d. 45 \div 9 = \square$$

$$\downarrow$$

$$9 \times \square = 45$$

2. それぞれの問題に対して式を立てましょう。

18本の鉛筆を均等に3箱に分けて配ります。それぞれの箱に鉛筆は何本ある事になるでしょうか。



$$\square \div \triangle = \bigcirc$$

3. わり算の式を書きましょう。

a. 18個の消しゴムを6人の子供に均等に配ります。子供1人に何個の消しゴムになるでしょうか。

式： _____

答え： _____

b. 先生は42人の子供に教えていて、均等に6班あります。各班に何人の子供がいるでしょうか。

式： _____

答え： _____

理解しよう

わり算 $20 \div 5$ の答えを求めるには、 $\square \times 5 = 20$ に当てはまる数を考えます。

$\square \times 5 = 5 \times \square$ となって同じ答えになるので、5の段の九九を使う事ができます。

わり算の答えを求めるために除数の九九を使う事ができます。



被除数

÷



除数

解いてみよう

除数の九九を使って次のわり算をしましょう。

a. $6 \div 3 =$

b. $20 \div 4$

c. $18 \div 6$

d. $12 \div 2$

e. $14 \div 7$

f. $32 \div 8$

g. $54 \div 9$

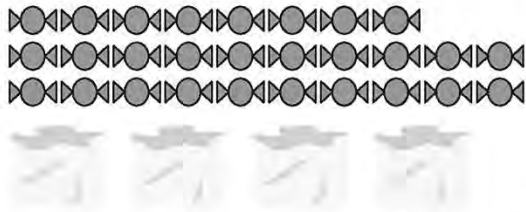
h. $25 \div 5$

1.7 除数が1のわり算、または被除数が0のわり算

復習しよう

1. それぞれの問題に対して**式**を立てましょう。

28個のキャンディーを4袋に均等に分けます。1袋に何個のキャンディーがある事になりますか。



$$\square \div \triangle = \bigcirc$$

2. 次の問題のわり算の**式**を書きましょう。14個のりんごを7人の子供に均等に配ります。それぞれの子供はりんごを何個貰いますか。

式 : _____

答え : _____

3. 除数の九九を使って次のわり算をしましょう。

a. $28 \div 7 =$

b. $36 \div 6$

c. $32 \div 4$

d. $27 \div 9$

理解しよう

$$\triangle \div 1 = \triangle$$

ある数を1でわると、その答えは被除数と同じ数になります。

$$\triangle \div \triangle = 1$$

被除数が除数と同じである場合、そのわり算の答えは1になります。

$$0 \div \triangle = 0$$

0以外の数を0でわると、その答えは0になります。

どの数も0でわると、答えは0になります。
例 : $0 \div 1 = 0$

そして $6 \div 0$ のようなわり算はありません。



解いてみよう

1. 計算しましょう。

a. $4 \div 4 =$

b. $0 \div 6$

c. $6 \div 1$

d. $0 \div 2$

e. $7 \div 1$

f. $4 \div 1$

g. $0 \div 3$

h. $5 \div 5$

2. 均等にマンゴーを配った時にそれぞれの子供が何個貰えるかを**式**に書いて答えを求めましょう。

a. マンゴーが6個で子供が1人いる時。 **式** : _____

答え : _____

b. マンゴーが6個で子供が6人いる時。 **式** : _____

答え : _____

c. マンゴーが0個で6人の子供に配りたい時。 **式** : _____ **答え** : _____

1.8 学習内容の自己評価

問題を解き、学んだことに基づいて適切だと思うところに「x」印を入れましょう。注意して答えましょう。

設問	はい	改善 できます	いい え	コメント
<p>1. 除数の九九を使って次のわり算を計算しましょう。</p> <p>a. $15 \div 3$ b. $8 \div 4$ c. $12 \div 2$</p> <p>d. $18 \div 6$ e. $20 \div 5$ f. $24 \div 8$</p>				
<p>2. 次のような割り算ができます。</p> <p>a. $12 \div 4$ b. $16 \div 2$ c. $21 \div 3$</p> <p>d. $32 \div 8$ e. $40 \div 5$ f. $48 \div 6$</p>				
<p>3. 次のような練習や問題が解けます。</p> <p>a. 28個のナンセを一人に4個ずつ分けます。何人に分けることができるでしょうか。</p> <p>b. 24 cm のリボンを 6 cm にカットします。カットしたものは何本できるでしょうか。</p> <p>c. 30ポンドの豆を 5 世帯で均等に分けます。それぞれの家族は何ポンド受け取ることになるでしょうか。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>d. 36 個のパパイヤを9人で均等に分けます。それぞれの家族はパパイヤを何個受け取ることになるでしょうか。</p>				

1.9 学習内容の自己評価

問題を解き、学んだことに基づいて適切だと思うところに「X」印を入れましょう。注意して答えましょう。

設問	はい	改善 できます	いい え	コメント
<p>1. 次のような割り算ができます。</p> <p>a. $27 \div 3$ b. $35 \div 7$ c. $56 \div 8$</p> <p>d. $64 \div 8$ e. $63 \div 7$ f. $72 \div 9$</p> <p>g. $9 \div 9$ h. $8 \div 1$ i. $0 \div 7$</p>				
<p>2. 次のような練習や問題が解けます。</p> <p>a. 豆を1袋に5ポンド詰めて45ポンド分を袋に詰めます。袋はいくつ使うでしょうか。</p> <p>b. 7人で49本の木を植えます。それぞれが同じ数の木を植えた場合、1人で何本植えた事になるでしょうか。</p> <p>c. ある場所に32人の生徒がいて、4人ずつのグループを作ろうとしています。何グループできるでしょうか。</p> <p>d. ある場所に24人の生徒がいて、6グループに同じ人数で分かれようとしています。それぞれのグループの生徒の数は何人になるでしょうか。</p>				

2.1 あまりのあるわり算、第1部

復習しよう

1. わる数の九九を使って次のわり算をしましょう。

a. $48 \div 6 =$

b. $35 \div 7$

c. $56 \div 8$

d. $72 \div 9$

2. 次の問題を解きましょう：

a. $6 \div 6 =$

b. $0 \div 4$

c. $5 \div 1$

d. $0 \div 5$

e. $9 \div 1$

f. $8 \div 1$

g. $0 \div 9$

h. $8 \div 8$

3. 均等分配した場合の**計算式**を書いてそれぞれの子供が貰えるクッキーの数を答えましょう。

a. クッキーが5枚、子供が1人の場合。式： _____ 答え： _____

b. クッキーが5枚、子供が5人の場合。式： _____ 答え： _____

c. クッキーが0枚あり、子供5人に配りたい場合。 答え： _____

理解しよう

わり算をしたときにのこる数を**あまり**といいます。
りんご7個を1人に3個ずつ配ると、2人に配ることができ、1個あまります。このことをわり算の式で表すと、 $7 \div 3 = 2$ あまり1となります。

わり算をするときは、わる数の九九を使うことを思い出しましょう。

あまりの数はわる数より小さくないといけません。
あまり < わる数



解いてみよう

1. 次の問題を解きましょう：

a. $5 \div 2 =$ ____ あまり ____

b. $14 \div 6$

c. $19 \div 4$

d. $24 \div 5$

e. $26 \div 3$

f. $48 \div 7$

2. 玉ねぎが15個あり、それぞれ袋に玉ねぎを4個ずつ入れます。袋は何枚必要で、玉ねぎは何個あまりますか。

式： _____

答え： _____

家族のサイン： _____

2.2 あまりのあるわり算、第2部

復習しよう

1. 次の問題を解きましょう：

a. $5 \div 5 =$

b. $2 \div 1$

c. $7 \div 7$

d. $0 \div 8$

e. $9 \div 9$

f. $6 \div 1$

g. $0 \div 7$

h. $3 \div 3$

2. 均等に分けた場合の**計算式**を書いて、それぞれの皿に配分される梨の数を答えましょう。

a. 梨が7個、皿が1枚の場合。**式**： _____ **答え**： _____

b. 梨が7個、皿が7枚の場合。**式**： _____ **答え**： _____

c. 梨が0個あり、皿7枚に配分したい場合。**式**： _____ **答え**： _____

3. 次の問題を解きましょう：

a. $29 \div 5 =$ _____ 残り _____

b. $34 \div 7$

c. $33 \div 6$

4. バナナを45本持っていて、それぞれの皿に6本のバナナを置きます。皿は何枚必要で、バナナは何本あまりますか。

式： _____ **答え**： _____

理解しよう

$13 \div 4$ を解くには、4の九九を使って、積が13より小さくなるものを探します。

$4 \times 1 = 4$

$4 \times 2 = 8$

$4 \times 3 = 12$ ← これが答えです。

$4 \times 4 = 16$ ← 13を超えてしまいます。

つまり、わる数の九九でわられる数にもっとも近くてそれより小さい積をもつ九九を探します。



よって、 $13 \div 4 = 3$ 残り 1

わり算であまりがないものを**わりきれる式**といいます。あまりが出るわり算を**わりきれない式**といいます。

解いてみよう

わる数の九九を使って計算しましょう。

a. $15 \div 2 =$

b. $20 \div 3$

c. $23 \div 7$

d. $34 \div 5$

e. $28 \div 6$

f. $35 \div 4$

g. $23 \div 8$

h. $44 \div 9$

2.3 わり算の確かめ算

復習しよう

1. 次の問題を解きましょう：

a. $29 \div 3 = \underline{\quad}$ あまり $\underline{\quad}$

b. $38 \div 5$

c. $17 \div 2$

2. わる数の九九を使って計算しましょう：

a. $18 \div 7 =$


b. $25 \div 3$

c. $38 \div 4$

d. $45 \div 6$

理解しよう

14 ÷ 3の答えを確認するには、次の関係を使います：

$$\begin{array}{ccccccc} 14 & = & 3 & \times & 4 & + & 2 \\ \uparrow & & \uparrow & & \uparrow & & \uparrow \\ \text{わられる数} & & \text{わる数} & & \text{商} & & \text{あまり} \end{array}$$


わり算の結果は、次の相関関係を利用して確かめることができることに注目しましょう。

わられる数 = わる数 × 商 + あまり

$$\begin{array}{l} 14 \div 3 = \boxed{4} \text{ あまり } \triangle \\ \downarrow \quad \downarrow \quad \swarrow \\ 14 = 3 \times \boxed{4} + \triangle \end{array}$$

12 ÷ 3 = 4を確認するときは、次のようにします：

$$\begin{aligned} & 3 \times 4 + 0 \\ & = 3 \times 4 \\ & = 12 \end{aligned}$$

わりきれの場合は、足す必要はありません。

解いてみよう

次のわり算を解いて、その答えを確認しましょう。

a. $17 \div 2 = \square$ あまり \triangle
 $\downarrow \quad \downarrow \quad \swarrow$
 $17 = 2 \times \square + \triangle$

b. $23 \div 3 = \square$ あまり \triangle
 $\downarrow \quad \downarrow \quad \swarrow$
 $23 = 3 \times \square + \triangle$

c. $35 \div 4 = \square$ あまり \triangle
 $\downarrow \quad \downarrow \quad \swarrow$
 $35 = 4 \times \square + \triangle$

d. $44 \div 5$

e. $59 \div 6$

f. $68 \div 7$



g. $75 \div 8$

h. $89 \div 9$

i. $57 \div 7$

2.4 学習内容の自己評価

問題を解いて学習した内容を振り返り、当てはまる欄に“×”のチェックを入れましょう。注意して答えましょう。

項目	はい	改善 できます	いい え	コメント
1. 次のようなわりきれる式を計算します： a. $56 \div 7$ b. $54 \div 6$ c. $64 \div 8$ d. $5 \div 1$ e. $3 \div 3$ f. $0 \div 2$				
2. わりきれない式の計算をしましょう： a. $35 \div 6$ b. $45 \div 7$ c. $30 \div 8$				
3. わりきれない式を解いて、答えを確認しましょう： a. $26 \div 4$ b. $38 \div 5$ c. $43 \div 6$				
4. 次の計算の間違いをみつけて直しましょう。 a. $19 \div 3 = 5$ あまり 4 b. $31 \div 8 = 4$ あまり 1				
5. 次の問題を解きましょう。 a. 50cmのリボンを6人に均等に分けると、何センチメートルあまりですか。  b. 28リットルの水を5リットルの樽に注ぐと、樽は何個満たされ、何リットルあまりですか。 				

2.5 わり算の筆算

復習しよう

1. わる数の九九を使って計算しましょう：

a. $53 \div 6 =$

b. $78 \div 8$

c. $26 \div 3$

d. $83 \div 9$

2. 次のわり算を解いて、その答えを確認しましょう。

a. $13 \div 2$

b. $25 \div 7$

c. $39 \div 6$

d. $43 \div 5$

理解しよう

わり算の筆算をみてみましょう。

① わられる数	1	9	6	← わる数	③
⑤ 積	-	1	8	← 商	④
⑥ 差			1		

② L (印)

- ① わられる数
- ② L (印)
- ③ わる数
- ④ 商
- ⑤ 積
- ⑥ 差

$18 \div 6 = 3$ のような割り算を筆算するには、次のようにします：

1	8	6	→	1	8	6	→	-	1	8	3	→	-	1	8	3	→	-	1	8	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

① わられる数 ④ $6 \times \square = 18$ で商を求め、つまり
 ② L ⑤ わられる数の下に 6×3 の積と書きます
 ③ わる数 ⑥ 引き算をします
 $18 - 18 = 0$
 差は0です。

確かめ算
 $6 \times 3 = 18$

答え： $18 \div 6 = 3$

解いてみよう

次の割り算の筆算をしましょう。そして結果の答え合わせをしましょう。

a. $11 \div 2$ $11 \overline{) 2}$

b. $23 \div 3$ $23 \overline{) 3}$

c. $35 \div 4$

d. $47 \div 5$

e. $59 \div 6$

f. $62 \div 7$

g. $74 \div 8$

h. $86 \div 9$

2.6 学習内容の自己評価

問題を解いて学習した内容を振り返り、当てはまる欄に“×”のチェックを入れましょう。注意して答えましょう。

項目	はい	改善 できます	いい え	コメント
<p>1. 計算したら結果の答え合わせをしましょう。</p> <p>a. $24 \div 8$ b. $63 \div 7$ c. $3 \div 1$ d. $0 \div 5$</p> <p>e. $9 \div 9$ f. $18 \div 7$ g. $34 \div 8$ h. $41 \div 6$</p>				
<p>2. 次の、わり算の筆算をしましょう。</p> <p>a. $17 \overline{)3}$ b. $28 \overline{)5}$ c. $43 \overline{)6}$ d. $36 \overline{)9}$</p>				
<p>3. 計算式を書いて、次の問題を解きましょう：</p> <p>a. 24人の子供が6つの列を作って並んでいます。列にいる子供の数が同じである場合、それぞれの列には何人の子供がいますか。</p> <p>b. 24人の子供が一列に6人ずつになるように列を作っています。列は何列ありますか。</p> <p>c. 27個のスイカを5つずつカゴに入れます。カゴはいくつ必要で、スイカは何個あまりますか。</p> <p>d. 27個のホコテを5人の生徒に分けます。1人の生徒がもらうホコテはいくつで、いくつのホコテがあまりますか。</p>				

2.7 答えを確かめる必要があるわりきれない式

復習しよう

1. 次のわり算を解いて、その答えを確認しましょう。

a. $47 \div 5$

b. $68 \div 9$

c. $27 \div 4$

2. 次の割り算の筆算をしましょう。結果の答え合わせをしましょう。

a. $17 \div 3$ $17 \overline{) 3}$

b. $21 \div 5$ $21 \overline{) 5}$

c. $37 \div 5$

d. $49 \div 9$

理解しよう

わりきれない式の場合には、商に1を足さないと正しい答えにならない場合があります。

解いてみよう

1. 解きましょう。

a. 学校では47個のマーカーを持っていて、8個ずつ収納できるケースを購入する予定です。全てのマーカーを収納するケースは何個購入すればいいのでしょうか。

式： _____

答え： _____

b. アナと同級生は17リットルのレモネードを作り、2リットルのボトルに注いでいます。作ったレモネードを全部ボトルに入れるには、2リットルのボトルは何本必要ですか。

式： _____

答え： _____

2. 問題を解いて、答えを適切な方法で書きましょう。

a. りんご50個を6人で均等に分けています。一人につきりんごを何個もらえますか。

式： _____

答え： _____

b. ある学校に、生徒が3人ずつ座れる机があります。生徒が25人いるとしたら、全員が座れる机は何台必要ですか。

式： _____

答え： _____

家族のサイン： _____

2.8 わり算（一の位が0の2桁の数）÷（1桁の数）

復習しよう

1. 次の割り算の筆算をしましょう。

a. $29 \div 4$

b. $67 \div 8$

c. $78 \div 9$

2. 問題を解いて、答えを適切な方法で書きましょう。

a. チョコレート50個を9人の子供たちに均等に配ります。一人につきチョコレートは何個もらえますか。

式： _____

答え： _____

b. 27人いて、1人につきジュース1箱をあげます。ジュースは4箱パックのみで売られています。何パック買わなければなりませんか。

式： _____

答え： _____

理解しよう

10の倍数になっている数を別の1桁の数でわった場合の答えを見つけるには、わられる数を10の束と考え、わる数の分だけ分配します。

10の束をわる数でわって商がわりきれない時は、グラフを使ってみるといいでしょう。

解いてみよう

1. 次の問題を解きましょう：

a. $60 \div 3 =$

b. $90 \div 3$

c. $30 \div 3$

d. $40 \div 2$

e. $80 \div 2$

f. $40 \div 4$

g. $80 \div 4$

h. $60 \div 5$

i. $70 \div 5$

2. カルロスはお菓子80個を4袋に均等に分けることになりました。お菓子の袋には、それぞれ何個ずつ入れたらいいのでしょうか。

式： _____

答え： _____

2.9 わり算 (2桁の数) ÷ (1桁の数) = (2桁の数) 分配のテクニックを使ってわられる数を分解します。

復習しよう

1. 36cmと4cmのリボンがあります。36cmのテープは4cmのテープの何本分ですか。

式： _____

答え： _____

2. 計算しましょう

a. $60 \div 2 =$

b. $80 \div 4$

c. $90 \div 3$

理解しよう

(2桁の数) ÷ (1桁の数) のわり算をするには：

- ① わられる数を分解します。
- ② それぞれをわります。
- ③ 答えを得るためにたします。

解いてみよう

1. 次の問題を解きましょう：

a. $42 \div 2$



$40 \div 2 =$ _____

$2 \div 2 =$ _____

答え： _____

b. $36 \div 3$



_____ ÷ _____ = _____

_____ ÷ _____ = _____

答え： _____

c. $84 \div 4$



_____ ÷ _____ = _____

_____ ÷ _____ = _____

答え： _____

d. $48 \div 4$



_____ ÷ _____ = _____

_____ ÷ _____ = _____

答え： _____

e. $93 \div 3$



_____ ÷ _____ = _____

_____ ÷ _____ = _____

答え： _____

f. $64 \div 2$



_____ ÷ _____ = _____

_____ ÷ _____ = _____

答え： _____

2. 次のわり算をしましょう：

a. $82 \div 2$

b. $69 \div 3$

c. $44 \div 4$

d. $88 \div 4$

e. $96 \div 3$

f. $22 \div 2$

2.10 (2桁の数) ÷ (1桁の数) = (2桁の数) の筆算

復習しよう

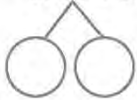
1. 次の問題を解きましょう：

a. $40 \div 2 =$

b. $90 \div 3$

2. 次のわり算をしましょう：

a. $36 \div 3$

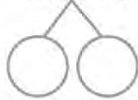


_____ ÷ _____ = _____

_____ ÷ _____ = _____

答え： _____

b. $82 \div 2$



_____ ÷ _____ = _____

_____ ÷ _____ = _____

答え： _____

理解しよう

2桁の数わる1桁の数のわり算の筆算をする場合、わられる数の左の位置から始めて次の手順で進めます：

- ① わられる数の10の位を割る数で割って**商**を求めます。
- ② わる数に先ほど求めた商をかけた**積**を書きます。
- ③ わられる数の10の位から先ほどの積を引いて**差**を求めます。
- ④ 1の位を**下ろします**。そしてわり算で1の位に入る商を求めます。
- ⑤ 以上の手順を繰り返し、わる数と商の1の位の積を求めます。そしてわられる数の残り分からこの値を引いて差を求めます。

解いてみよう

次の割り算の筆算を行きましょう。

a. $38 \div 2$

+	-		
3	8	2	

		+	-

b. $51 \div 3$

+	-		

		+	-

c. $64 \div 4$

+	-		

		+	-

d. $70 \div 2$

+	-		
		+	-

e. $84 \div 3$

f. $92 \div 4$

2.11 学習内容の自己評価

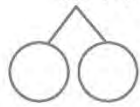
問題を解いて学習した内容を振り返り、当てはまる欄に“×”のチェックを入れましょう。注意して答えましょう。

項目	はい	改善できます	いいえ	コメント																																																																																										
<p>1. 次のようなわり算をします：</p> <p>a. $42 \overline{)3}$</p> <p>b. $48 \overline{)3}$</p> <p>c. $51 \overline{)3}$</p> <p>d. $36 \overline{)2}$</p> <p>e. $32 \overline{)2}$</p> <p>f. $38 \overline{)2}$</p> <p>g. $65 \div 5$</p> <p>h. $75 \div 5$</p> <p>i. $85 \div 5$</p> <p>j. $92 \overline{)4}$</p> <p>k. $78 \overline{)3}$</p> <p>l. $92 \overline{)4}$</p> <p>m. $72 \overline{)3}$</p> <p>n. $66 \overline{)3}$</p> <p>ñ. $48 \overline{)4}$</p> <p>o. $84 \div 3$</p> <p>p. $96 \div 4$</p> <p>q. $72 \div 2$</p>																																																																																														
<p>2. 次のような表を完成させます：</p> <p>a.</p> <table border="1" data-bbox="199 1780 539 1971"> <tr><td>×</td><td>5</td><td>9</td><td>2</td><td>4</td><td>8</td><td>6</td><td>3</td><td>7</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>b.</p> <table border="1" data-bbox="590 1780 938 1971"> <tr><td>×</td><td>3</td><td>8</td><td>7</td><td>9</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>2</td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	×	5	9	2	4	8	6	3	7	3									5									2									4									×	3	8	7	9	4	5	6	2	7									6									8									9												
×	5	9	2	4	8	6	3	7																																																																																						
3																																																																																														
5																																																																																														
2																																																																																														
4																																																																																														
×	3	8	7	9	4	5	6	2																																																																																						
7																																																																																														
6																																																																																														
8																																																																																														
9																																																																																														

2.12 あまりのあるわり算の筆算 (2桁の数) ÷ (1桁の数) = (2桁の数)

復習しよう

1. 次の割り算を解きましょう：

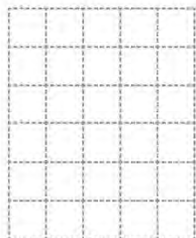
$$39 \div 3$$


$$\underline{\quad} \div \underline{\quad} = \underline{\quad}$$

$$\underline{\quad} \div \underline{\quad} = \underline{\quad}$$

2. わり算の筆算をしましょう

a. $58 \div 2$



b. $42 \div 3$



答え：_____

理解しよう

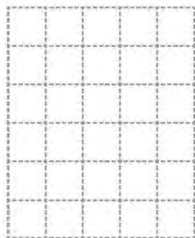
2桁の数を1桁の数でわるわり算をする場合は、商を求めて、積を書いて、引き算をして、位を下げて、の手順を常に繰り返します。わられる数で下ろす位がなくなるまでこの手順を続けます。最後に次の相関関係を使ってわり算が正しくできているかを確認します。

わる数	×	商	+	あまり	=	わられる数
商	×	わる数	+	あまり	=	わられる数

解いてみよう

次の問題を解きましょう：

a. $55 \div 2$



確認：

$$\underline{\quad} \times 2 + \underline{\quad} = 55$$

b. $80 \div 3$



確認：

$$\underline{\quad} \times 3 + \underline{\quad} = 80$$

c. $78 \div 4$



確認：

$$\underline{\quad} \times 4 + \underline{\quad} = \underline{\quad}$$

d. $73 \div 5$



確認：

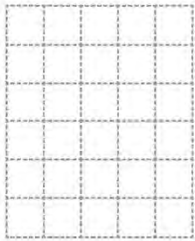
$$\underline{\quad} \times 5 + \underline{\quad} = \underline{\quad}$$

2.13 特定のケースのわり算 (2桁の数) ÷ (1桁の数) = (2桁の数)

復習しよう

次の問題を解きましょう：

a. $68 \div 4$



確認： $\underline{\quad} \times 4 + \underline{\quad} = 68$

b. $83 \div 3$



確認： $\underline{\quad} \times 3 + \underline{\quad} = \underline{\quad}$

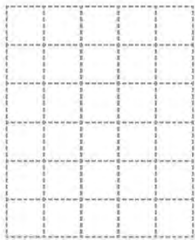
理解しよう

(2桁の数) ÷ (1桁の数) の筆算をする時は、商が0になる場合も含め、わられる数のそれぞれの位をわる必要があります。

解いてみよう

次の問題を解きましょう：

a. $61 \div 2$



確認：
 $\underline{\quad} \times 2 + \underline{\quad} = \underline{\quad}$

b. $92 \div 3$



確認：
 $\underline{\quad} \times 3 + \underline{\quad} = \underline{\quad}$

c. $53 \div 5$



確認：
 $\underline{\quad} \times 5 + \underline{\quad} = \underline{\quad}$

d. $47 \div 2$



確認：
 $\underline{\quad} \times 2 + \underline{\quad} = \underline{\quad}$

家族のサイン： _____

2.14 学習内容の自己評価

問題を解いて学習した内容を振り返り、当てはまる欄に“×”のチェックを入れましょう。注意して答えましょう。

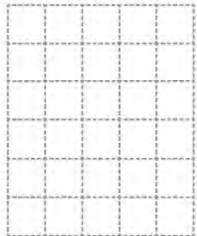
項目	はい	改善 できます	いい え	コメント
<p>1. 次のような割り算をし、答え合わせをします：</p> <p>a. $97 \overline{) 2}$</p> <p>b. $65 \overline{) 4}$</p> <p>c. $77 \overline{) 6}$</p> <p>d. $89 \overline{) 5}$</p>				
<p>2. 次のような割り算をし、答え合わせをします：</p> <p>a. $52 \overline{) 5}$</p> <p>b. $75 \overline{) 7}$</p> <p>c. $83 \overline{) 4}$</p> <p>d. $91 \overline{) 3}$</p>				
<p>3. 次のようなわり算をします：</p> <p>a. $80 \div 2$ b. $90 \div 3$ c. $60 \div 5$ d. $70 \div 7$</p> <p>e. $82 \div 5$ f. $93 \div 2$ g. $78 \div 3$ h. $89 \div 7$</p> <p>i. $77 \div 2$ j. $74 \div 4$ k. $86 \div 6$ l. $90 \div 4$</p>				

3.1 倍数としてのグループ数

復習しよう

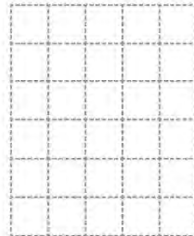
次の問題を解きましょう：

a. $73 \div 3$



確認： $\underline{\quad} \times 3 + \underline{\quad} = 73$

b. $83 \div 2$



確認： $\underline{\quad} \times 2 + \underline{\quad} = \underline{\quad}$

理解しよう

ある量が別のある量の何倍に相当するかを求める時も、わり算を使うことができます。

例：

$4 \times \square$ 回は12に等しいので、 $4 \times \square = 12$ となり、 $12 \div 4 = 3$ の割り算に使われます。

答え：3

解いてみよう

1. 12cmのテープと4cmのテープがあります。12cmのテープは4cmのテープの何本分ですか。

$$\begin{array}{l} 4 \times \square = 12 \\ 12 \div 4 = \square \end{array}$$

式： $\underline{\hspace{2cm}}$

答え： $\underline{\hspace{2cm}}$ 本。

2. 8cmのテープと2cmのテープがあります。8cmのテープは2cmのテープの何本分ですか。

式： $\underline{\hspace{2cm}}$

答え： $\underline{\hspace{2cm}}$ 本。

3. 28cmのテープと4cmのテープがあります。28cmのテープは4cmのテープの何本分ですか。

式： $\underline{\hspace{2cm}}$

答え： $\underline{\hspace{2cm}}$ 本。

家族のサイン： $\underline{\hspace{2cm}}$

3.2 わり算のグラフとかけ算のグラフ

復習しよう

1. 問題を解いて、答えを適切な方法で書きましょう。

a. 83個のオレンジがあり、子供1人につき4個配ります。何人の子供に配ることができますか。

式： _____

答え： _____ 子供。

b. 21人の生徒がそれぞれ2人掛けの机に座ります。
机は何台必要ですか。

式： _____

答え： _____ 机。

2. 18cmのテープと6cmのテープがあります。18cmのテープは6cmのテープの何本分ですか。

$$6 \times \square = 18$$

$$18 \div 6 = \square$$

式： _____

答え： _____ 本。

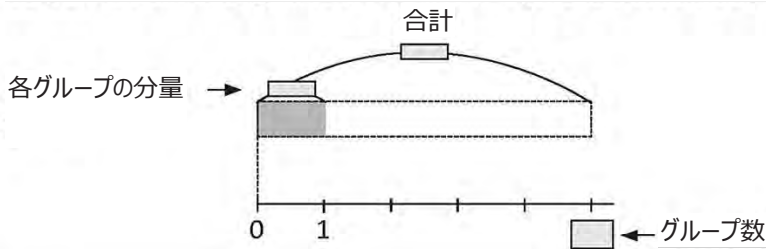
3. 27cmのテープと3cmのテープがあります。27cmのテープは3cmのテープの何本分ですか。

式： _____

答え： _____ 本。

理解しよう

かけ算の問題もわり算の問題も帯グラフを使って解くことができます。



全体の量が不明な時は、かけ算を使い、それぞれのグループの分量が不明な時はわり算を使って求めます。



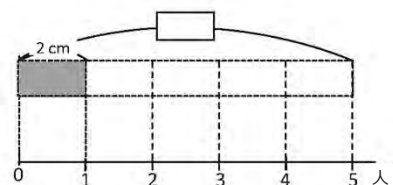
解いてみよう

問題を読んでグラフを確認しましょう。計算式を書きましょう。

a. リボンを一人2cmずつ、5人に配ります。何センチメートルのリボンが必要ですか。

式： _____

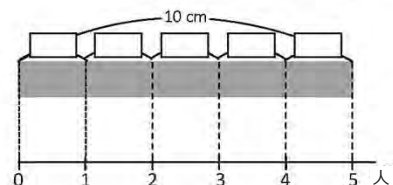
答え： _____ cm.



b. 10cmのリボンを5人に均等に分けます。
一人何センチメートルのリボンを持っていますか。

式： _____

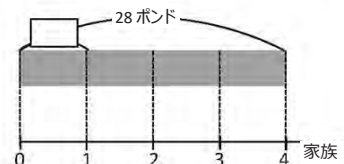
答え： _____ cm.



c. 28ポンドの豆が、4家族に均等に分配されます。
1家族がもらう豆の量は何ポンドですか。

式： _____

答え： _____ lb



3.3 かけ算とわり算の帯グラフ、第1部

復習しよう

1. 36cmと4cmのリボンがあります。36cmのテープは4cmのテープの何本分ですか。

式： _____

答え： _____ 本。

2. 56cmと7cmのリボンがあります。56cmのテープは7cmのテープの何本分ですか。

式： _____

答え： _____ 本。

3. 問題を読んでグラフを確認しましょう。計算式を書きましょう。

a. リボンを一人4cmずつ、6人に配ります。

何センチメートルのリボンが必要ですか。

式： _____

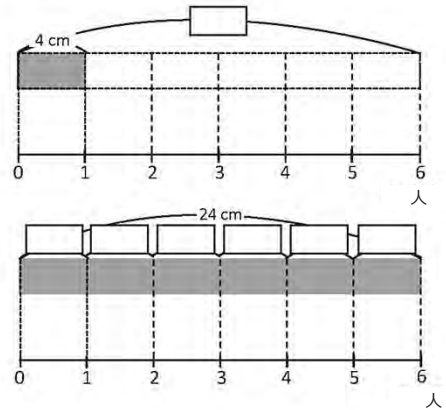
答え： _____ cm.

b. 24cmのリボンを6人に均等に分けます。

一人何センチメートルのリボンを持っていますか。

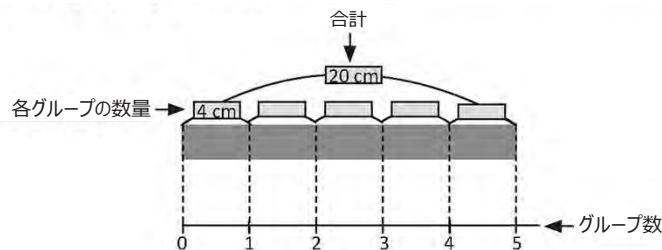
式： _____

答え： _____ cm.



理解しよう

帯グラフを使ってかけ算と二つのタイプのわり算の問題を表すことができます。グラフでは全体の量、グループの分量、グループ数を示す必要があります。グラフで全体の量が分かっている時はかけ算を使い、各グループの分量またはグループ数が分かっている時はわり算を使います。



解いてみよう

読んでグラフを確認しましょう。計算式を書きましょう。

a. 28ポンドのとうもろこしを、1人4ポンドずつ分けます。

何人に配ることができますか。

式： _____

答え： _____ 人。

b. 30個のビー玉を6人に均等に分けます。

1人は何個のビー玉をもらいますか。

式： _____

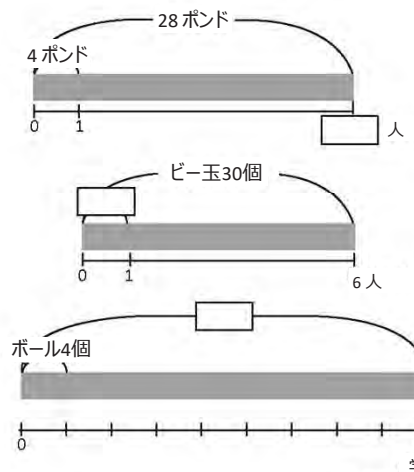
答え： _____ ビー玉。

c. 学年ごとに4個のボールが配られており、9学年あります。

ボールはいくつ必要ですか。

式： _____

答え： _____ ボール。



家族のサイン： _____

3.4 かけ算とわり算の帯グラフ、第2部

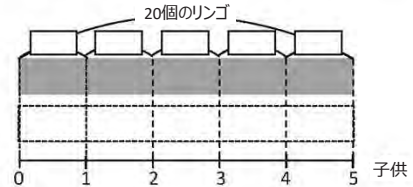
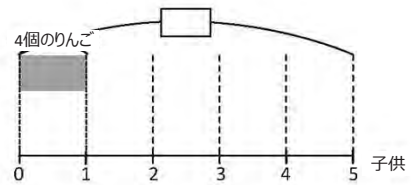
復習しよう

1. 問題を読んでグラフを確認しましょう。計算式を書きましょう。
- a. 子供1人につき4個のりんごが配られますが、子供が5人いると、りんごは何個必要になりますか。

式： _____ 答え： _____りんご。

- b. りんご20個を5人の子供たちに均等に配ります。一人につきりんごを何個持っていますか。

式： _____ 答え： _____りんご。

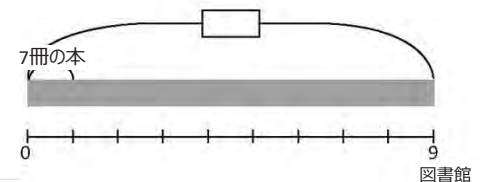
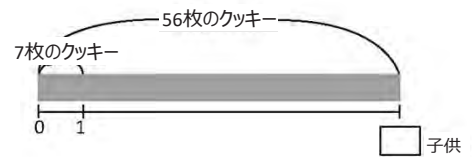


2. 読んでグラフを確認しましょう。計算式を書きましょう。
- a. 56枚のクッキーを、子供1人につき7枚ずつ配ります。何人の子供に配ることができますか。

式： _____ 答え： _____子供。

- b. 1図書館あたり7冊の本が配られており、9図書館あります。何冊本は必要ですか。

式： _____ 答え： _____本。



理解しよう

かけ算とわり算を帯グラフで表す時は、問題をしっかり読んで、そこにある数をグラフに表します。

全体の量、グループ数、各グループの数量がそれぞれどれであるかがわかれば、グラフに表すことは簡単です。

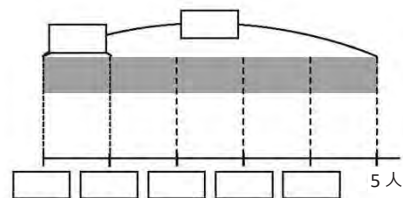


解いてみよう

問題を読んで帯グラフを完成させて、計算式を書きなさい。

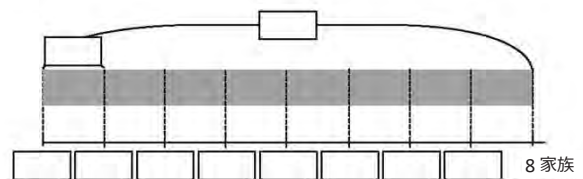
- a. 40cmのリボンを5人に均等に分けます。それぞれ何センチもらうことになりますか。

式： _____ 答え： _____cm.



- b. 家族が8家族あり、1家族あたり7ポンドの豆が配られています。豆は何ポンド必要になりますか。

式： _____ 答え： _____ポンド。



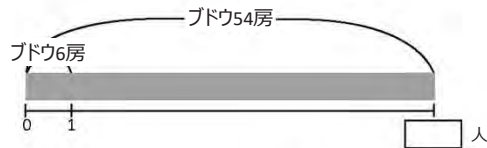
3.5 帯グラフを使った表現

復習しよう

1. 読んでグラフを確認しましょう。計算式を書きましょう。

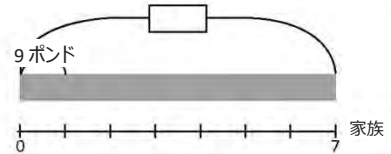
- a. 54本あるブドウを、1人6房ずつ配ります。
何人に配ることができますか。

式： _____



- b. 家族が7家族あり、1家族あたり9ポンドの豆が配られています。
何ポンド必要ですか。

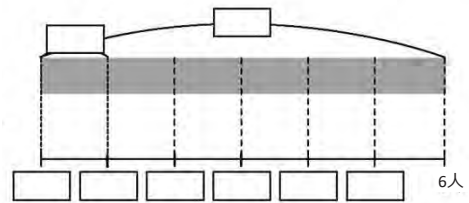
式： _____



2. 問題を読んで帯グラフを完成させて、計算式を書きなさい。

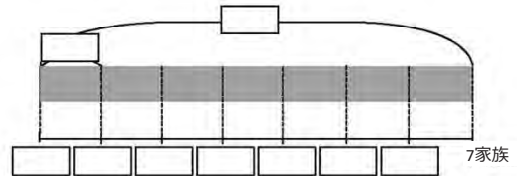
- a. 36cmのリボンを6人に均等に分けます。それぞれ何センチもらう
ことになりますか。

式： _____



- b. 家族が7家族あり、1家族あたり9ポンドのとうもろこしが配
られています。
とうもろこしは何ポンド必要になりますか。

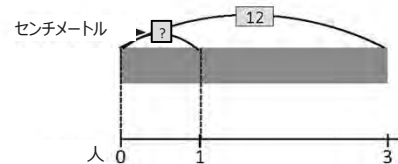
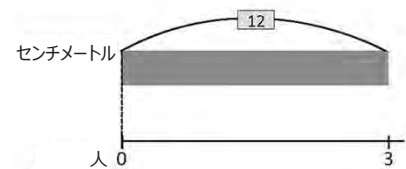
式： _____



理解しよう

わり算またはかけ算の問題を表す方法：

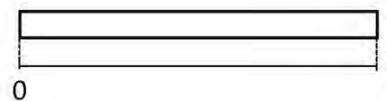
- ① グループ数を表すために線をかきます。(分かる場合は) 0とグループ数を記入します。
- ② 線分の上に帯をかくて(分かっている場合は) 全体の量を記入します。
- ③ 線分上で1cmの線を引き帯に印をつけます。(わかっている場合は) 各グループの分量を書きます。



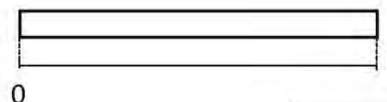
解いてみよう

次の問題をグラフで表しましょう。

- a. 24ポンドの豆があります合計
4家族に均等に分けます グループ数
1家族につき何ポンドになりますか。 各グループの分量



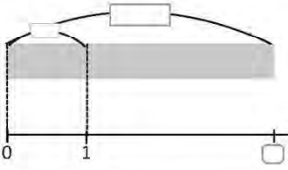
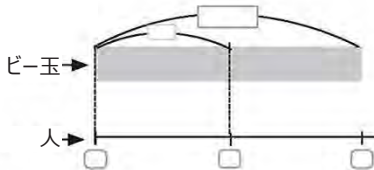
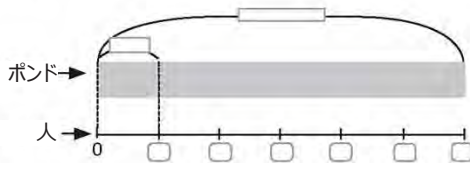
- b. ビー玉が35個あります合計
一人につき7個のビー玉を配ります 各グループの分量
何人に配ることができますか。 グループ数



家族のサイン： _____

3.6 学習内容の自己評価

学習した内容を解きましょう。注意して答えましょう。問題を解いて学習した内容を振り返り、当てはまる欄に"×"のチェックを入れましょう。

項目	はい	改善できます	いいえ	コメント
<p>1. 次のような練習や問題が解けます：</p> <p>a. 18cmのテープと6cmのテープがあります。18cmのテープの長さは6cmのテープの何本分ですか。</p> <p>b. 24cmのテープと8cmのテープがあります。24cmのテープの長さは8cmのテープの何本分ですか。</p> <p>c. 56cmのテープと7cmのテープがあります。56cmのテープの長さは7cmのテープの何本分ですか。</p>				
<p>2. 次のグラフでは、合計、グループ数、各グループの分量を示しています。</p> 				
<p>3. 次のような演習や問題で、問題を読み、グラフを完成させ、計算式を書きます：</p> <p>a. 8個あるビー玉を2人に均等に分けます。1人が受け取るビー玉はいくつですか。</p>  <p>b. 一人につき5ポンドの豆を配ります。合計で6人いる場合、何ポンドの豆が必要ですか。</p> 				
<p>4. 次のような問題のグラフを作ります：</p> <p>a. 12ポンドのお米があります→合計 6家族で分けます→グループ数 それぞれの家族が受け取るのは何ポンドですか→各グループの数量</p>				

応用問題

次の問題を解きなさい。

1. 65人いて、それぞれ9人のグループを形成します。

a. 何グループ形成することができますか。

式： _____

答え： _____

b. 9人のグループを8つ形成するには、あと何人必要ですか。

式： _____

答え： _____

2. ファナは9歳、母親は27歳です。

a. 母親の年齢はファナの年齢の何倍ですか。

式： _____

答え： _____

b. 3年前、つまりファナが6歳の時、母親の年齢はファナの年齢の何倍でしたか。

式： _____

答え： _____

c. 6年前、つまりファナが3歳の時、母親の年齢はファナの年齢の何倍でしたか。

式： _____

答え： _____

3. ホヤデセレン考古学公園からサンアンドレス考古学公園まで48人の観光客が移動します。この移動のために9人乗り車両と6人乗りの車両があります。移動時間が少なく、時間をかけずに移動する方法はなんですか。その理由を説明してください。

式： _____

答え： _____

4. ルーズベルト通りの45メートル区間に、木と木の間を5メートルを残して、国の木マキリシュアットを植えます。この区間の端から端まで植えるとしたら、何本植えることができますか。

式： _____

答え： _____

答えは9または10ですか。その理由を説明してください。

応用問題

2. 次の割り算の解答を説明してください。

- a. 先生は10本のストローを6本束にして60本持っていて、3人の子どもたちに均等に分けています。子供はそれぞれストローを何本持っていますか。

60本のストローを3人で分けているので、計算式は： $\underline{\quad} \div \underline{\quad}$ 。3のかけ算表は $3 \times 10 =$ までで、60までではないので、別の方法を考える必要があります。先生は10本のストローを6束持っているので、これらの束を子どもたちに分けることができ、 $\underline{\quad} \div \underline{\quad} = 2$ となります。

子供一人につき10本の束が2束なので、子供はそれぞれストロー $\underline{\quad}$ 本がもらえます。

- b. 先生は69本のストローを10本束にして6束、あまりがストロー9本あり、3人の子どもたちに均等に分けています。子供はそれぞれストローを何本持っていますか。

69本のストローを3人で分けているので、**計算式**は： $\underline{\quad} \div \underline{\quad}$ 。先生は10本のストローを6束持っているので、これらの束を子どもたちに分けることができ、次のような演算ができます $\underline{\quad} \div \underline{\quad} = 2$ 。子供一人につき10本の束が2束なので、子供はそれぞれストロー $\underline{\quad}$ 本がもらえます。

同じくばらのストローを3人の子供に分けると、次のような演算になります

$$\underline{\quad} \div \underline{\quad} = 3.$$

子供一人につき10本の束が2束、あまり3本なので、子供がそれぞれもらえる合計は：

$$\underline{\quad} + \underline{\quad} = \underline{\quad} \text{ストロー。}$$

3. 必要な文章を選び、順番に並べ、かけ算・わり算の問題を形にしましょう。

文章1	文章2	質問
ホルヘは5ポンドの豆を買います	6列均等に形成します	合計いくらですか。
5cmのリボンがあります。	各ポンドは15ドルです。	クッキーはいくつ残っていますか。
コーヒー豆は一袋150ドルです。	答える鏡があります。	1人は何個のクッキーをもらいますか。
24個のクッキーがあります。	クッキーを12枚食べました。	全部持っていくには何往復する必要がありますか。
72ドルかかる道具があります。	15cmの別のリボンがあります。	全部でいくら使いましたか。
36個のクッキーがあります。	各ポンドは3ドルです。	それぞれ列には何人いますか。
紙の束は9束で45ポンドの重さがあります。	5家族に均等に分けます。	それぞれ家族はいくら払わなければなりませんか。
54人います。	8家族で均等に払ってそれを買います。	紙の束の1束の重さはどれくらいですか。
75人います。	各車両は9人乗りです。	世界で最も美しいのは誰ですか。